

鳥取県の政策に関する県民意識調査
結果報告書
(令和5年6月調査)

令和5年 10 月



目 次

	ページ
【 調査の概要 】	
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 資料のみかた.....	1
4 回収状況と信頼区間.....	2
5 回答者の情報.....	3
【 結果の概要 】	
結果の概要.....	6
【 調査結果 】	
I 鳥取県の住みやすさについて.....	9
問 1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか.....	9
問 2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください.....	11
問 3 あなたは鳥取県での暮らしについてどう思われますか.....	13
問 4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか.....	15
問 5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか.....	17
II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について.....	19
1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる.....	19
問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度.....	19
問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度.....	23
2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む.....	25
問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度.....	25
問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度.....	29
3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ.....	31
問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度.....	31
問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度.....	35
4 男女共同参画社会づくり.....	37
問 7 男女に関する役割についてどう思いますか.....	37
問 8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思 いますか.....	38
問 9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思 いますか.....	40
5 SDGs(持続可能な開発目標)の推進.....	42
問 10 あなたは国連で採択された SDGsという言葉・内容を聞いたことがありますか.....	42
問 11 SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか.....	44
問 12 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか.....	46
問 13 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき 課題は何だと思 いますか.....	48

Ⅲ	重点施策への関心・認識	50
問 14	空き家の増加が社会問題となっていますが、あなたがお住まいの地域では空き家が増えていると感じますか.....	50
問 15	空き家が増加すると何が問題だと思われませんか.....	52
問 16	あなたは、将来空き家を所有または管理する可能性がありますか.....	54
問 17	ご自分の住まいやご実家等の将来について、関係者(家族・親族等)で話し合う必要を感じていますか.....	56
問 18	今後、空き家問題の解決に向けて特に必要だと思うことは何ですか.....	58
【 自由記載 】	(問5、問8、問9、問 11、問 18 の回答を含む自由記載).....	60
【 資料 】		
	調査票.....	64
	集計結果.....	75

【 調査の概要 】

1 調査の目的

鳥取県は、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆さんが住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう現在の状況や今後の要望など、率直なご意見をお伺いするため調査を行ったものです。

2 調査の概要

- (1)調査対象 鳥取県内在住の18歳以上75歳未満の者 3,000名
- (2)抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- (3)調査時期 令和5年6月
- (4)調査方法 (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して、回答は郵送またはインターネットにより受付した。なお、調査票の提出は無記名とした。
- (5)有効回答数 1,706名
- (6)回収率 56.9% (1,706/3,000)
・郵送回答:1,017(59.6%)・インターネット回答:689(40.4%)
- (7)回答者の属性 性別:男性710人(41.6%)、女性927人(54.3%)
その他・回答したくない42人(2.5%)、無回答27人(1.6%)
年齢:18~19歳(2.2%)、20~29歳(10.6%)、30~39歳(11.9%)、
40~49歳(18.1%)、50~59歳(16.9%)、60~69歳(25.1%)、
70歳以上(14.5%)、無回答(0.6%)

3 資料のみかた

(1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。複数回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。

また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。このため、百分率の合計が100%とならず、端数が生じたものがある。

(2)「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・指定回答数以上を回答している場合 例)単数回答の設問に複数回答を行っている場合など

(3)クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」標本の取り扱いについて

クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」は標本数が少ないため、他の性別又は年代と比較・分析する場合は除外することとした。

4 回収状況と信頼区間

(1) 必要標本数について

今回の調査においては、18歳以上75歳未満の鳥取県推計人口360,742人(令和4年10月1日時点)から無作為に3,000人を抽出し、調査の依頼を行った。そのうち有効回答数は1,706人であり、回収率は56.9%であった。

まず、標本数の設定については、次の式によって与えられる。

$$A = \frac{N}{\left[\frac{\varepsilon}{X(\alpha)} \right]^2 \cdot \frac{N-1}{\sigma^2} + 1}$$

- A = 必要標本数
- α = 推定を誤る確率
- $X(\alpha)$ = 正規分布の性質から与えられる値(1.96)
- N = 母集団の大きさ(満18歳以上75歳未満の県民)
- σ^2 = 母分散
- ε = 精度

本調査では、信頼度を95%として計算を行った。この場合、 $X(\alpha)$ は、1.96であり、母集団の大きさは360,742人。精度を仮に3%、母比率を50%とし、それぞれ代入して計算すると、以下のとおりとなる。

$$A = \frac{360,742}{\left[\frac{3}{1.96} \right]^2 \cdot \frac{360,742}{50 \times 50} + 1} = 1063.964$$

よって、今回の調査において必要な最小標本数は1,063人であり、有効回答1,706人はこの条件を満たしているといえる。

(2) 標本誤差について

有効回答票の標本誤差を次の式によって計算した。

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{N-n}{N-1} \right] \cdot \frac{Q(1-Q)}{n}}$$

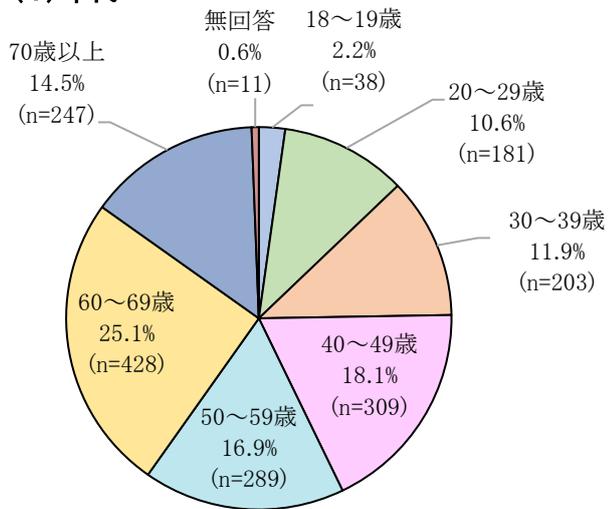
- B = 標本誤差
- N = 母集団の大きさ(満18歳以上75歳未満の県民)
- n = 回答者総数(1,706人)
- Q = 母比率(0.5とする)

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{359,036}{360,741} \right] \cdot \frac{0.5(1-0.5)}{1,706}} = \pm 2.36$$

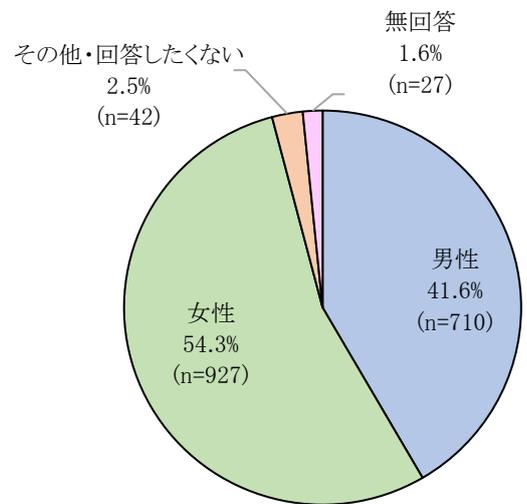
すなわち、標本誤差は $\pm 2.3\%$ しかないといえる。

5 回答者の情報

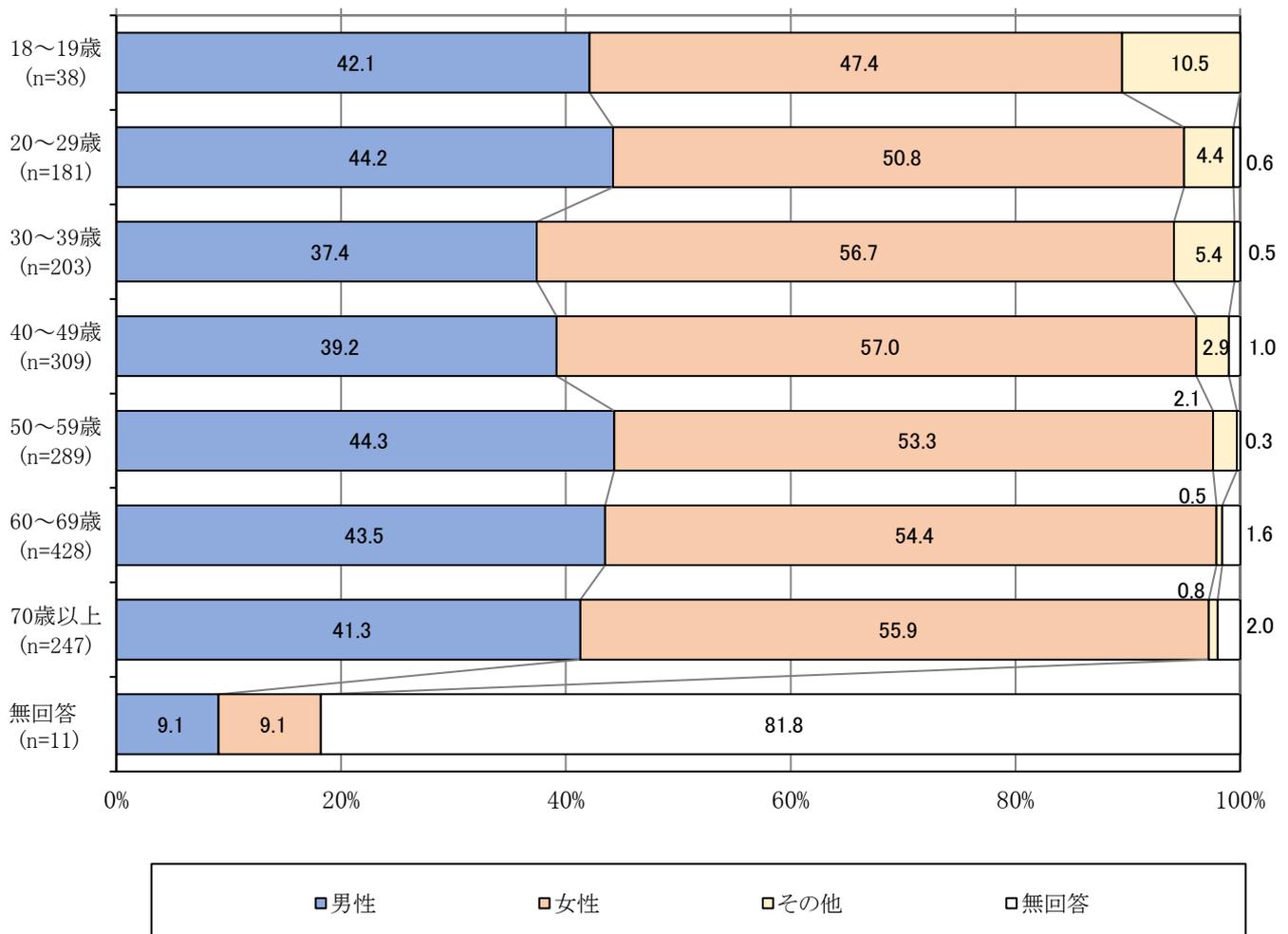
(1) 年代



(2) 性別



(3) 性別 × 年代



<市町村別調査対象者数>

区 分		人 口			抽 出 数		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
東 部 地 区	鳥取市	63,116	63,067	126,183	525	525	1,050
	岩美町	3,520	3,471	6,991	29	29	58
	八頭町	5,128	5,175	10,303	43	43	86
	若桜町	850	804	1,654	7	7	14
	智頭町	1,988	1,914	3,902	16	16	32
	(小計)	74,602	74,431	149,033	620	620	1,240
中 部 地 区	倉吉市	14,361	15,155	29,516	119	126	245
	湯梨浜町	5,179	5,274	10,453	43	44	87
	三朝町	1,896	1,833	3,729	16	15	31
	北栄町	4,551	4,690	9,241	38	39	77
	琴浦町	5,052	5,082	10,134	42	42	84
	(小計)	31,039	32,034	63,073	258	266	524
西 部 地 区	米子市	47,059	49,527	96,586	391	412	803
	境港市	10,831	10,707	21,538	90	89	179
	南部町	3,317	3,274	6,591	28	27	55
	伯耆町	3,308	3,271	6,579	27	27	54
	日吉津村	1,139	1,215	2,354	10	10	20
	大山町	4,783	4,675	9,458	40	39	79
	日南町	1,267	1,059	2,326	11	9	20
	日野町	862	824	1,686	7	7	14
	江府町	775	743	1,518	6	6	12
	(小計)	73,341	75,295	148,636	610	626	1,236
合 計		178,982	181,760	360,742	1,488	1,512	3,000

※人口は鳥取県統計課「鳥取県の推計人口」より、令和4年10月1日時点の18歳以上75歳未満の推計人口を用いた。

<回答者の情報>

【性別】

区分	件数	割合(%)
男性	710	41.6
女性	927	54.3
その他 ・回答した くない	42	2.5
無回答	27	1.6
計	1,706	100

【年代】

区分	件数	割合(%)
18～19歳	38	2.2
20～29歳	181	10.6
30～39歳	203	11.9
40～49歳	309	18.1
50～59歳	289	16.9
60～69歳	428	25.1
70歳以上	247	14.5
無回答	11	0.6
計	1,706	100

【職業】

区分	件数	割合(%)
会社員 (公務員含む)	796	46.7
自営業 (家族従業者含む)	166	9.7
パート ・ アルバイト	248	14.5
学生	52	3.0
専業主婦 ・主夫	144	8.4
無職	275	16.1
無回答	25	1.5
計	1,706	100

【住まい】

区分	件数	割合(%)
鳥取市	606	35.5
米子市	438	25.7
倉吉市	139	8.1
境港市	88	5.2
岩美町	33	1.9
八頭町	52	3.0
若桜町	8	0.5
智頭町	21	1.2
湯梨浜町	46	2.7
三朝町	25	1.5
北栄町	39	2.3
琴浦町	45	2.6
南部町	30	1.8
伯耆町	35	2.1
日吉津村	12	0.7
大山町	46	2.7
日南町	12	0.7
日野町	4	0.2
江府町	10	0.6
無回答	17	1.0
計	1,706	100

【結果の概要】

I 鳥取県の住みやすさについて

- 鳥取県に対する愛着や誇りは、約7割の人が「感じている」又は「少し感じている」と答えている。
- 今暮らしている地域について、約6割の人が「住みやすい」と答えている。
- 鳥取県に暮らしていて、豊かな自然環境に恵まれていると思う人は約9割と圧倒的に多く、また5割以上の人が、治安が良い、住民が親切であると答えている。
- 生活するにあたっての公共交通機関の状況について、約6割の人が「整っていない」と思っている。
- 鳥取県での暮らしの幸せの程度について、約9割の人が「普通」から「とても幸せ」と答えている。
- 幸福度の判断で重視することについて、6割以上の人が「家計の状況」「自身の健康の状況」と答えている。

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる】

- 「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」「農業の活力増進に関する取組」に満足を感じている割合が多い。一方で、農林水産・畜産業の担い手育成、外国人観光客に対する観光地づくりに不満を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」「農業の活力増進に関する取組」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

- 「感染症に強い地域づくり」「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「健康寿命の延伸」など、感染症対策、健康、結婚、出産、子育てに関する取組に満足を感じている割合が多い。一方で、「絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組」に不満を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「地域で子育て世代を支える取組」「未来を拓く人づくりの取組」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

- 「アート・文化による地域づくりへの取組」「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」に満足を感じている割合が多い。一方で、「自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」に不満を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【男女共同参画社会づくり】

- 男女に関する役割などについて、8割以上の人が「現実として家事や子育てが女性の役割となっていると思う」、約7割の人が「現実として介護が女性の役割となっていると思う」と答えている。
- 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために行政が行うべき施策について、約6割の人が「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」と答えている。
- 男女共同参画社会を実現するために行政が特に力をいれるべきことについて、5割以上の人が「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」、約4割の人が「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」と答えている。

【SDGs(持続可能な開発目標)の推進】

- SDGsという言葉・内容について、約9割の人が「聞いたことがある」と答えている。
- SDGsという言葉・内容をどうやって知ったかについて、約8割の人が「テレビ」、約5割の人が「新聞・雑誌」、約3割の人が「インターネット」と答えている。
- SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるかについて、約5割の人が「平和と安全・安心社会の実現」「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」と答えている。
- SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて行政が特に力を入れるべき課題について、約4割の人が「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」「平和と安全・安心社会の実現」と答えている。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

- 空き家が増えていると感じるかについて、約7割の人が増えていると感じている。
- 空き家が増加すると何が問題だと思われるかについて、約9割の人が「放置され、周囲に危険を及ぼす老朽化した建物が増えること」と答えている。
- 将来空き家を所有または管理する可能性があるかについて、約4割の人が「ある(ご実家や、現在、親や親族などが居住している住宅を相続する場合等)」と答えている。
- 住まいや実家などの将来について、約8割の人が話し合いの必要性を感じているが、そのうちの約半数は「具体的な話し合いの予定はない」と答えている。
- 今後、空き家問題の解決に向けて特に必要だと思うことは何かについて、「行政による支援の充実」と答えている人は5割以上となっている。

【 調 査 結 果 】

I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が44.4%、「少し感じている」が24.9%と、愛着や誇りを感じている人が69.3%となっている。一方、「あまり感じていない」が3.1%、「感じていない」が1.9%で、愛着や誇りを感じていない人は5.0%と1割に満たない。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は28年度が約8割と最も割合が高く、令和3年度以降は減少傾向となり、令和5年度は前年度より2.5ポイント減少している。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、50歳以上が高く、30歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、男性は50歳以上が高く、女性では20歳代と50～60歳代が高くなっている。

地域別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べて高くなっている。

図1.鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(n=1,706)

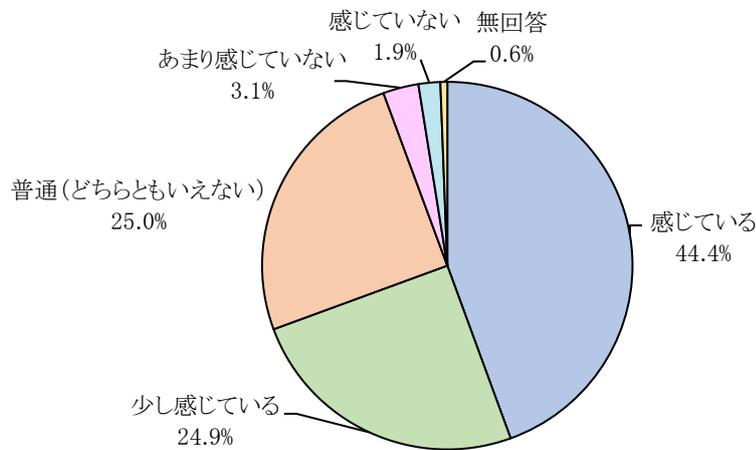


図2 鳥取県に対しての愛着や誇りについて

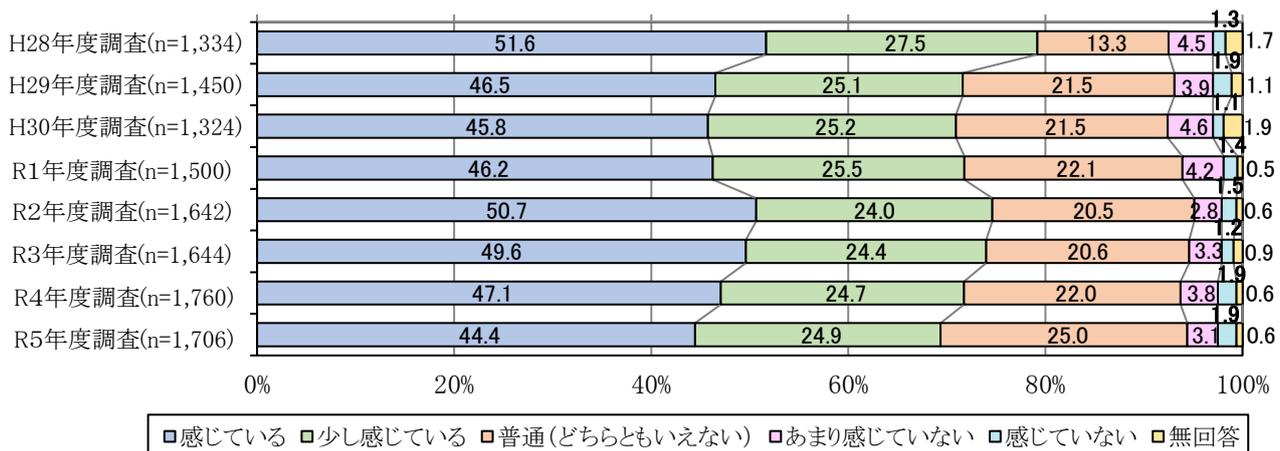
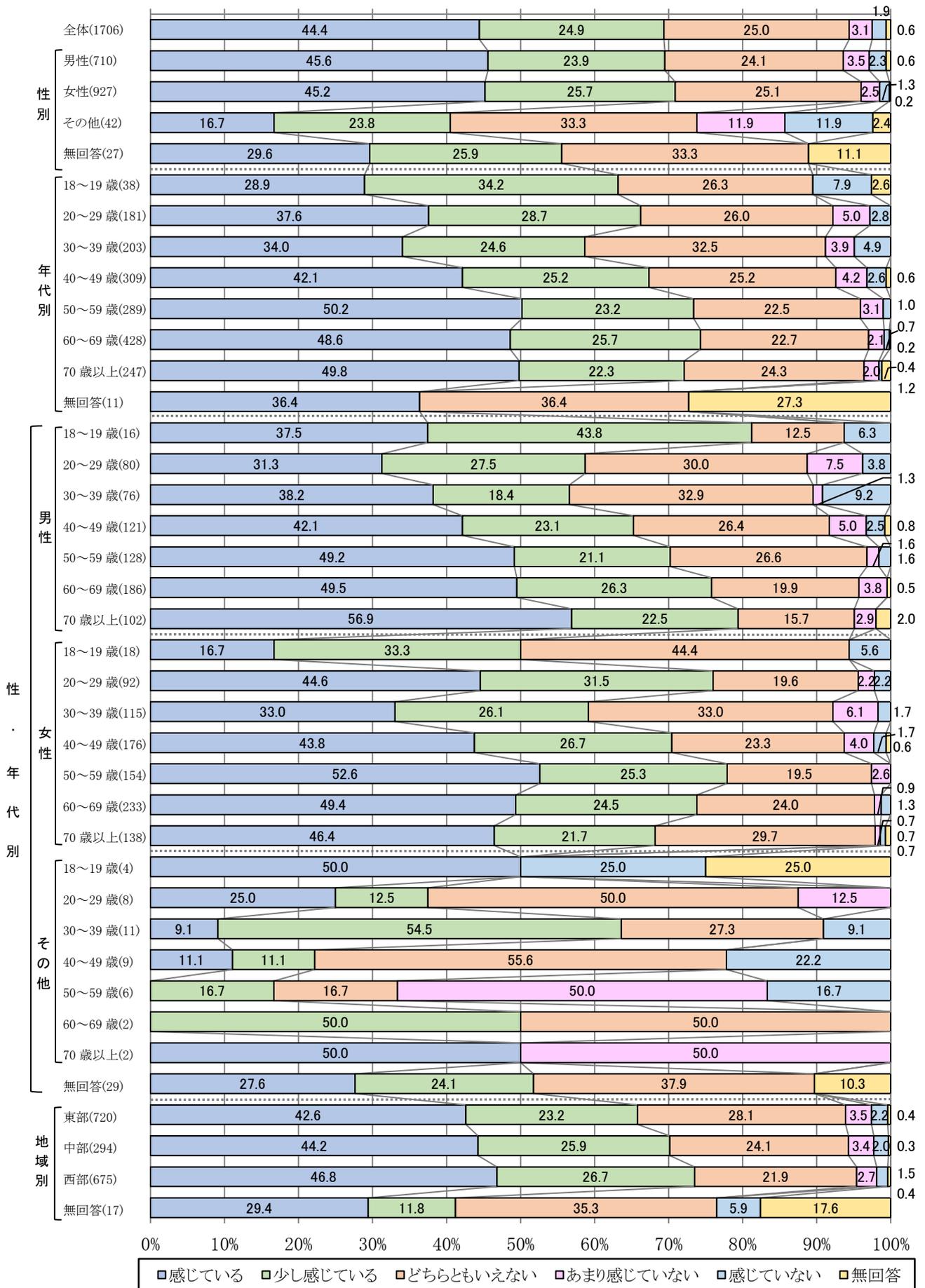


図3 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(性別・年代別・地域別)



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせると約6割の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が19.8%、「どちらかという住みやすい」が42.6%で、住みやすいと答えている人が合わせて62.4%となっている。

一方、「どちらかという住みにくい」が8.1%、「住みにくい」が2.2%で、住みにくいと答えている人は合わせて10.3%となっている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計は、28年度の74.9%が最も割合が高く、29年度以降は令和2年度を除き減少傾向となっている。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、50歳以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、男性は50歳代、70歳以上で高く、女性は50歳代が高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,706)

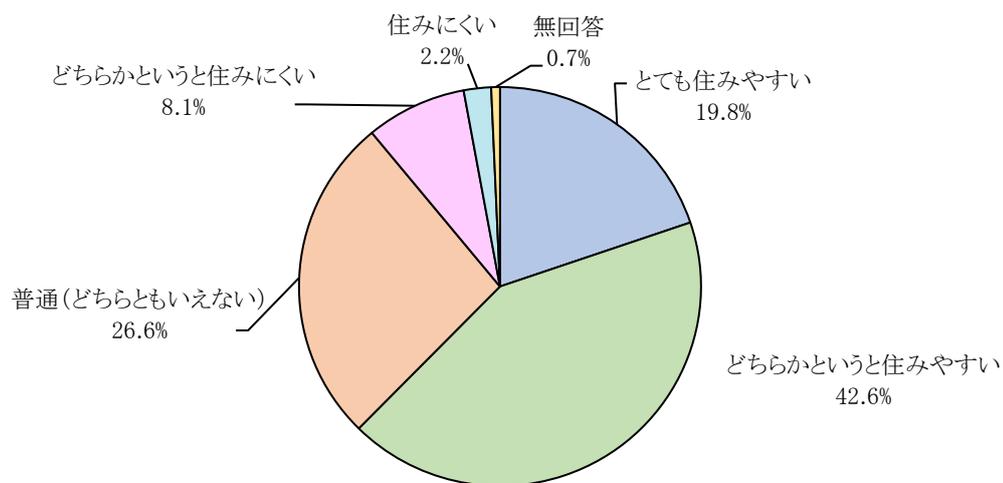


図5 今暮らしている地域の住みやすさ(年次比較)

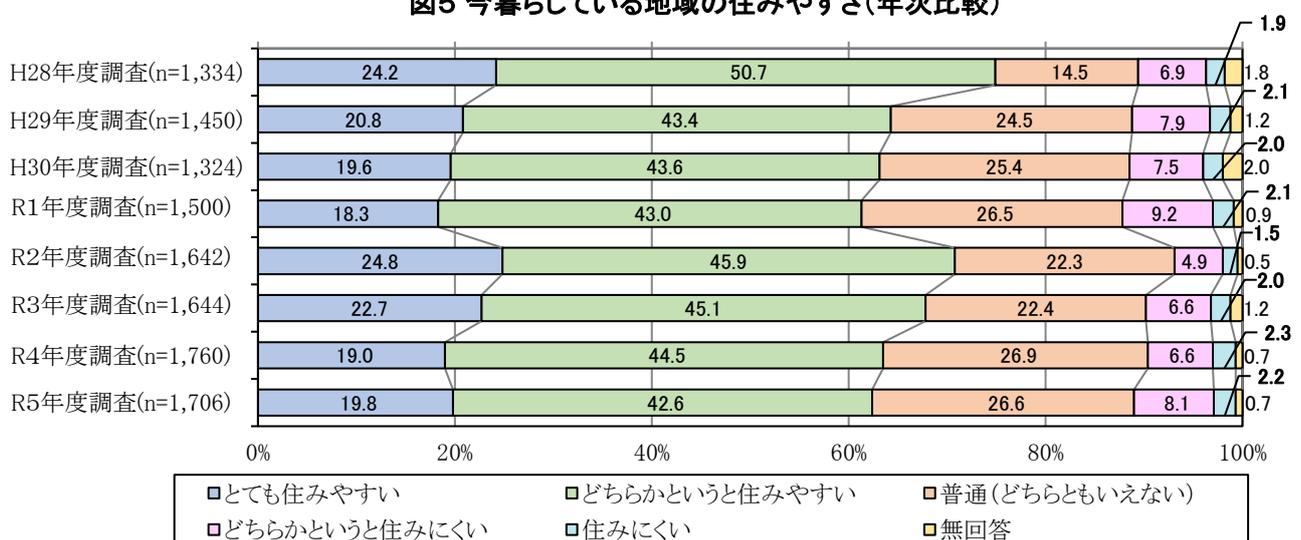
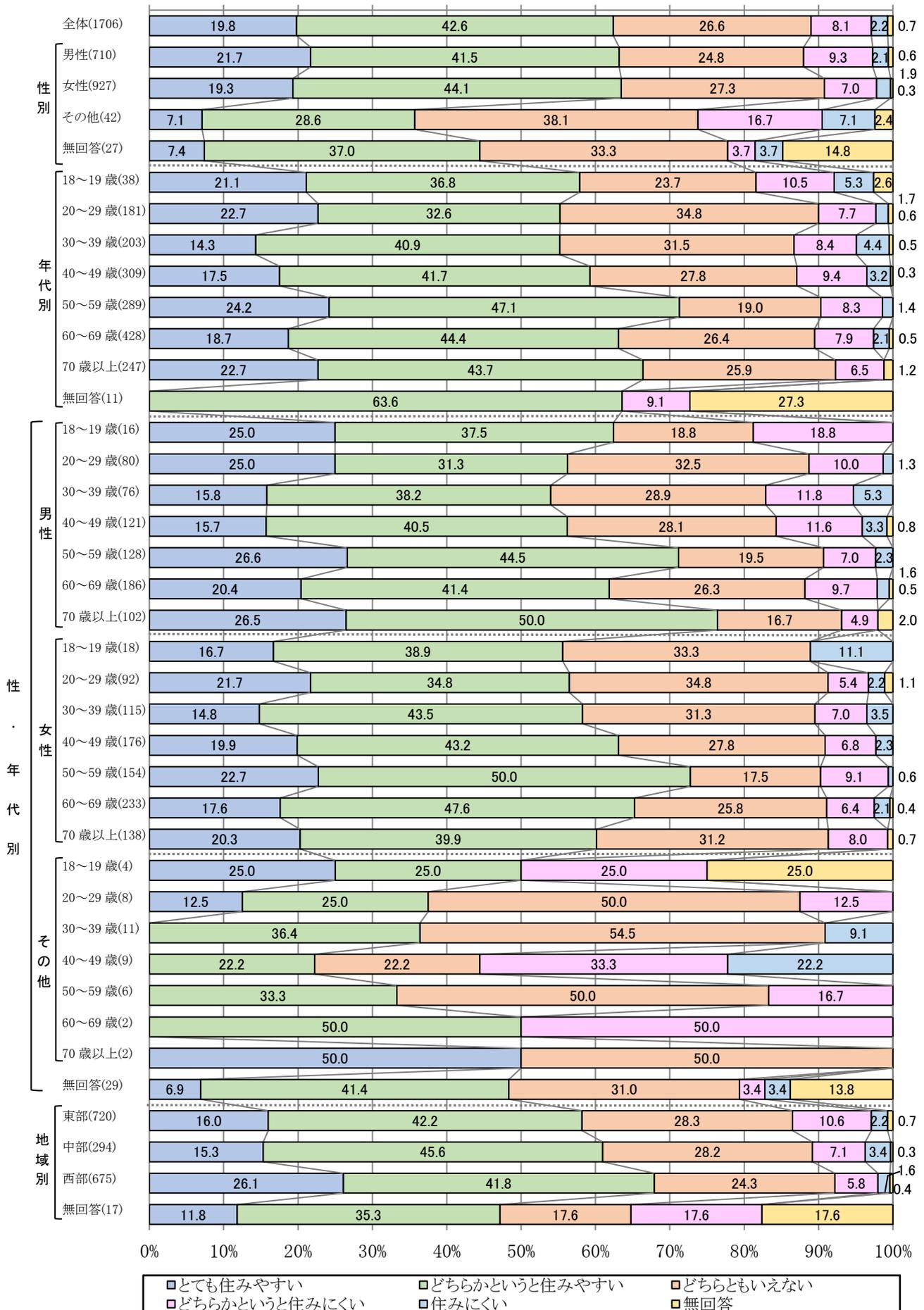


図6 今暮らしている地域の住みやすさ(性別・年代・地域別)



**問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか。
項目ごとにいずれかに○を記入してください。**

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

鳥取県に暮らしていてよく感じる(そう思う)項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が88.7%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が65.7%、「住んでいる住民(県民)が親切である」が54.6%、「地域での人と人とのつながりがある」が49.9%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県に暮らしていて良いと感じない(そう思わない)項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が57.7%で最も割合が高く、次いで「子どもの教育環境が充実している」が15.7%、「地域の防災組織が整っている」が15.2%と続いている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる(そう思う)との回答が全ての年度で約9割、「住んでいる住民(県民)が親切である」は概ね5割台、「地域の治安が良いと感じている」は全ての年度で6割台となっている。

また、令和5年度は前年度に比べ「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」は2ポイント増加している。

図7 鳥取県の暮らしについて(n=1,706)

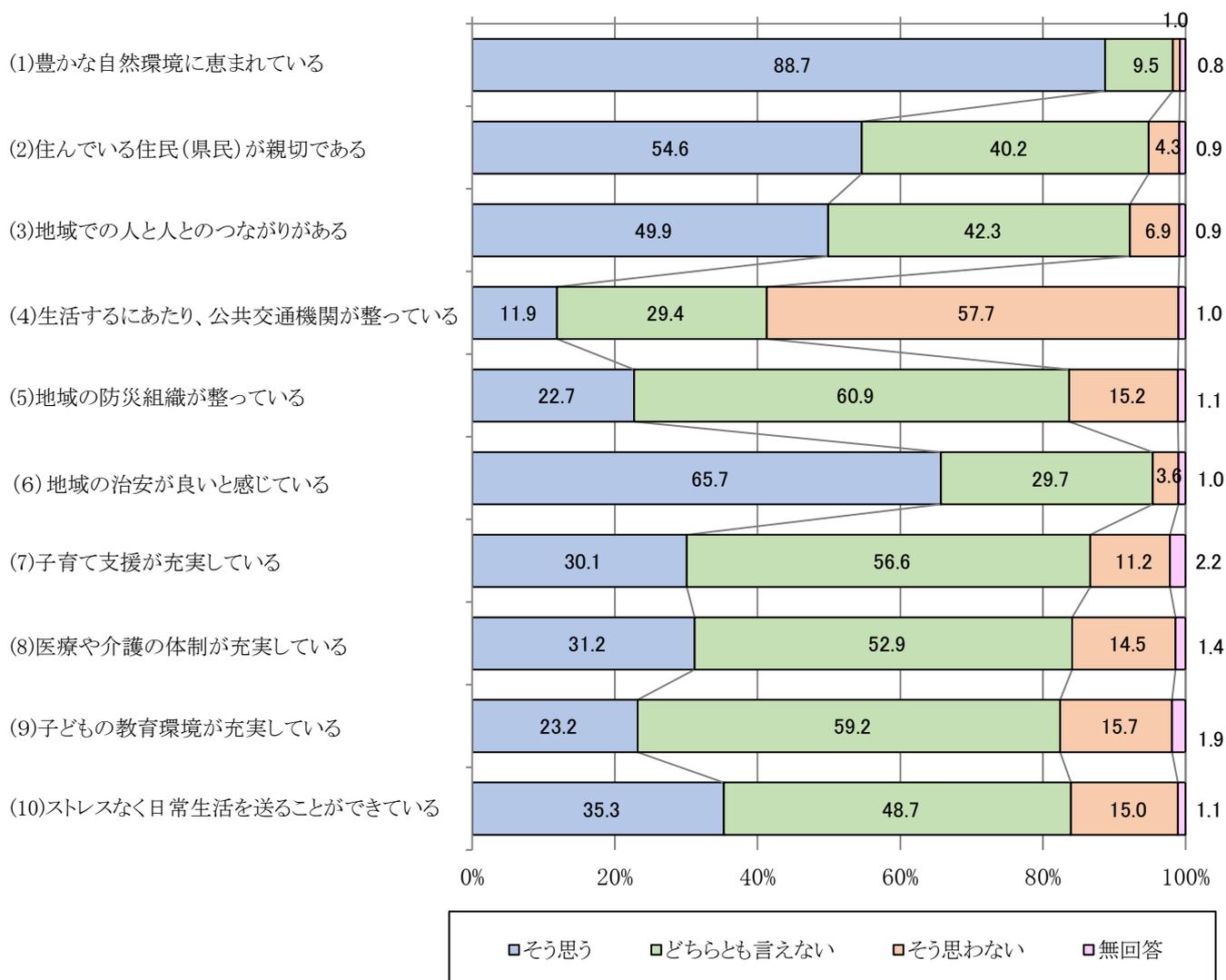
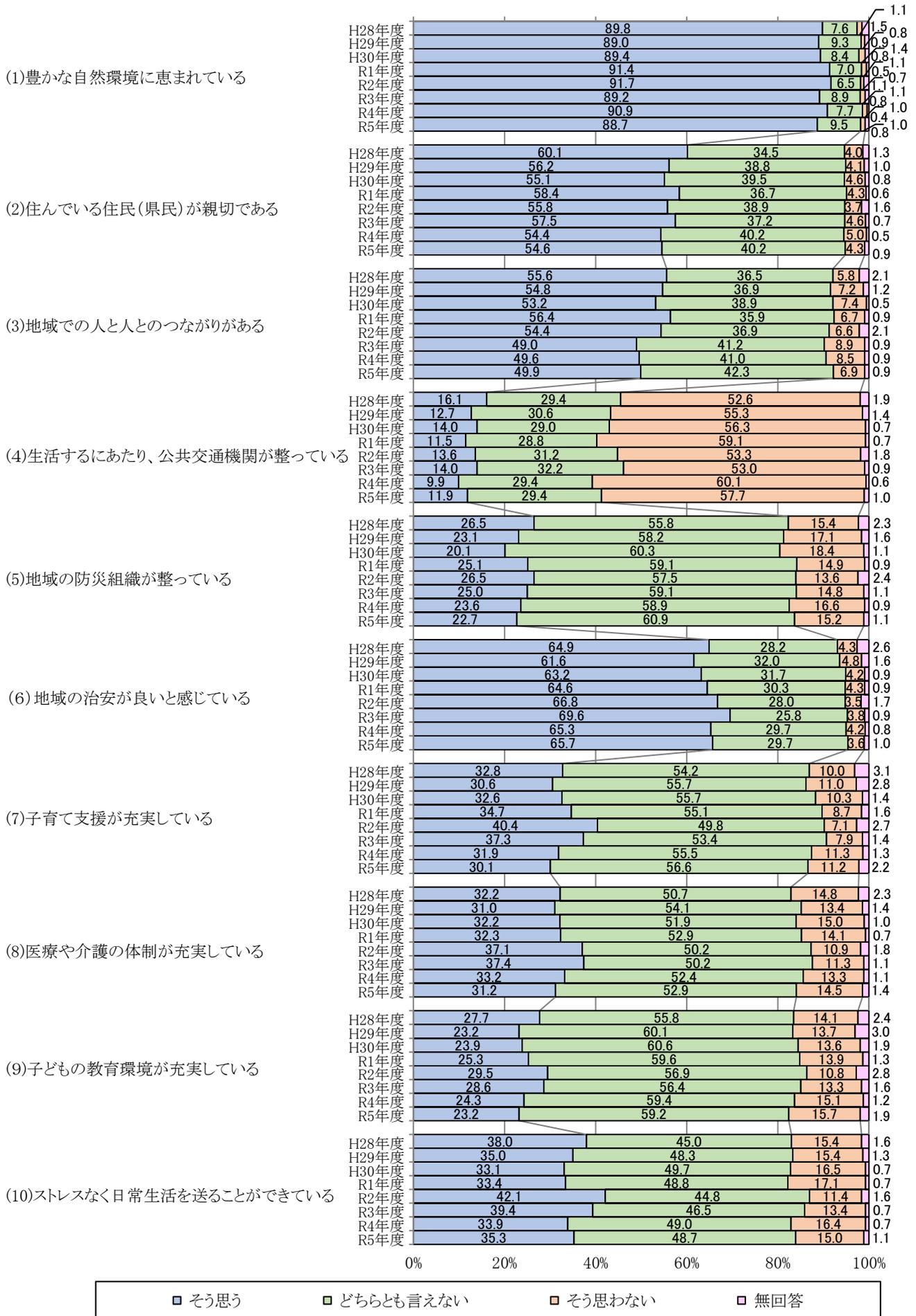


図8 鳥取県の暮らしについて(年次比較)



問4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか。

～5点「普通」から10点「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5点「普通」が28.0%と最も割合が高く、8点が19.9%、7点が19.1%、6点が12.1%と続き、5点「普通」以上と回答した割合は90.4%となっている。
 性・年代別でみると、幸福度5点以上は男性の50歳以上、全年代の女性で9割以上を占めている。一方、男性の40歳以上は他の年代と比べて低くなっている。

図9 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか(年次比較)

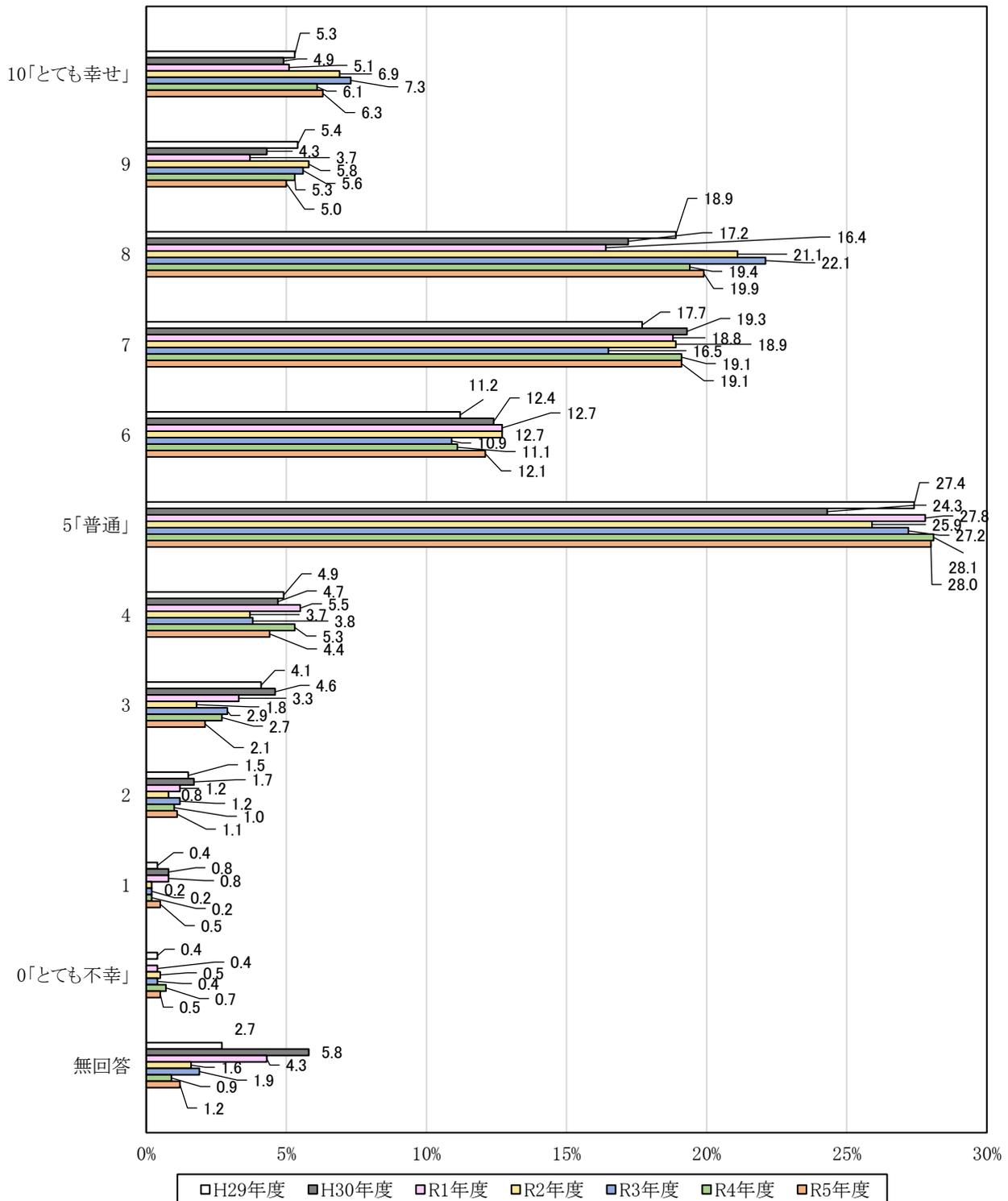
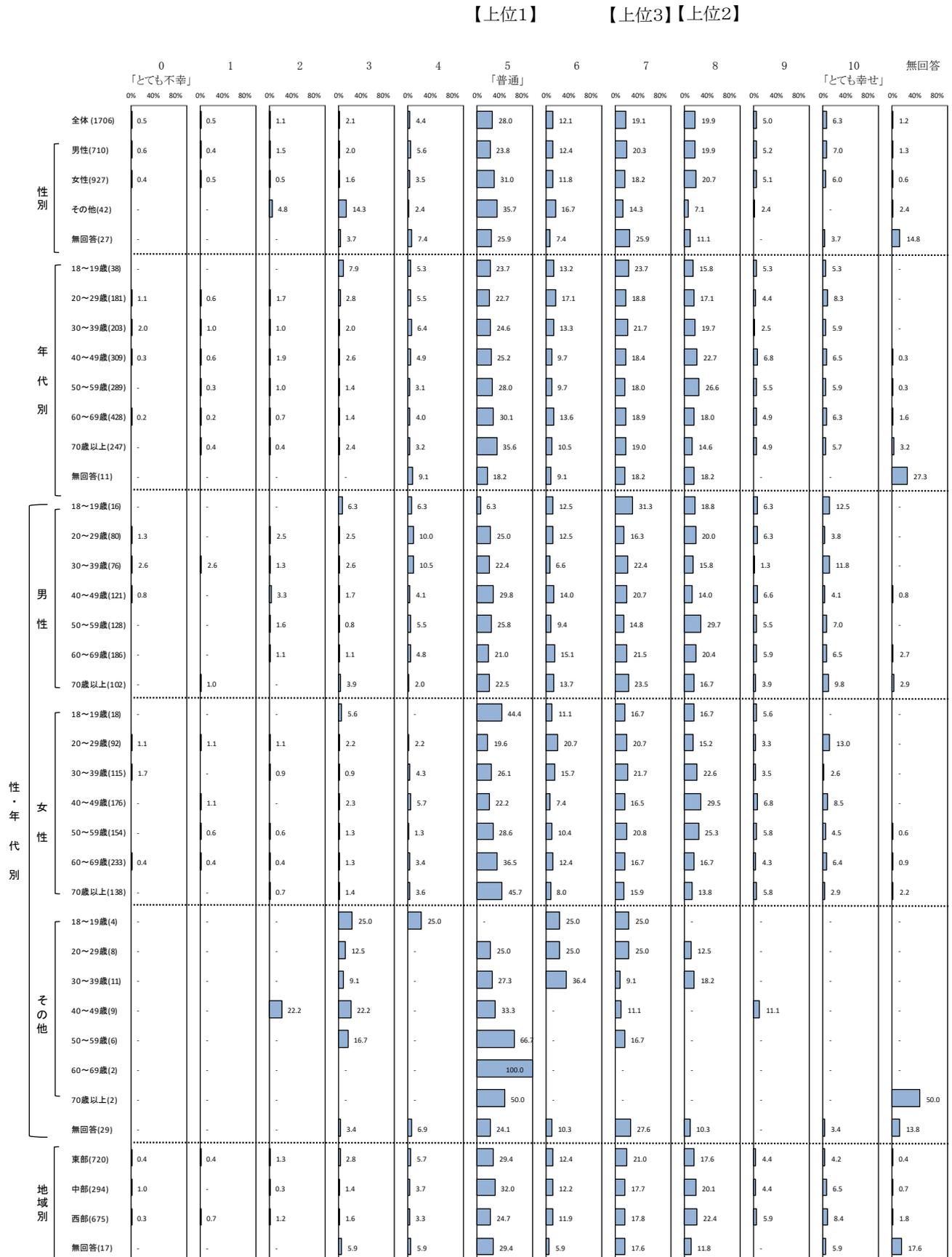


図 10 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(性別・年代別・地域別)



問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

～「家計の状況」「自身の健康の状況」「家族関係」を重視～

幸福度を判断するときに重視することは、「家計の状況」が68.7%と最も割合が高く、次いで「自身の健康の状況」が65.6%、「家族関係」が57.7%、「精神的なゆとり」が57.2%となっている。

平成29年度-令和5年度を比較してみると、上位3項目は常に「自身の健康の状況」、「家計の状況」、「家族関係」となっている。

年代別でみると、「家計の状況」は30～40歳代、「自身の健康の状況」は60歳以上、「家族関係」は30～60歳代で高く、また、「精神的なゆとり」は40歳代以下、「自由な時間(充実した余暇)」「趣味などのいきがい」は30歳代以下で高くなっている。

図11 「幸福度」の判断で重視することは(年次比較)

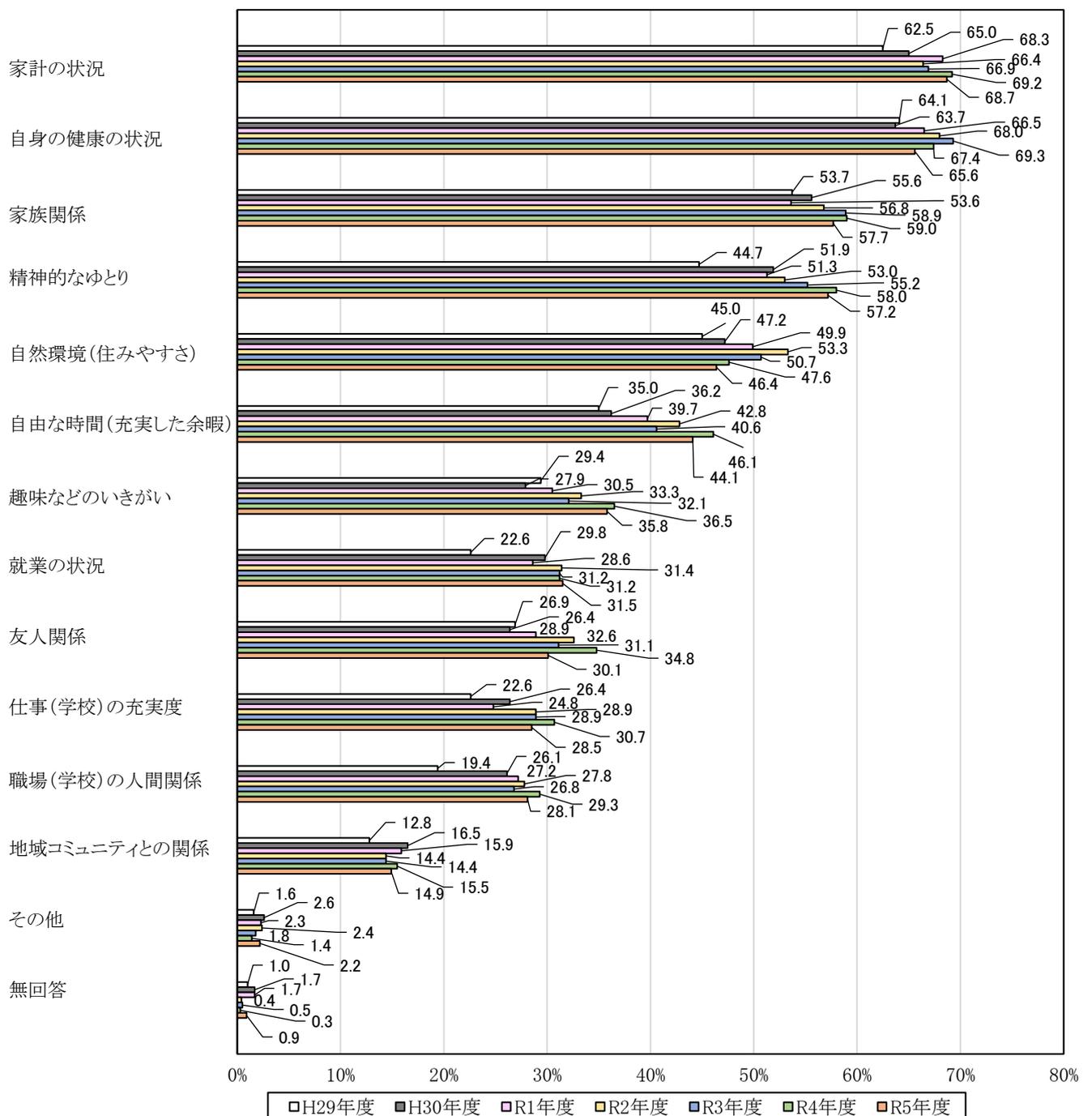
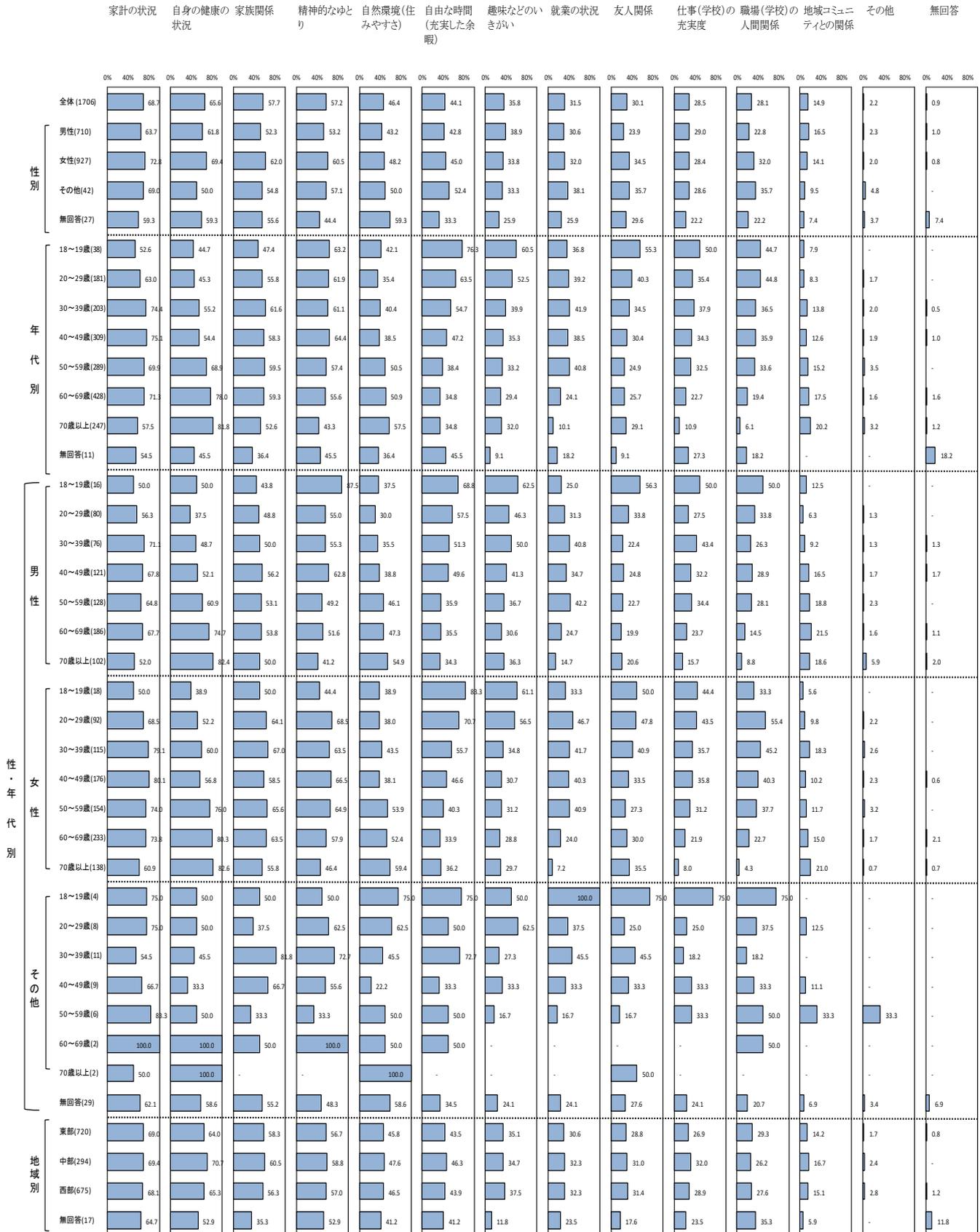


図 12 「幸福度」の判断で重視すること(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】



II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

問6 鳥取県の施策等について、あなたの満足度をお聞きしますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1~5のいずれかの数字に○をしてください。)

※「5」は満足、「1」は不満

問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～「農業の活力増進に関する取組」の満足度がトップ～

「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「農業の活力増進に関する取組」が30.0%と最も割合が高く、次いで、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が29.9%、「スポーツによる交流促進を進める取組」が20.4%と続いている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、満足度は「スポーツによる交流促進を進める取組」「農業の活力増進に関する取組」が令和2年度に大幅に増加して、以降はそれぞれ2割台、3割台で推移している。「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」は前年度より2.6ポイント減少している。

図13 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる取組の満足度(n=1,706)

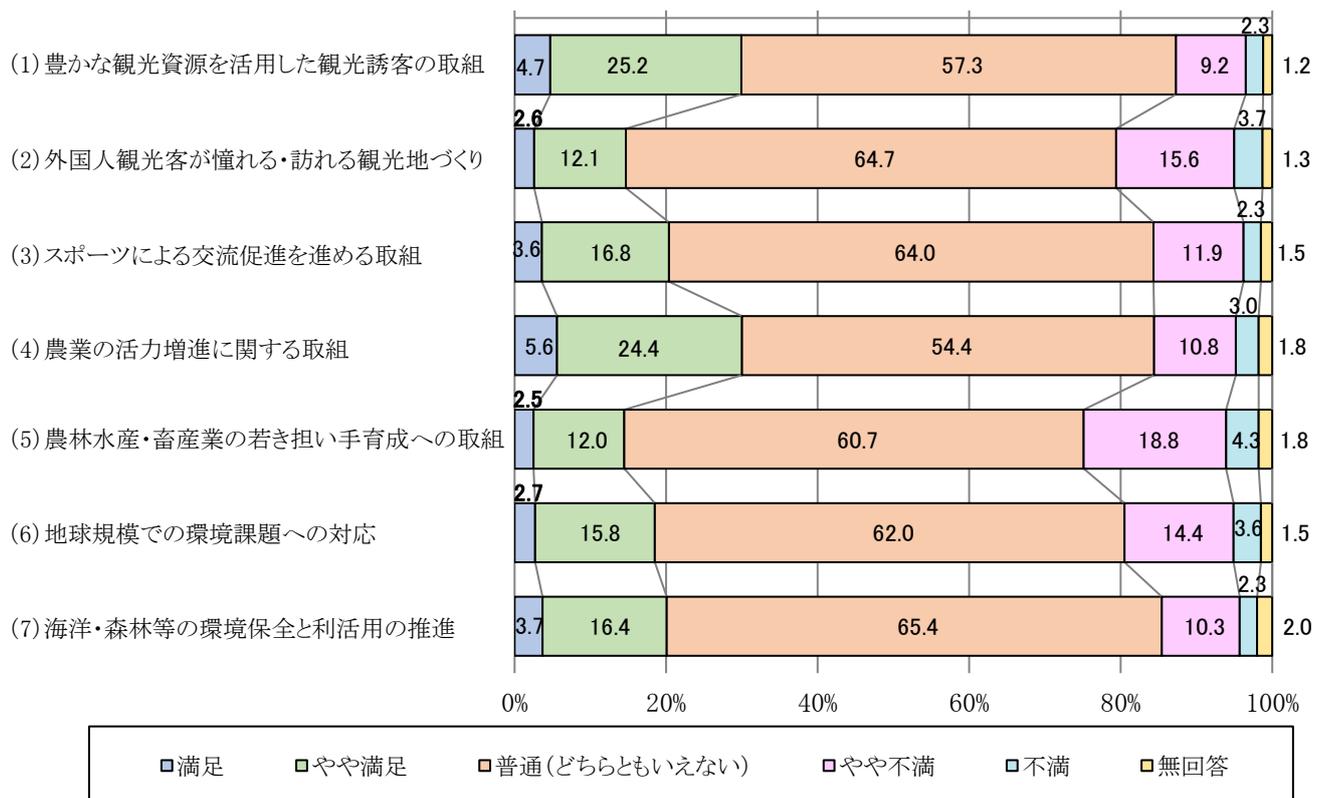
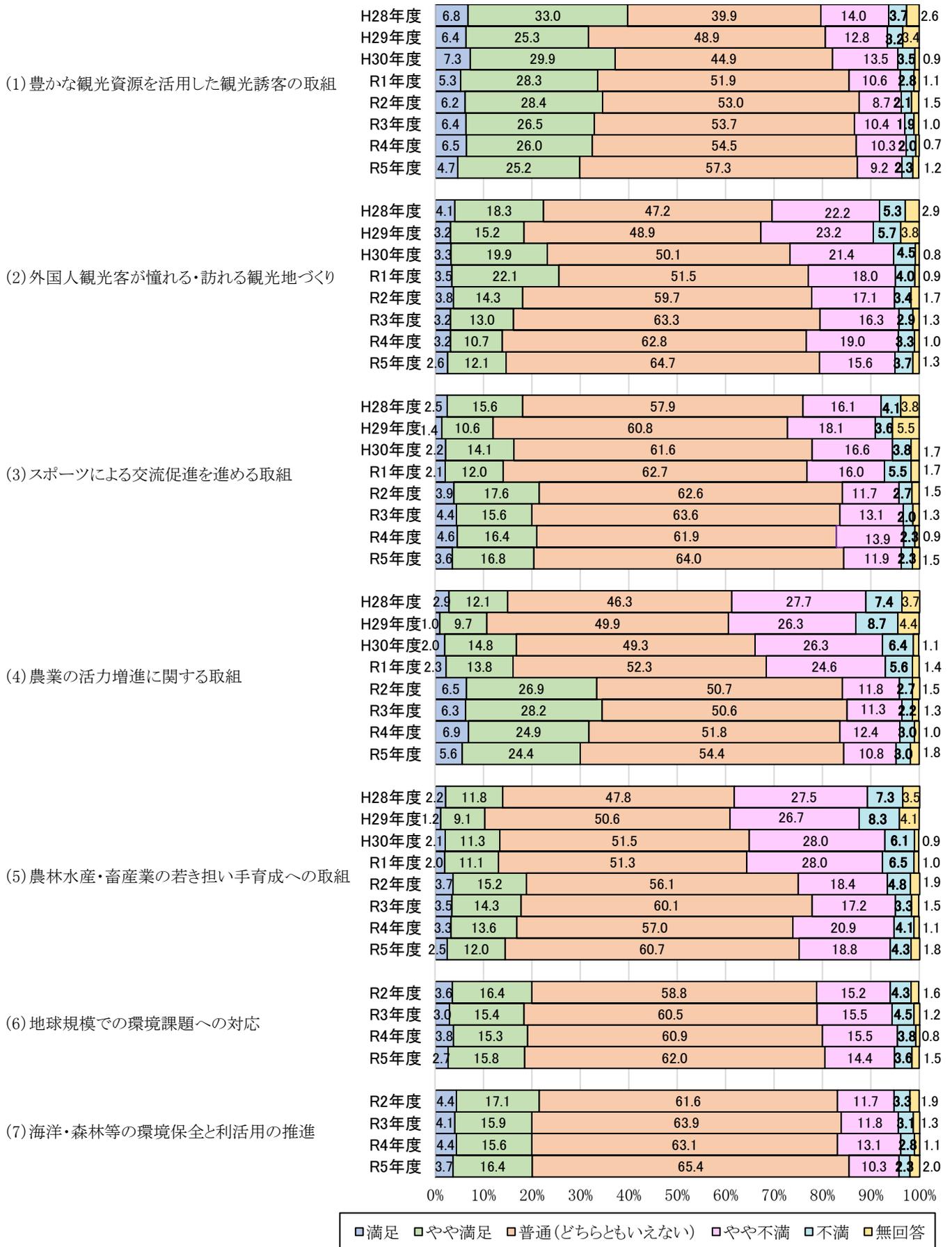


図 14 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(年次比較)



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

(2)外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり

【+0.8】

(7)海洋・森林の環境保全と利活用の推進

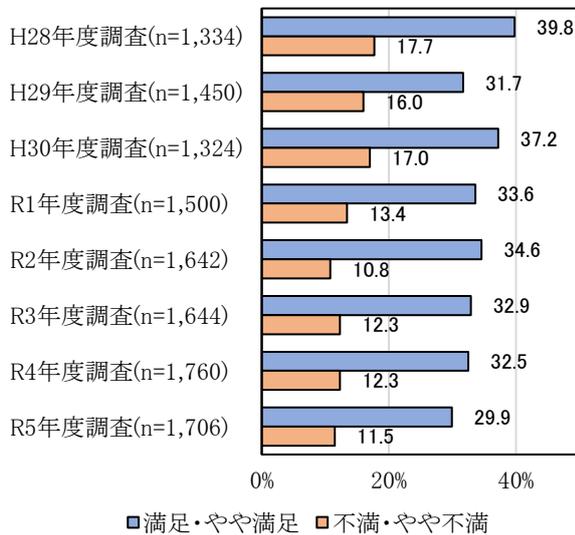
【+0.1】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

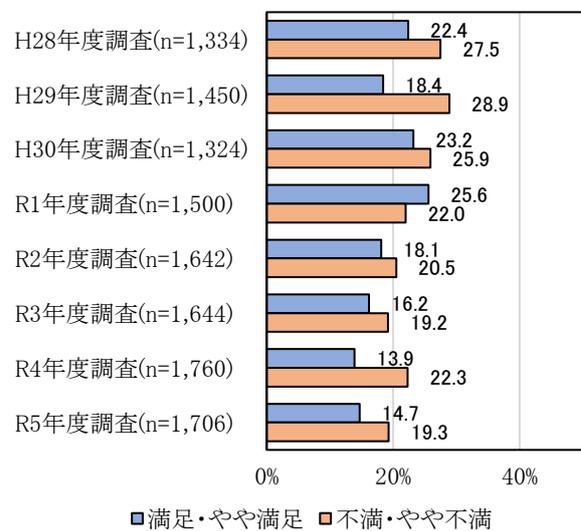
前年度より上がった項目は無し

●満足度・不満足度の比較

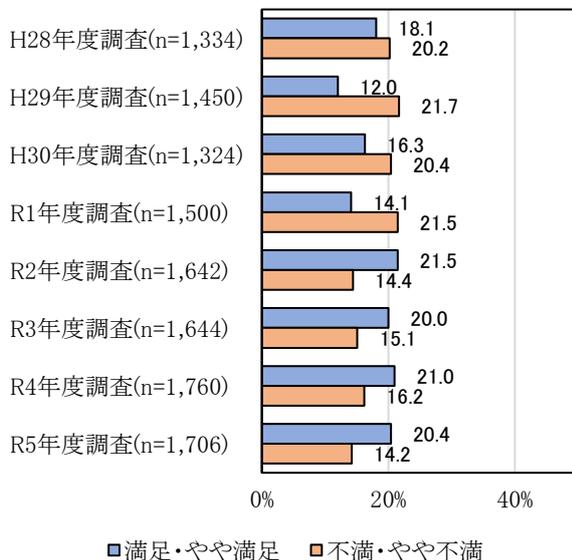
(1)豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組



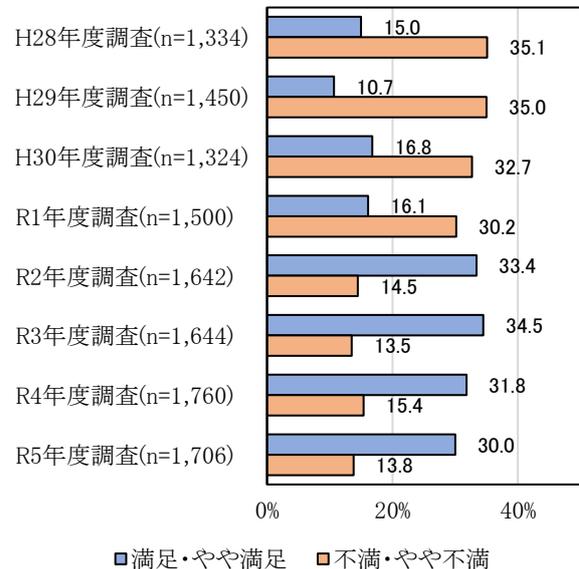
(2)外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり



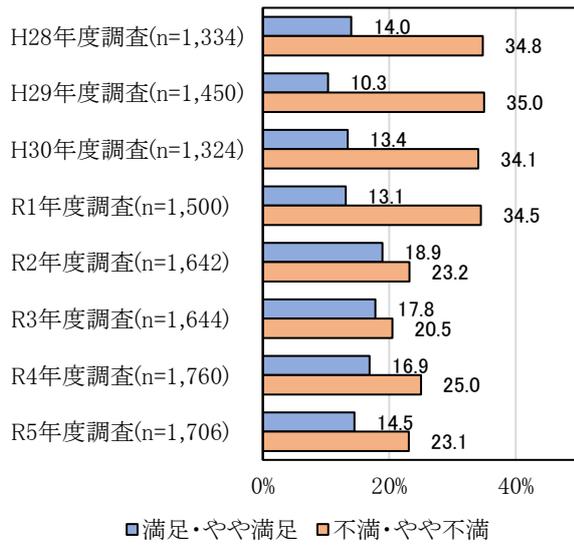
(3)スポーツによる交流促進を進める取組



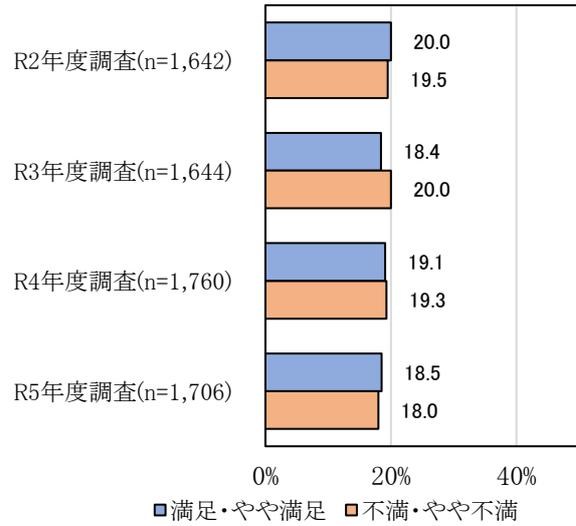
(4)農業の活力増進に関する取組



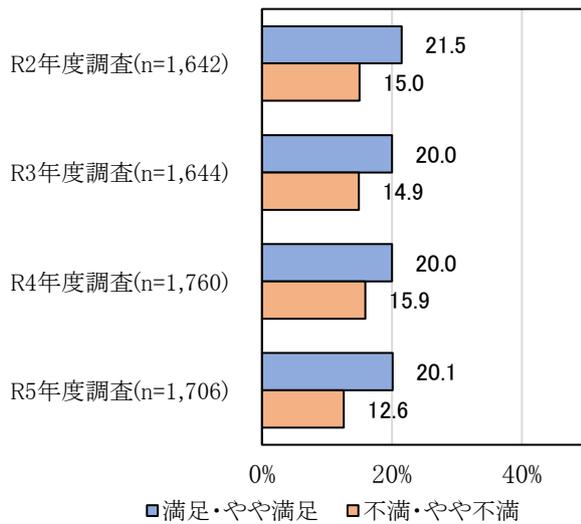
(5) 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組



(6) 地球規模での環境課題への対応



(7) 海洋・森林等の環境保全と利活用の推進



問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～農林水産・畜産業の振興や観光資源を活用した誘客の取組が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が58.4%と最も高く、次いで「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が54.2%、「農業の活力増進に関する取組」が50.8%と続いている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が毎年度毎に増加し、「外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり」が令和5年度は前年度より3.1ポイント増加している。

年代別でみると、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」、「外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり」は年代が若いほど割合が高い傾向となっている。

図15 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(年次比較)

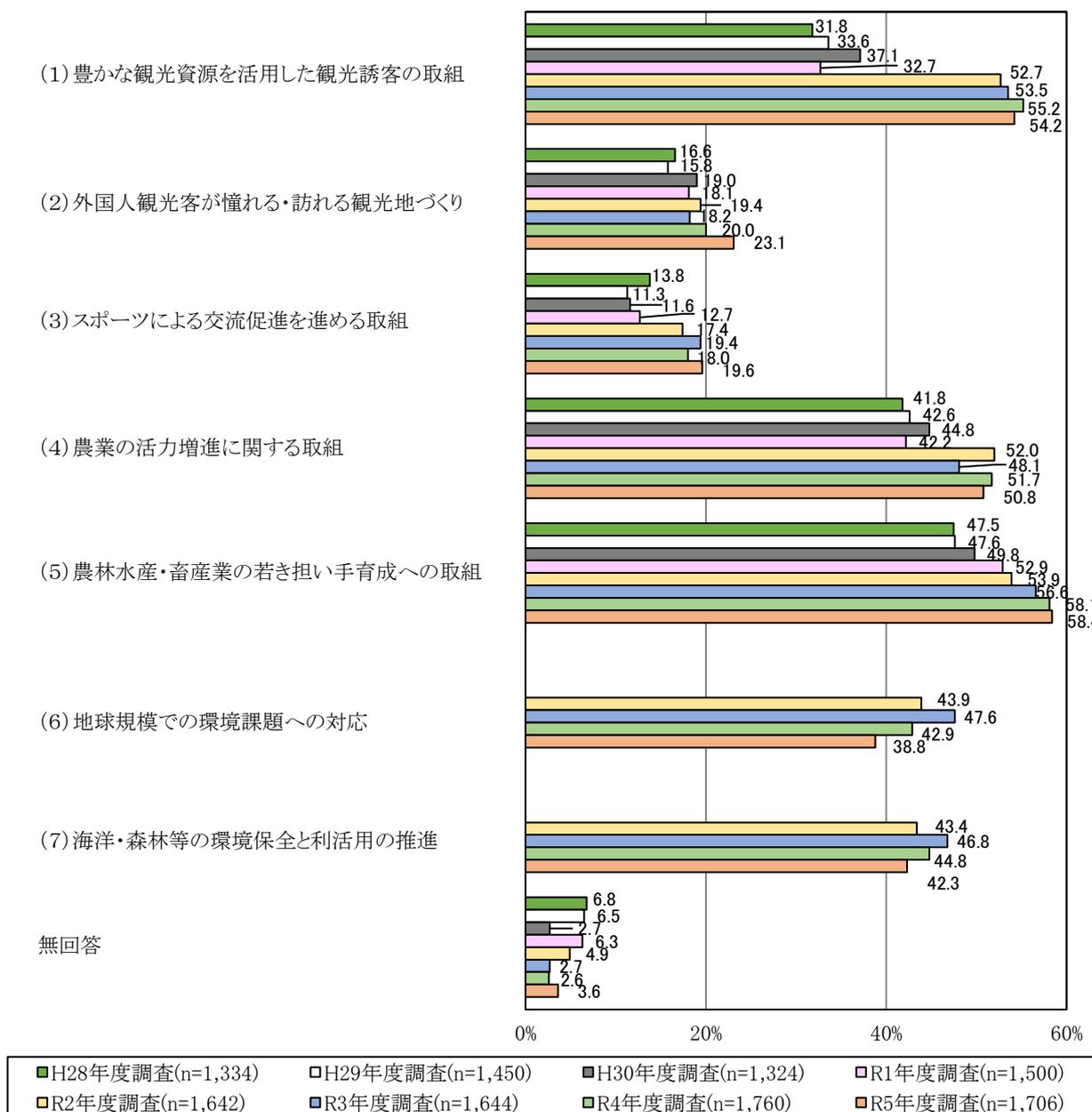
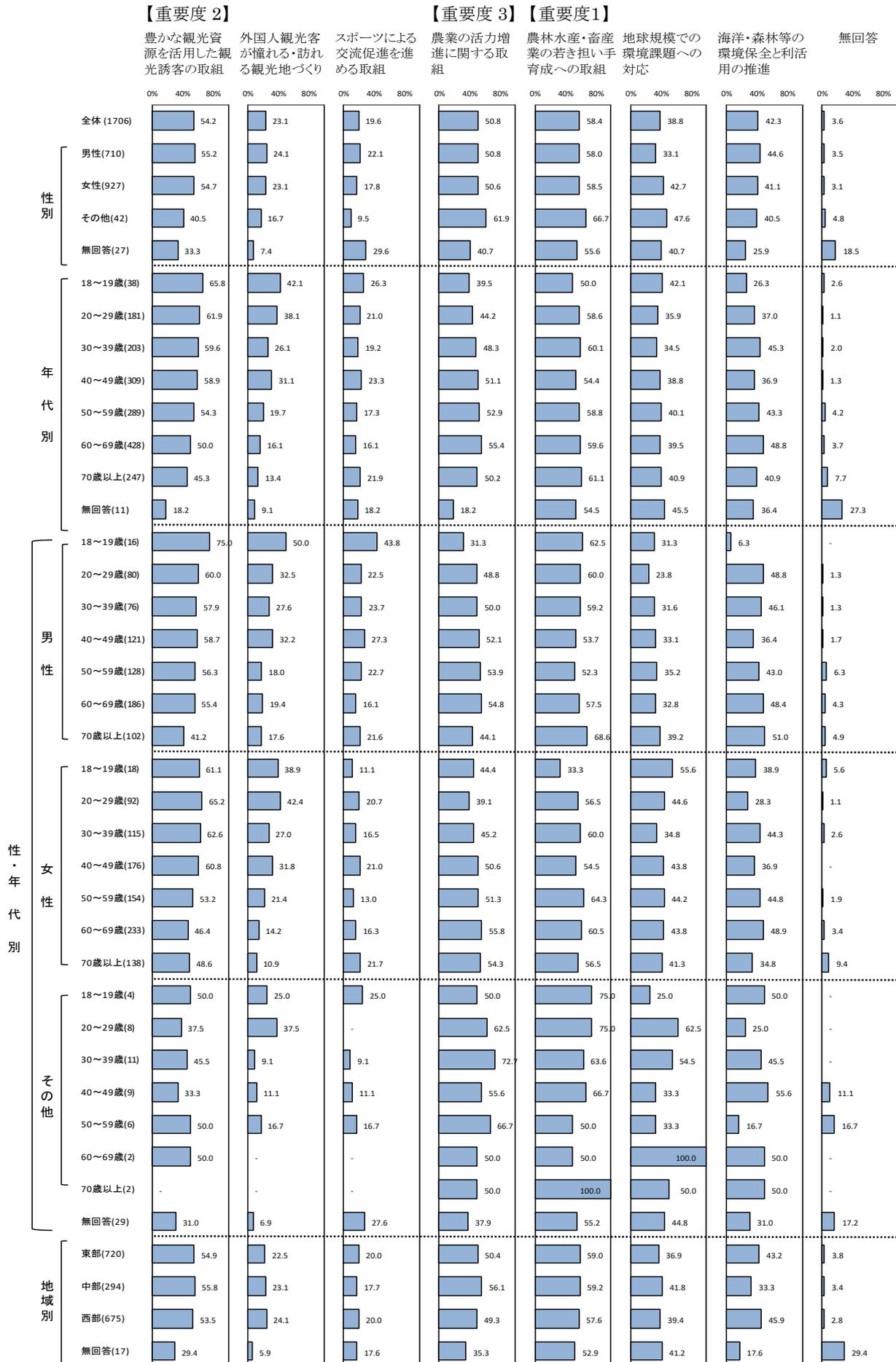


図16 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～「感染症に強い地域づくり」の満足度が高い～

「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「感染症に強い地域づくり」が32.8%と最も高く、次いで「健康寿命の延伸」が21.5%、「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が20.5%となっている。

平成 28 年度-令和5年度を比較してみると、「地域で子育て世代を支える取組」「絆を活かした中山間市域・まちなか振興に関する取組」の満足度は、令和5年度は前年度より約3ポイント減少している。

また、「絆を活かした中山間市域・まちなか振興に関する取組」の不満(不満・やや不満足)の計は、令和5年度は前年度より4.8ポイント増加している。

図17 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(n=1,706)

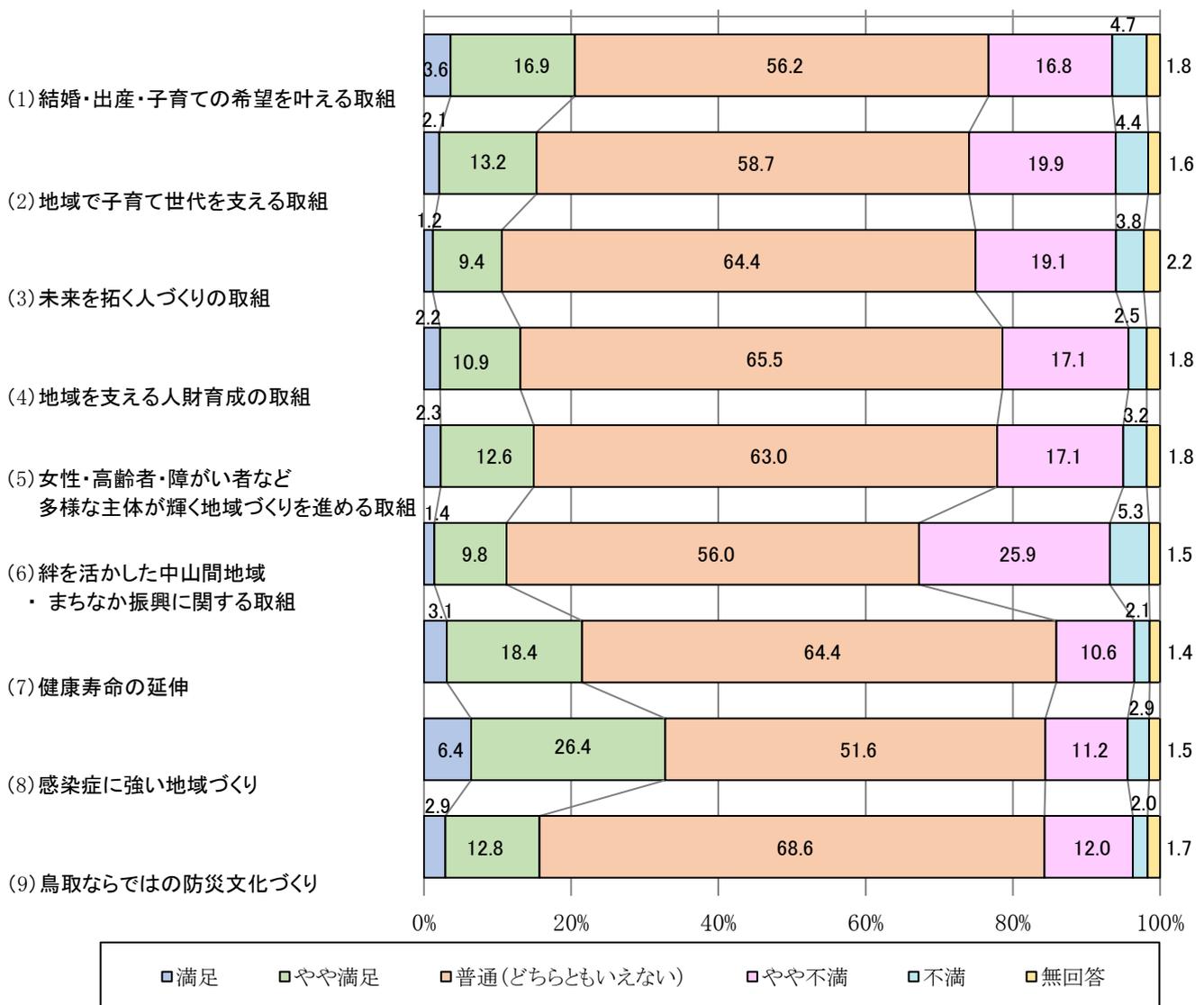
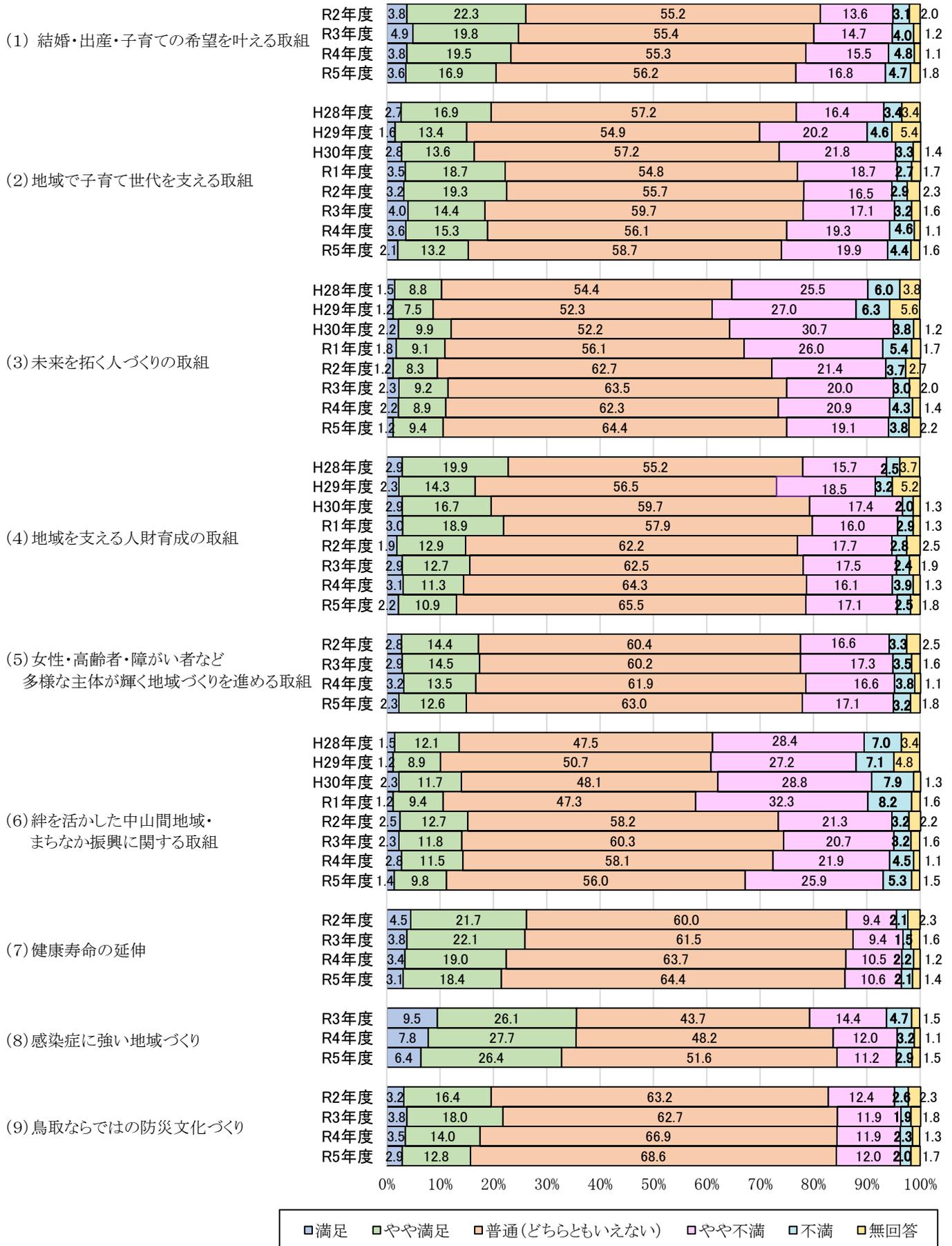


図 18 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(年次比較)



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

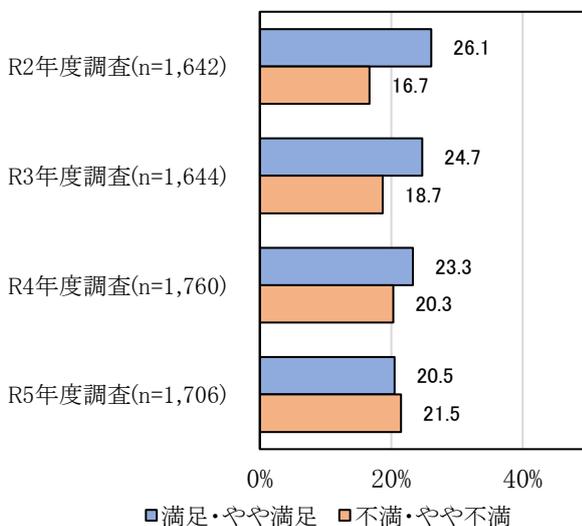
前年度より上がった項目は無し

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

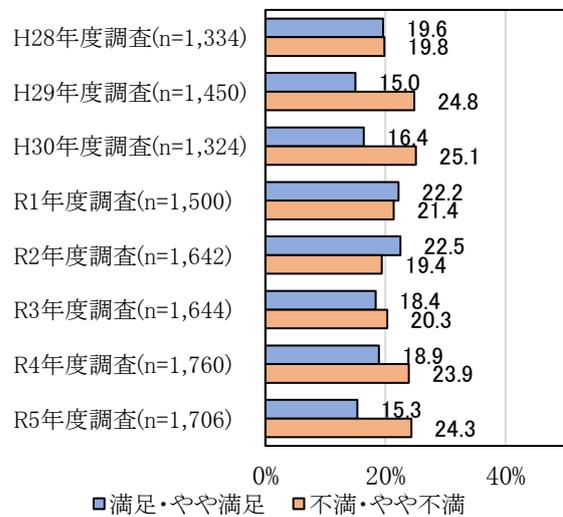
- (6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組 【+4.8】
- (1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組 【+1.2】
- (2) 地域で子育て世代を支える取組 【+0.4】

●満足度・不満足度の比較

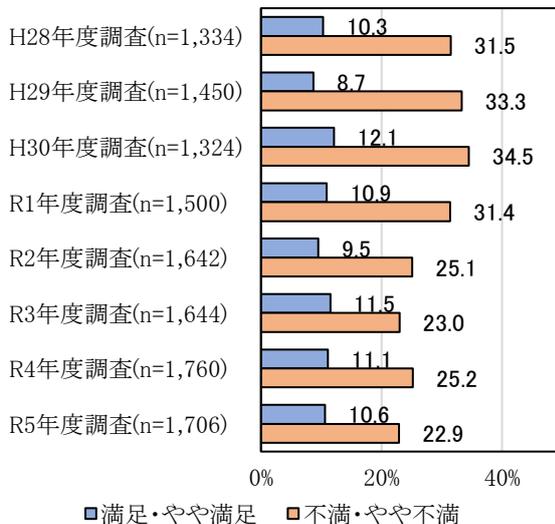
(1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組



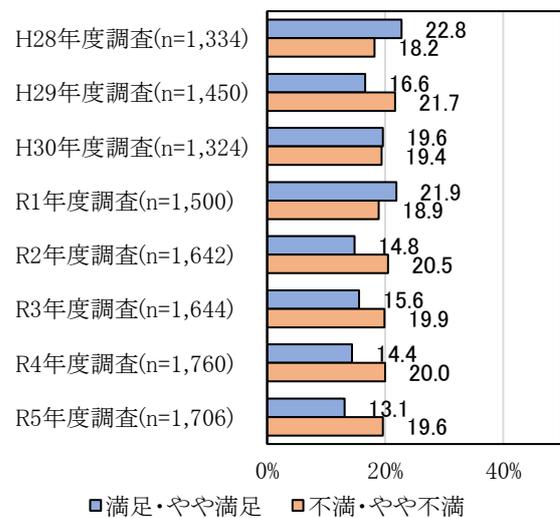
(2) 地域で子育て世代を支える取組



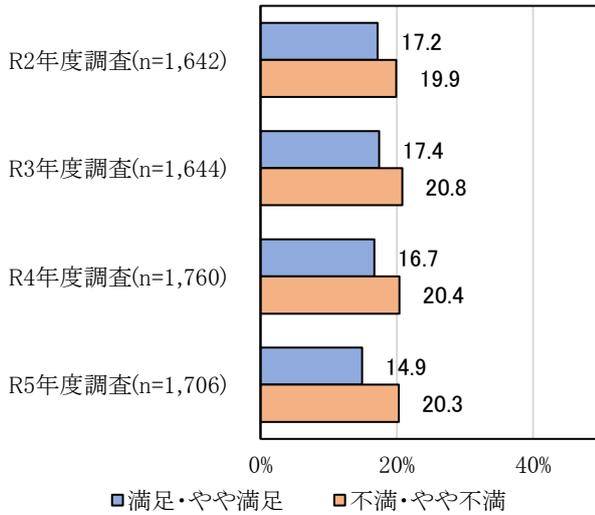
(3) 未来を拓く人づくりの取組



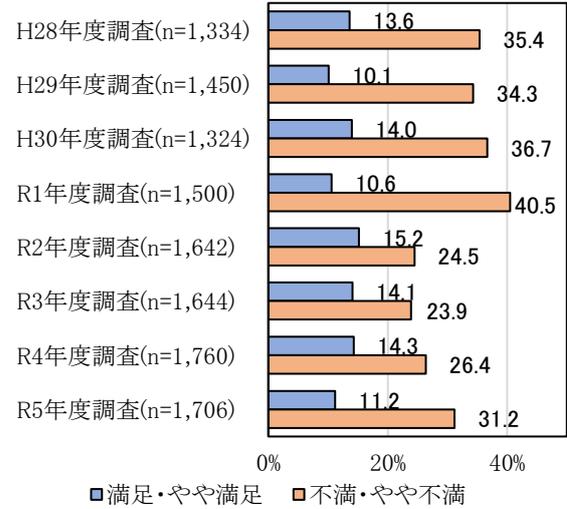
(4) 地域を支える人財育成の取組



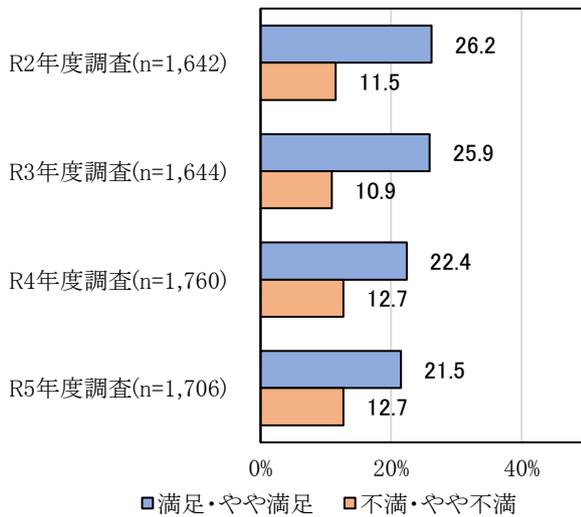
**(5) 女性・高齢者・障がい者など
多様な主体が輝く地域づくりを進める取組**



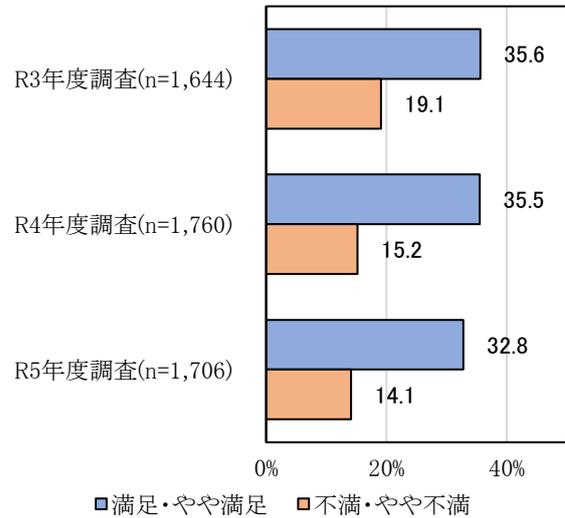
**(6) 絆を活かした中山間地域・
まちなか振興に関する取組**



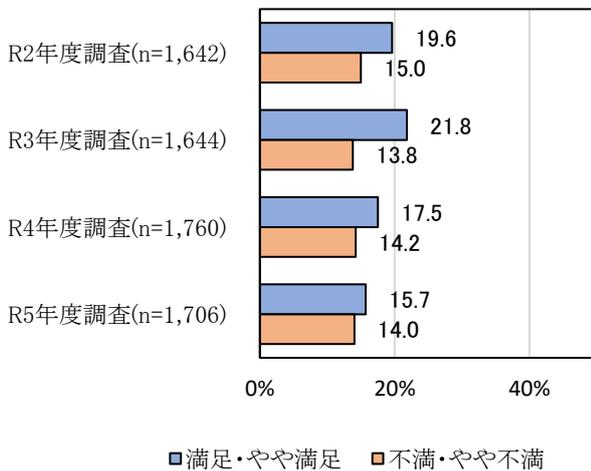
(7) 健康寿命の延伸



(8) 感染症に強い地域づくり



(9) 鳥取ならではの防災文化づくり



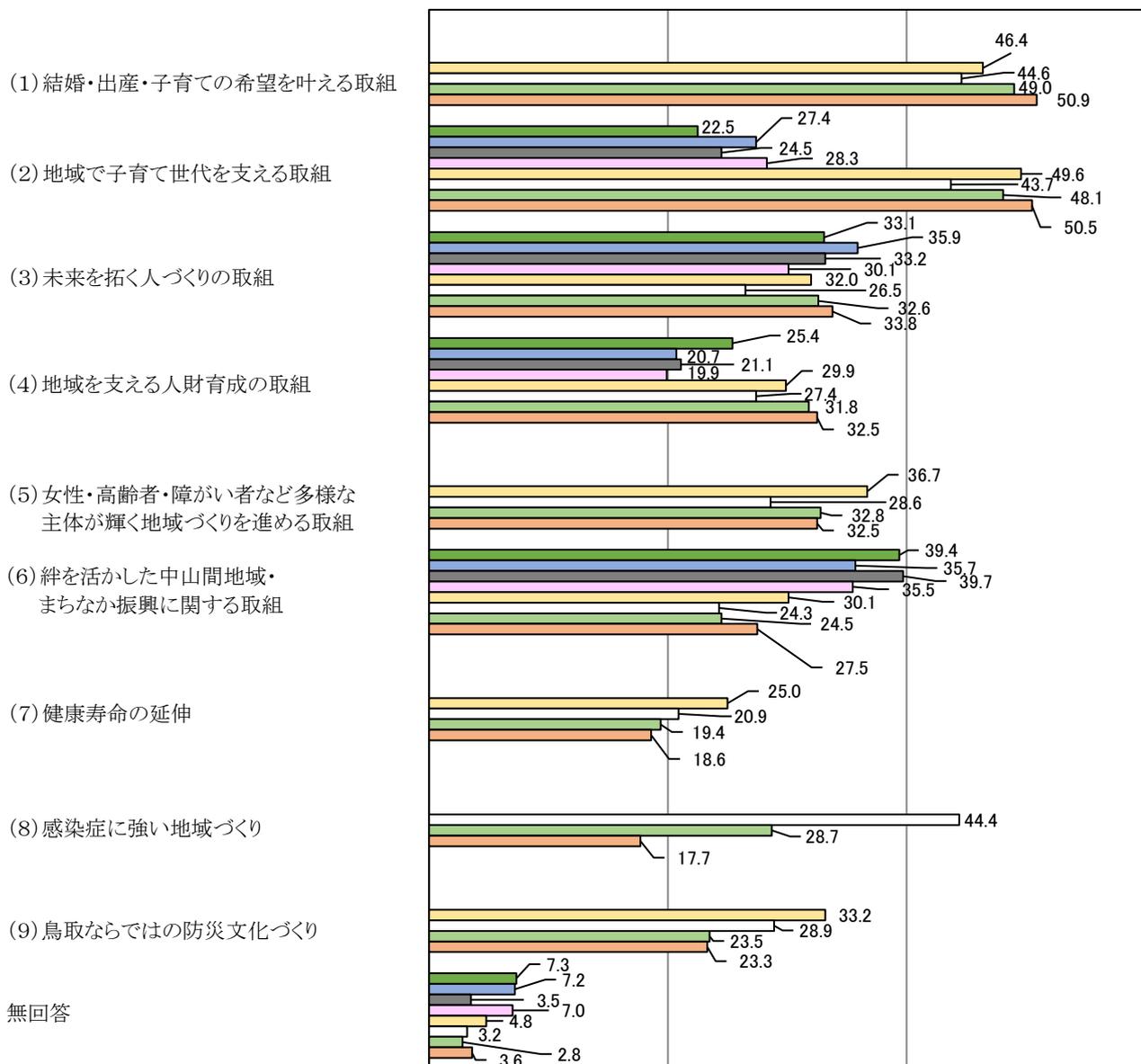
問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の施策のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「地域で子育て世代を支える取組」「未来を拓く人づくりの取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が50.9%と最も高く、次いで、「地域で子育て世代を支える取組」が50.5%、「未来を拓く人づくりの取組」が33.8%となっている。

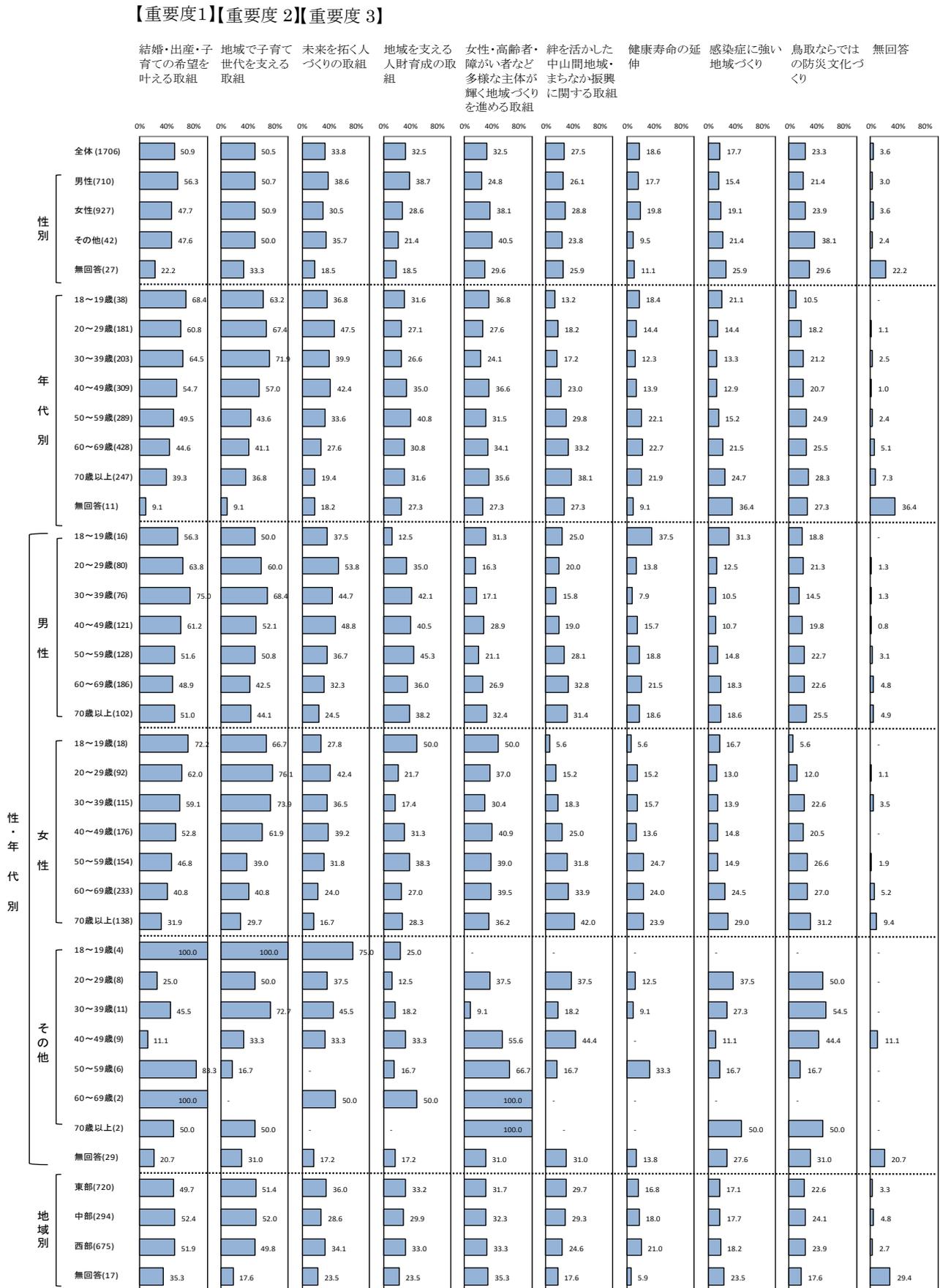
平成28年度-令和5年度を比較してみると、減少傾向だった「絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組」が令和5年度は前年度より3ポイント以上高くなっている。

図19 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(年次比較)



■ H28年度調査(n=1,334) ■ H29年度調査(n=1,450) ■ H30年度調査(n=1,324) □ R1年度調査(n=1,500)
 ■ R2年度調査(n=1,642) □ R3年度調査(n=1,644) ■ R4年度調査(n=1,760) ■ R5年度調査(n=1,706)

図 20 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～アート・文化、移住定住、防災基盤構築の取組が上位～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「アート・文化による地域づくりへの取組」が20.0%と最も高く、次いで「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が19.0%、「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」が18.8%となっている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、令和2年度以降は横ばいの項目が多いが、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「アート・文化による地域づくりへの取組」の満足度は令和5年度は前年度より約2ポイント減少している。

また、不満(不満・やや不満足)については、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が令和5年度は前年度より約3ポイント減少している。

図21 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(n=1,706)

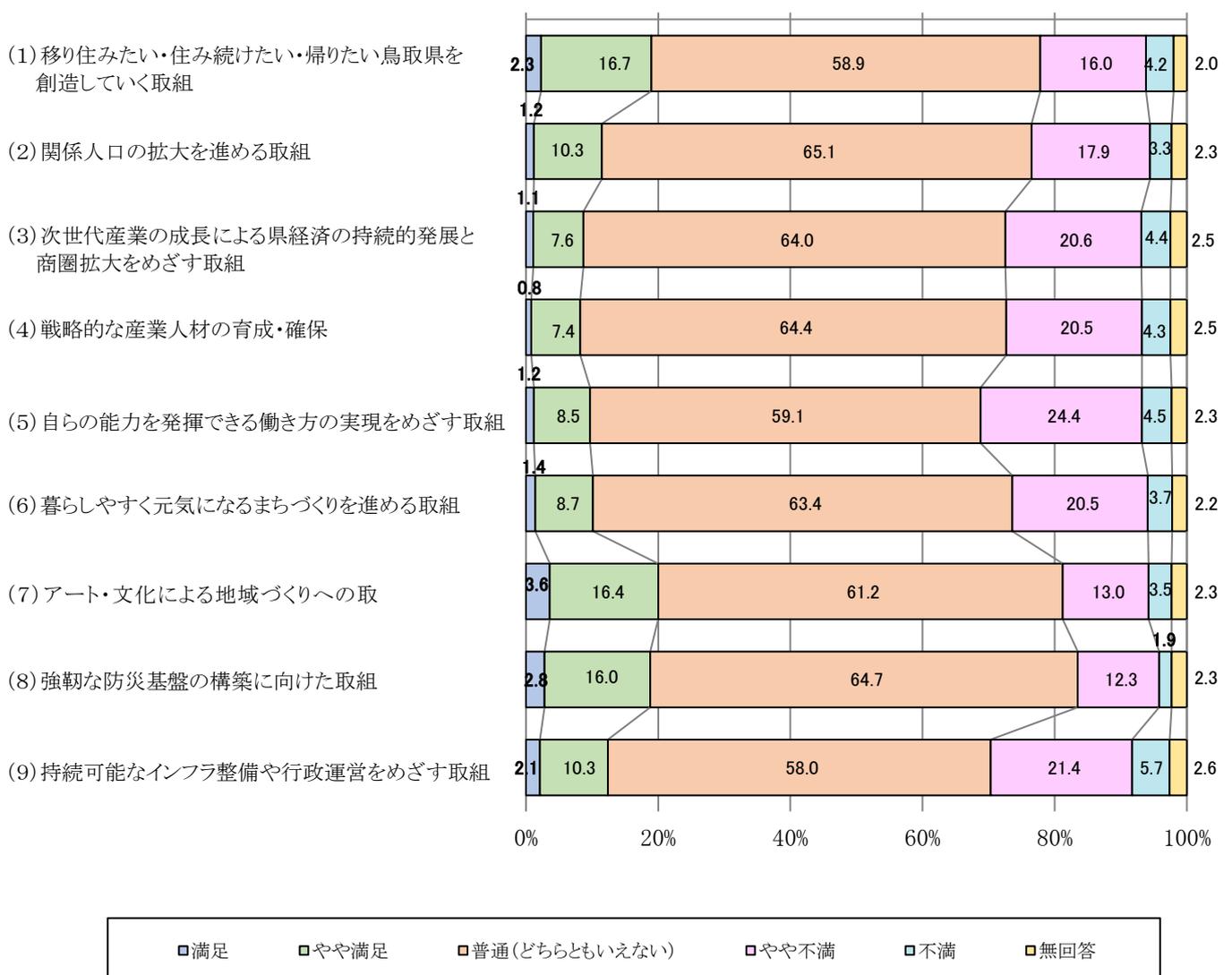
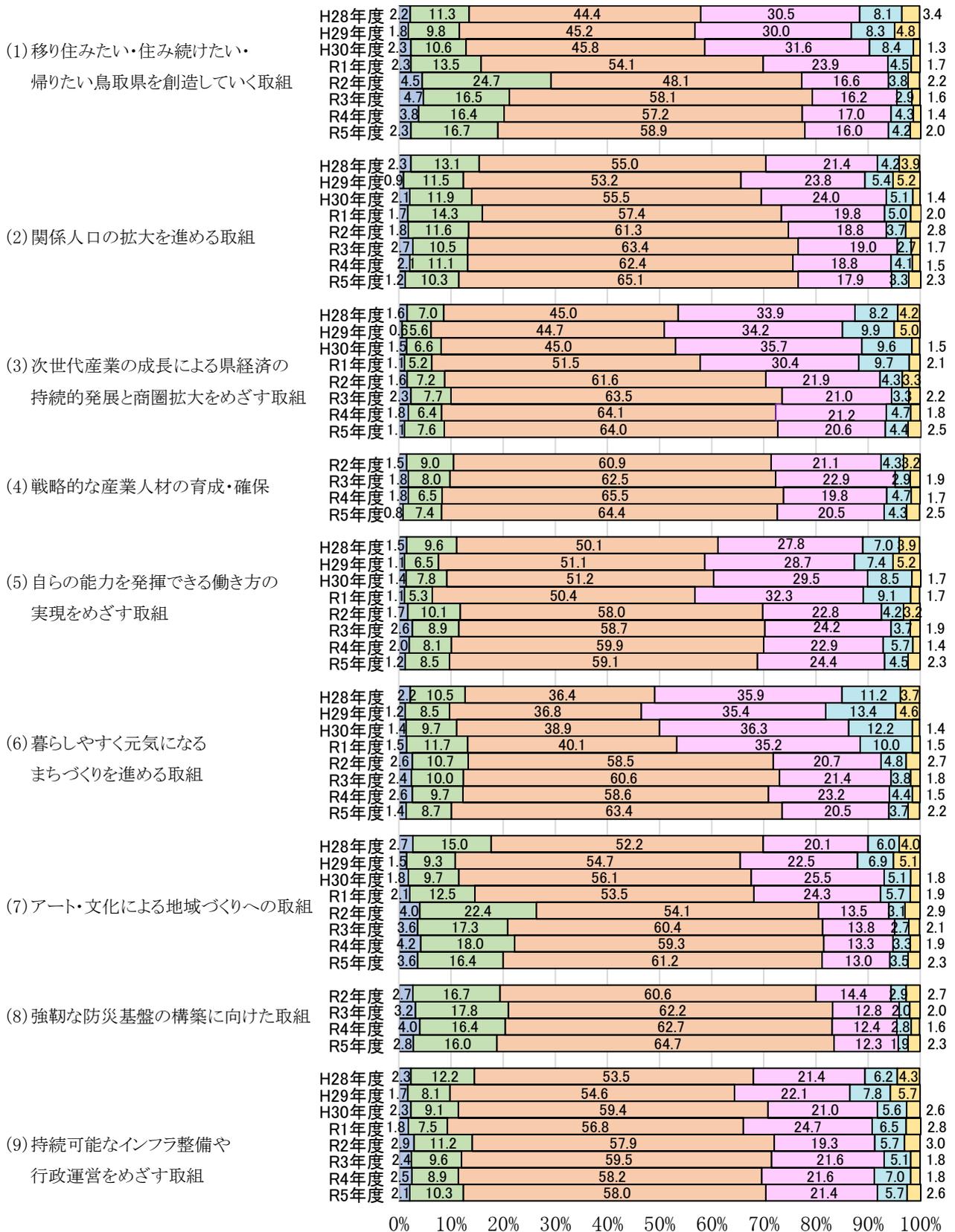


図 22 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(年次比較)



■満足 ■やや満足 ■普通(どちらともいえない) ■やや不満 ■不満 ■無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

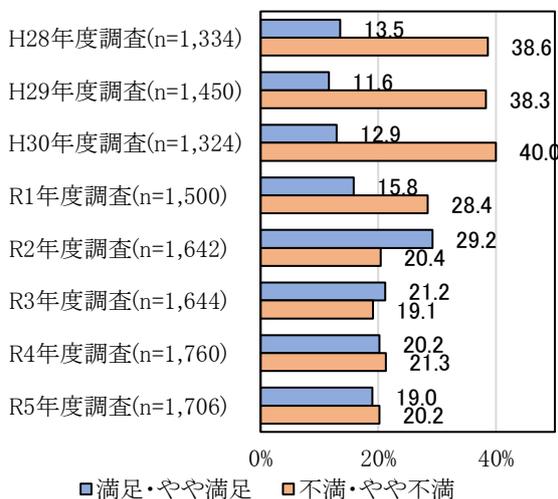
- (9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組 【+1.0】
- (3) 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圈拡大をめざす取組 【+0.5】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

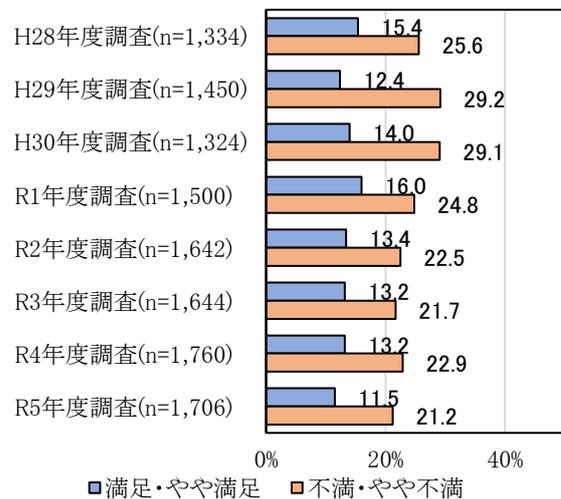
- (4) 戦略的な産業人材の育成・確保 【+0.3】
- (5) 自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組 【+0.3】

●満足度・不満足度の比較

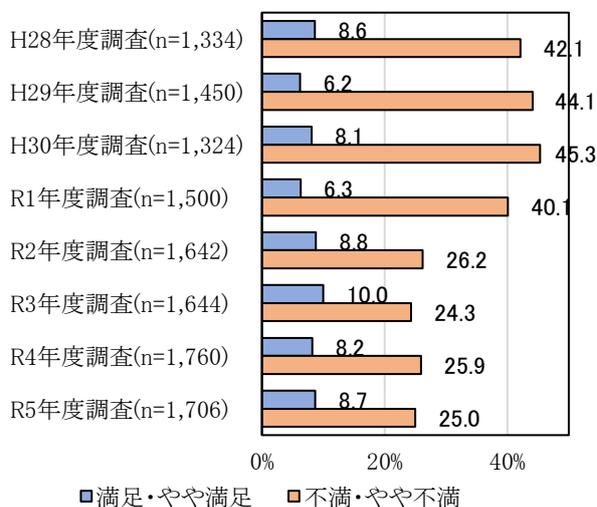
(1) 移り住みたい・住み続けたい・
帰りたい鳥取県を創造していく取組



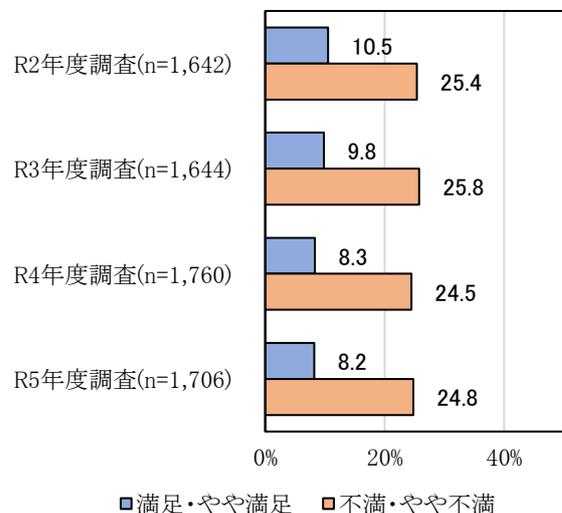
(2) 関係人口の拡大を進める取組



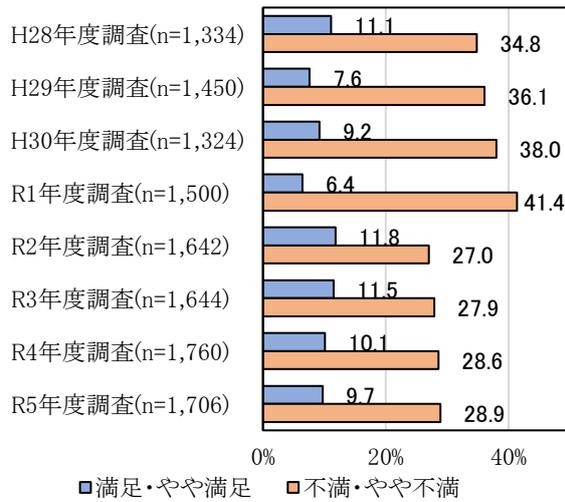
(3) 次世代産業の成長による県経済の
持続的発展と商圈拡大をめざす取組



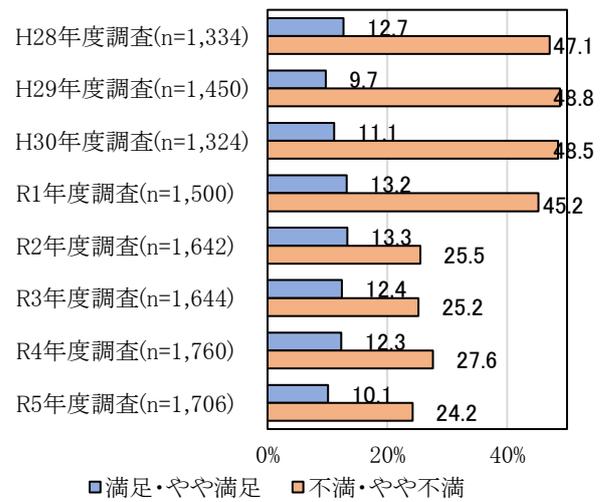
(4) 戦略的な産業人材の育成・確保



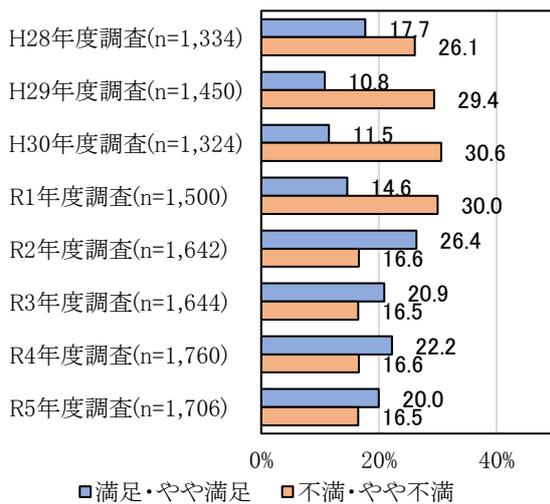
(5) 自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組



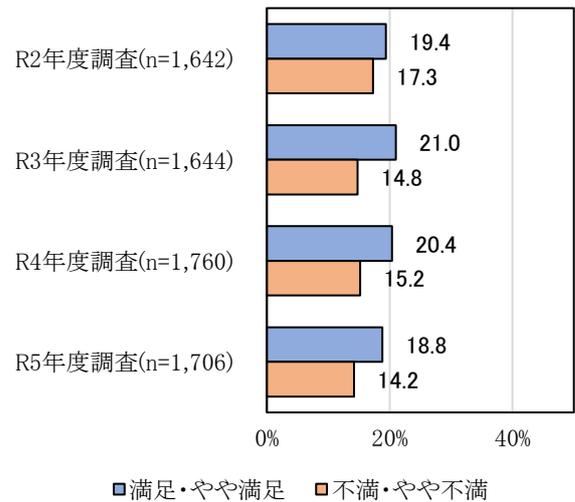
(6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組



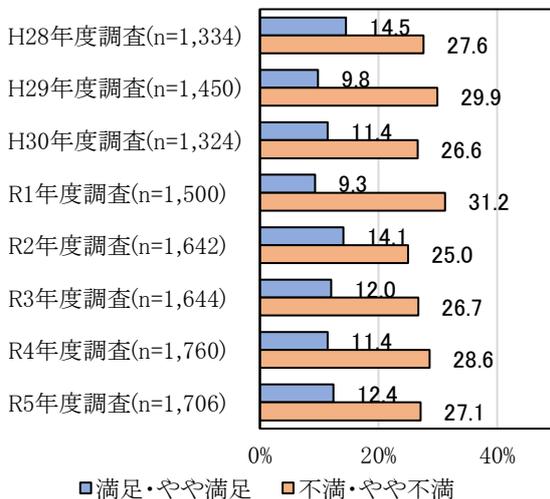
(7) アート・文化による地域づくりへの取組



(8) 強靱な防災基盤の構築に向けた取組



(9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組



問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」の施策等のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が62.9%と最も高く、次いで「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が44.4%、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が40.4%となっている。

平成28年度-令和5年度を比較してみると、28年度から「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」は約10ポイント増加し、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」は約20ポイント増加している。

性・年代別でみると、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」は、全ての年代で男性より女性の割合が高くなっている。

図23 「幸せと感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(年次比較)

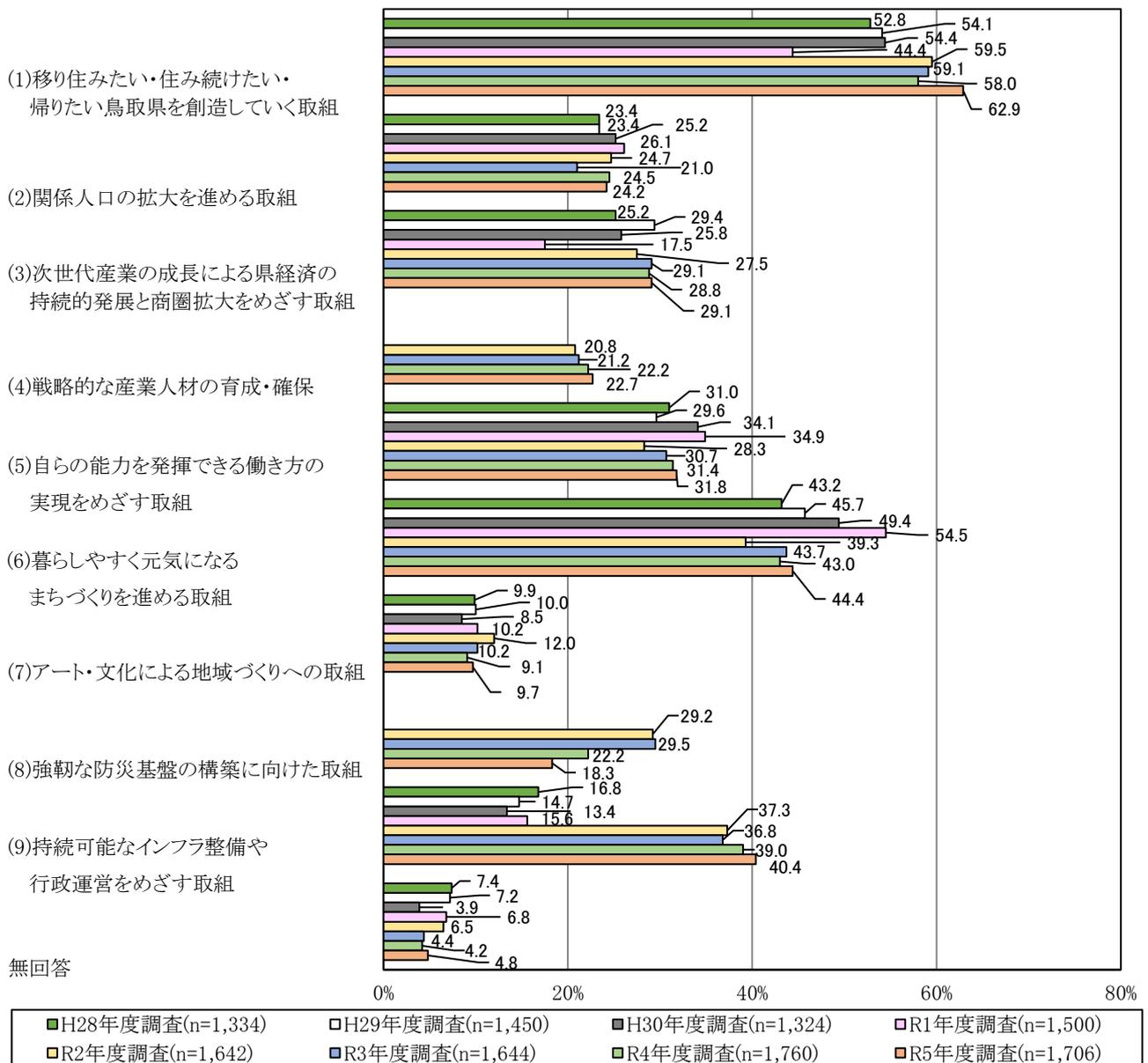
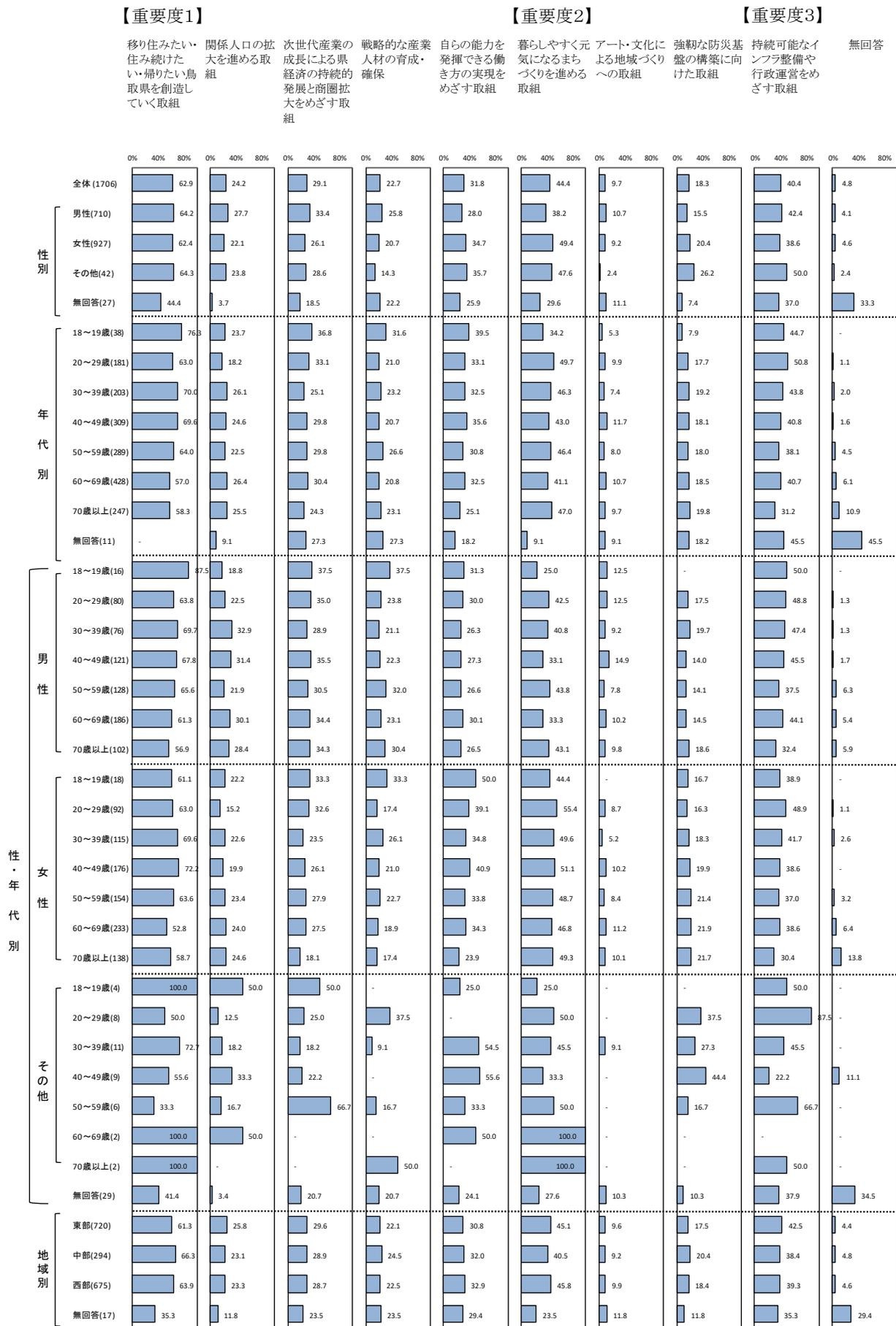


図 24 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



4 男女共同参画社会づくり

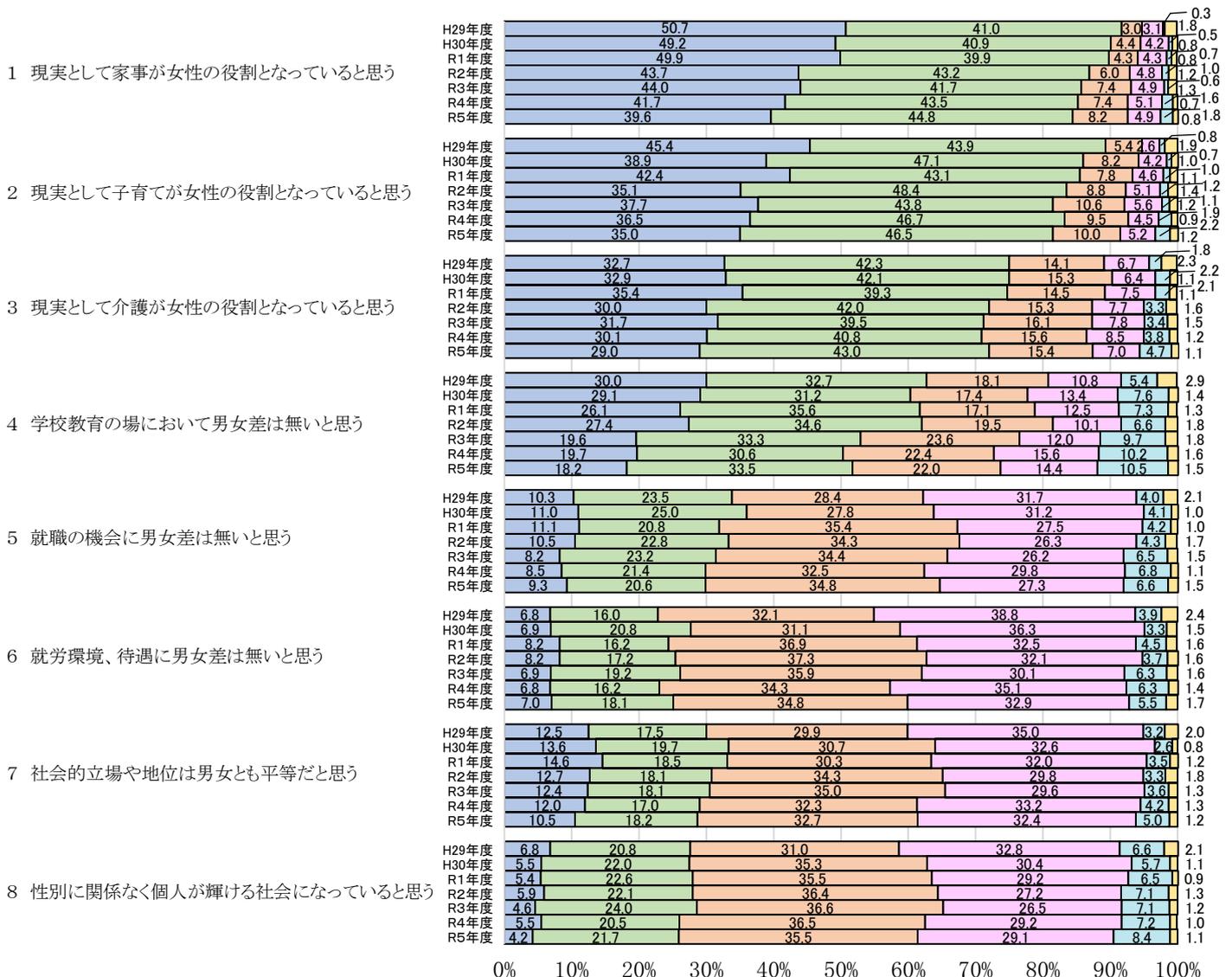
問7 男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか。項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～現実として「家事、子育て、介護が女性の役割」となっていると思う人が多数～

男女に関する役割などについて、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせると、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」が84.4%と最も高く、次いで「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」が81.5%、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」が72.0%となっている。

平成29年度～令和5年度を比較してみると、上記の「現実として家事が女性の役割となっていると思う」「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」について「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の計の割合は年度毎に減少傾向となっている。一方、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」は横ばいである。

図25 男女に関する役割(年次比較)



そう思う どちらかと言えばそう思う どちらかと言えばそう思わない
 そう思わない わからない 無回答

問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」
「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が上位～

男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が58.5%と最も割合が高く、次いで「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が44.1%、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が44.0%となっている。

令和元年度-5年度を比較してみると、特に「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」については、令和元年度から令和5年度のいずれにおいても6割程度が行政が行うべき施策との認識がある。

性・年代別でみると、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」は女性では20歳代で高く、「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」は男性の20～30歳代で高くなっている。

図26 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか(年次比較)

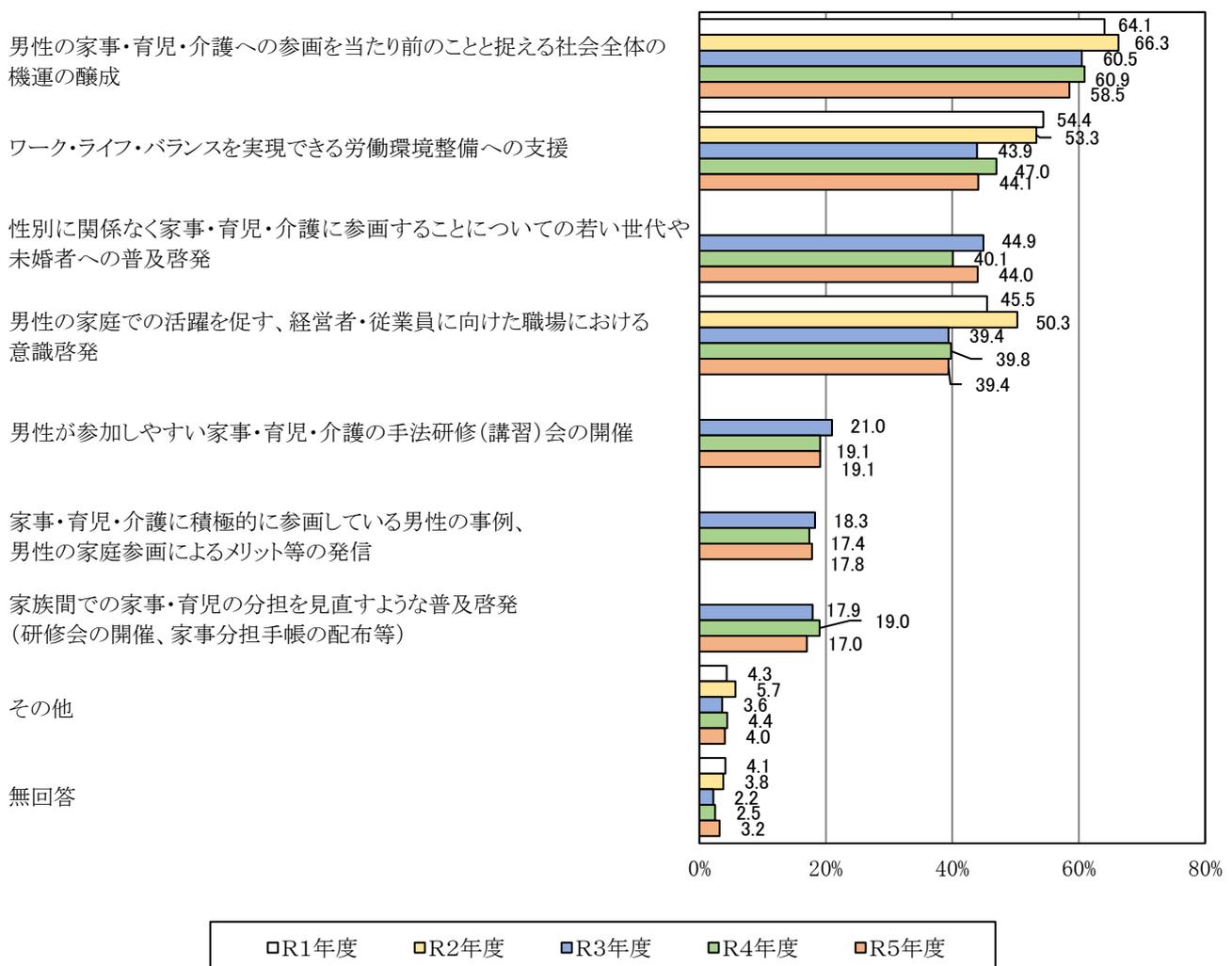
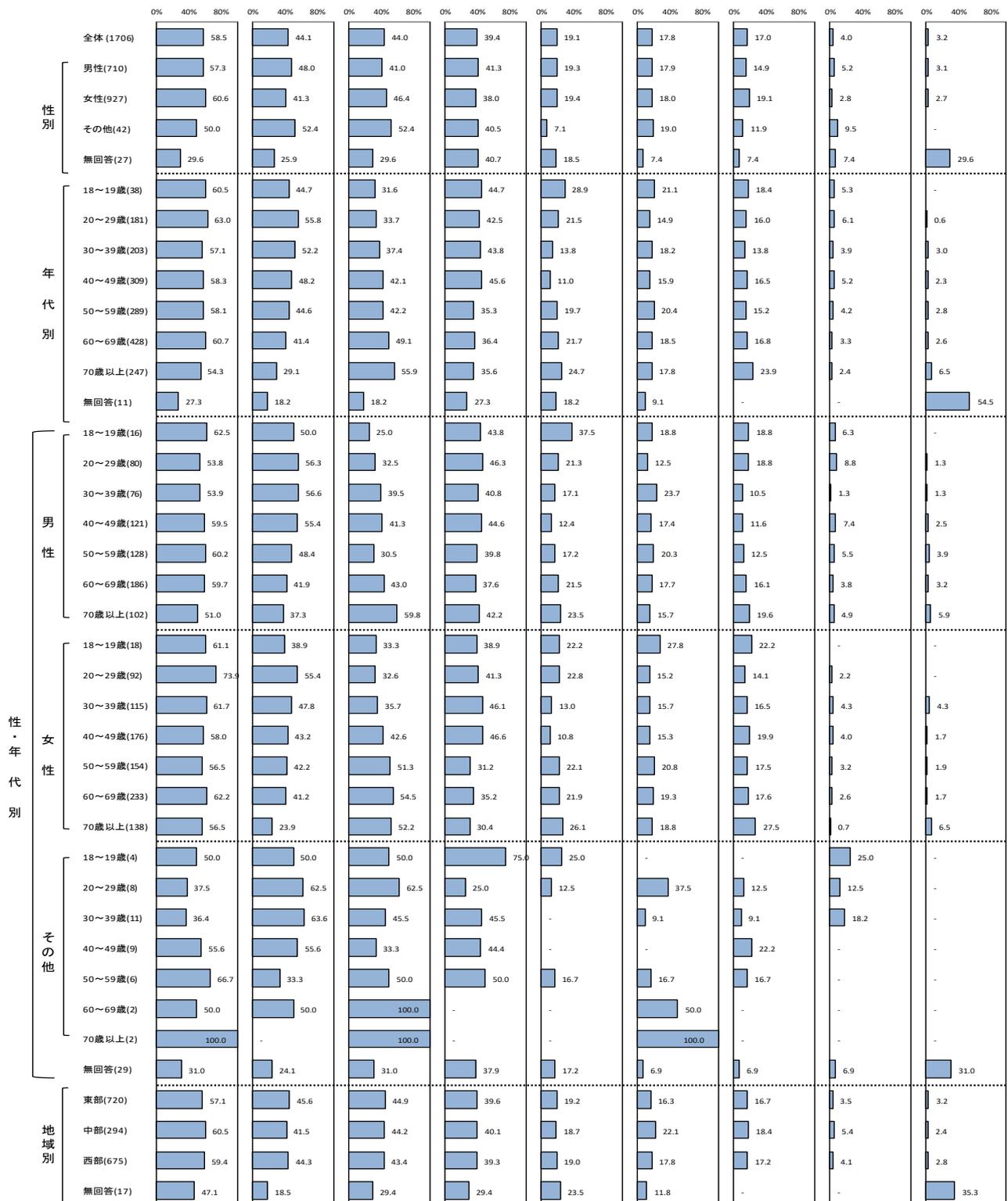


図 27 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策
(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】

男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成
ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援
性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発
男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発
男性が参加しやすい家事・育児・介護の手法研修(講習)会の開催
家事・育児・介護に積極的に参画している男性の事例、男性の家庭参画によるメリット等の発信
家族間での家事・育児の分担を見直すような普及啓発(研修会の開催、家事分担手帳の配布等)
その他
無回答



問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」や「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が上位～

男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」が57.6%と最も高く、次いで「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が55.5%、「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」が39.2%となっている。

令和2年度-5年度を比較してみると、上記の3項目は常に上位を占めているが、令和5年度は前年度と比較すると横ばいとなっている。

性別でみると、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」は女性が男性より10ポイント以上高くなっている。

性・年代別でみると、「長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、働き方の見直しの啓発」では男性は20歳代、女性は30歳代が最も多く、以降の年代では低くなっている。

図28 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(年次比較)

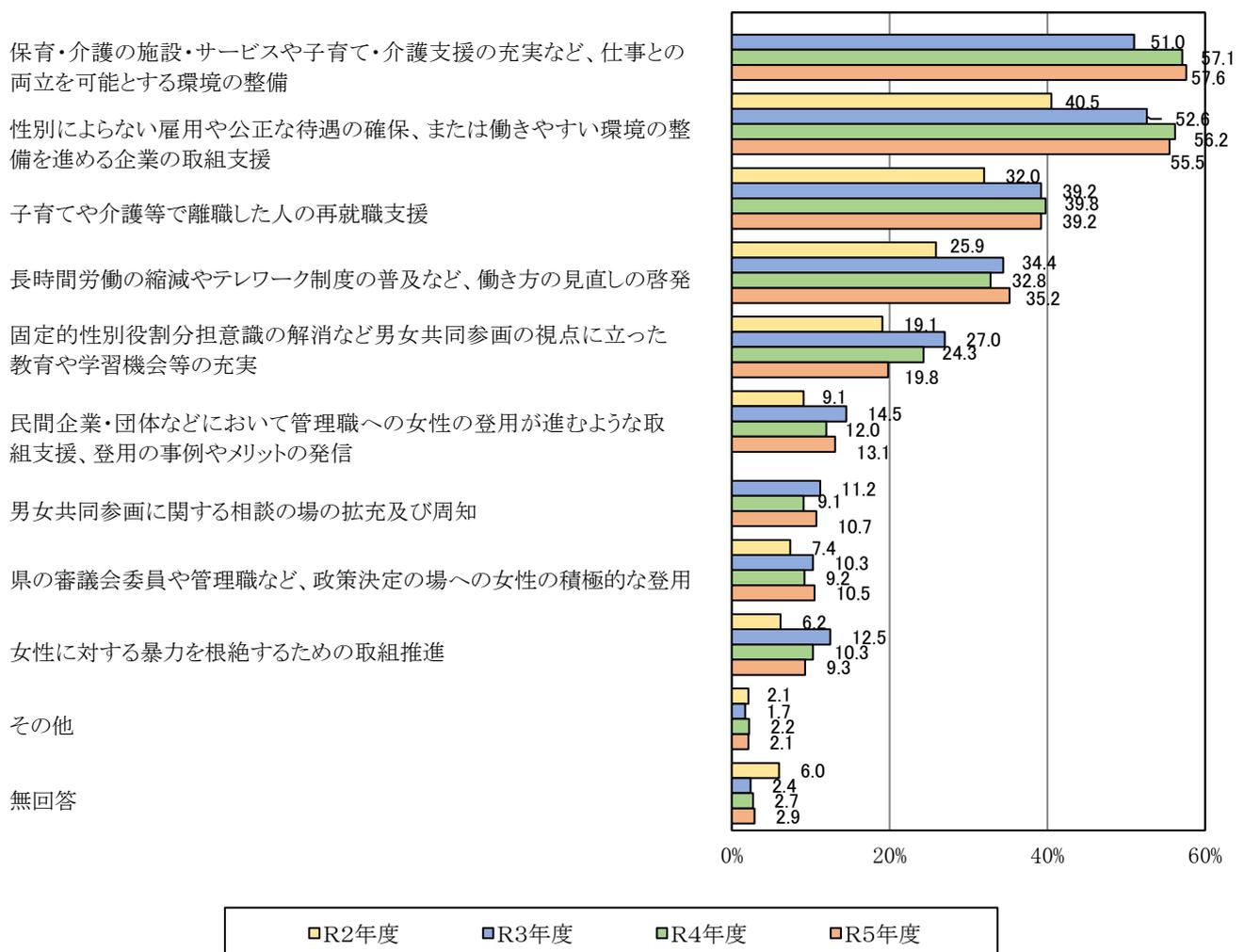
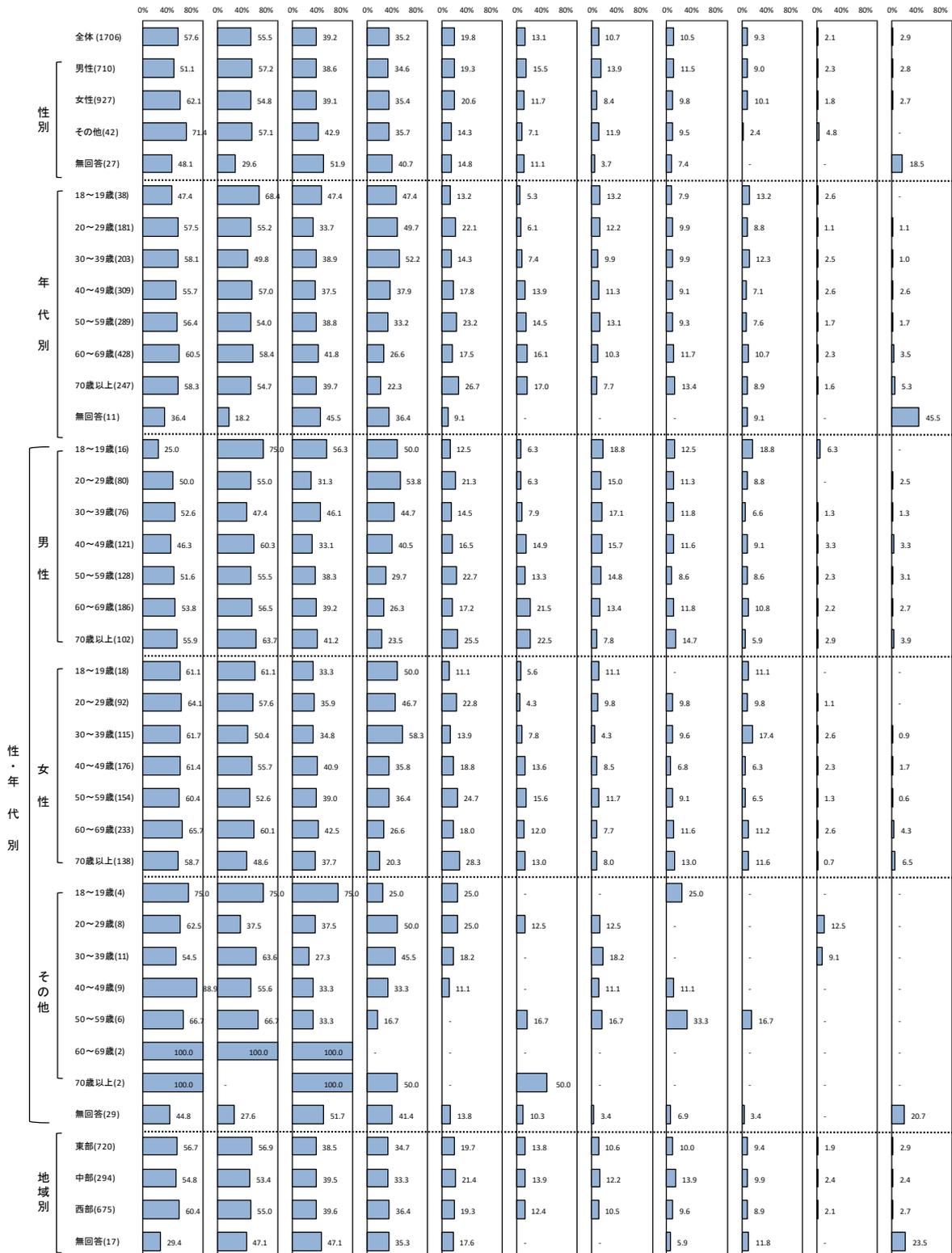


図 29 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】

保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備
 性別によらない雇用や公正な待遇の確保、また働きやすい環境の整備の取組支援
 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
 長時間労働の縮減やフレック制度の普及など、働き方の見直しの啓発
 固定的性別役割分担意識の解消など男女共同参画の視点に立った教育や学習機会等の充実
 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援、登用の事例やメリットの発信
 男女共同参画に関する相談の場を拡充及び周知
 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
 女性に対する暴力を根絶するための取組推進
 その他
 無回答



5 SDGs(持続可能な開発目標)の推進

問 10 あなたは国連で採択された SDGs という言葉・内容を聞いたことがありますか。

～「聞いたことがある」が約9割、「聞いたことがない」が約1割～

国連で採択された SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるかについて、「聞いたことがある」が87.9%、「聞いたことがない」が10.8%となっている。

令和2年度-5年度を比較してみると、「聞いたことがある」は年度毎に増加しており、令和2年度と比較すると令和5年度は約3倍増加している。

性・年代別でみると、「聞いたことがない」は女性の70歳以上で高くなっている。

図30 国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがありますか(年次比較)

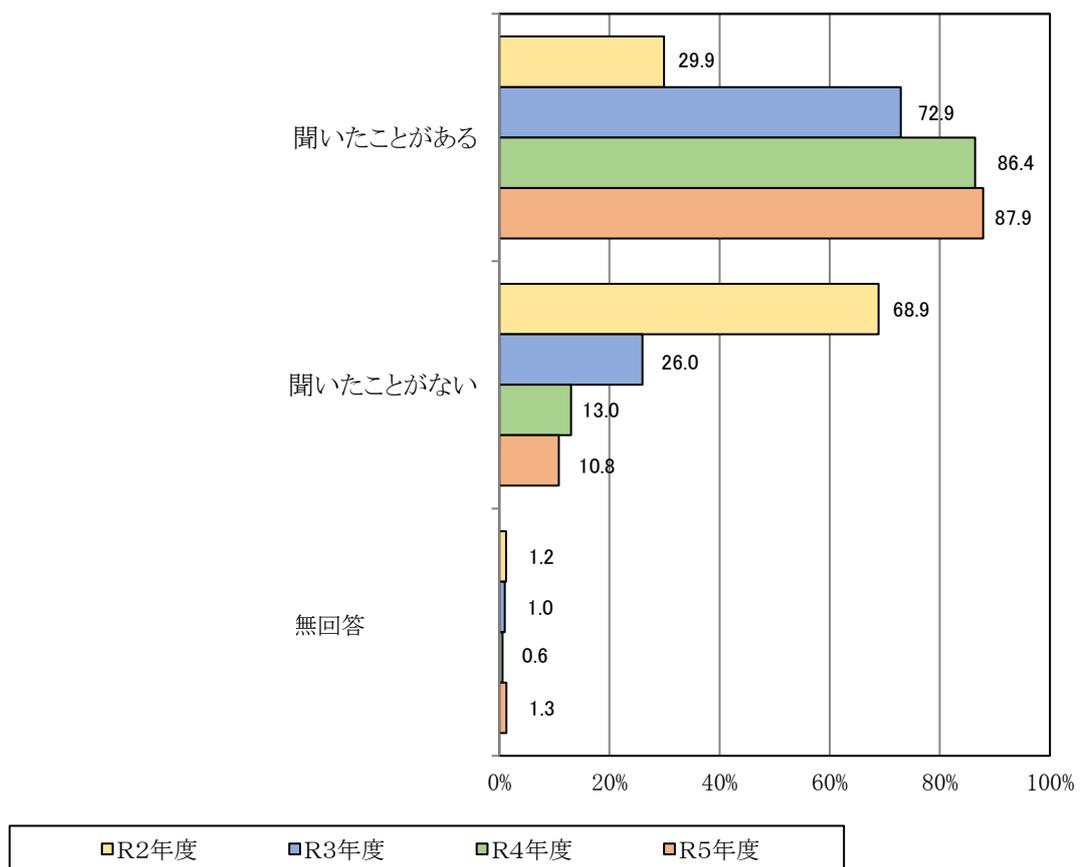
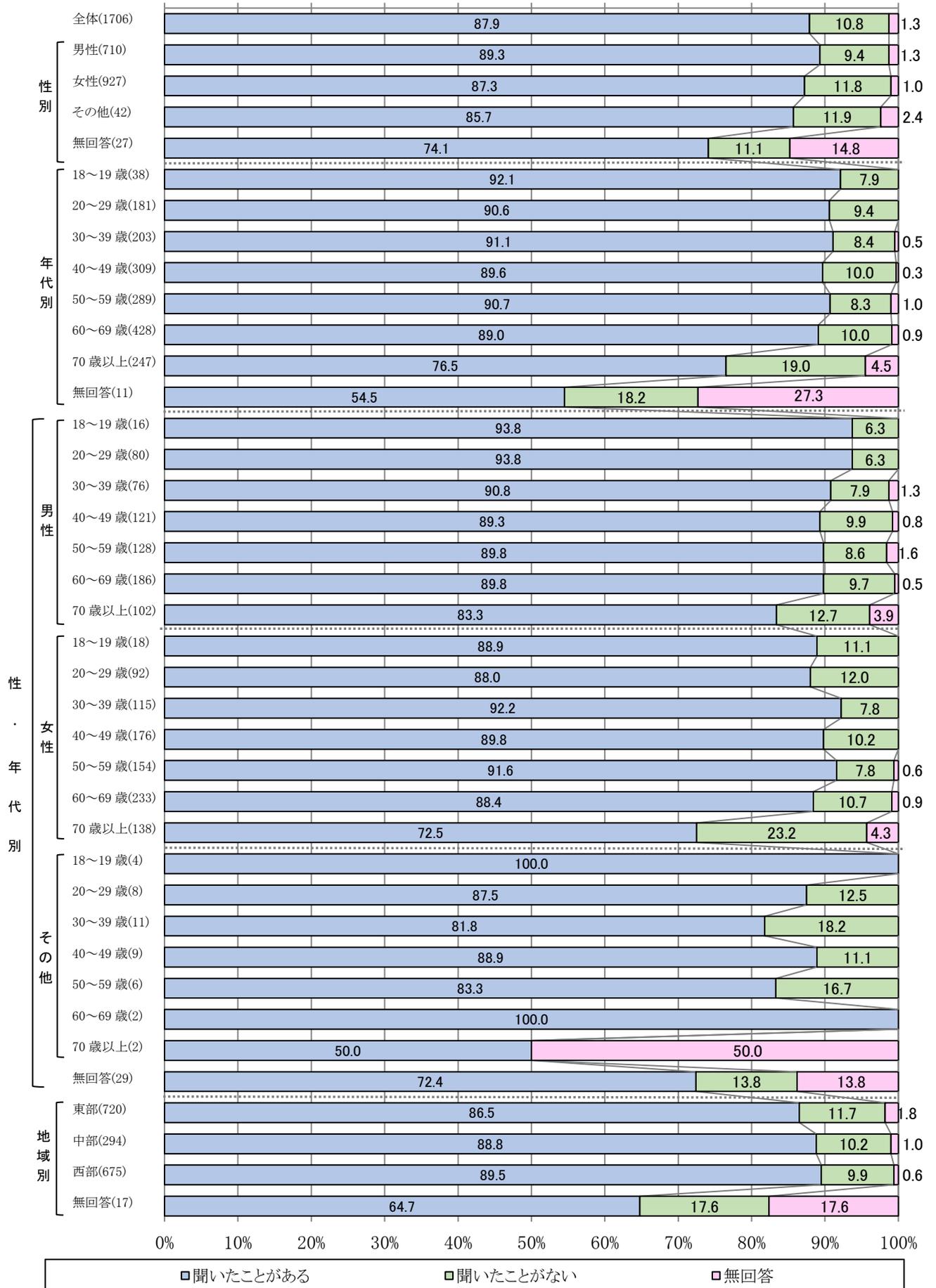


図31 SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか(性別・年代別・地域別)



問 11 (「聞いたことがある」と回答した方へ)SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。
(〇はいくつでも)

～「テレビ」が最も高く、「新聞・雑誌」が次に高い～

SDGsという言葉・内容をどうやって知ったかについて、「テレビ」が 79.1%と最も割合が高く、次いで、「新聞・雑誌」が 51.0%、「インターネット」が 34.0%となっている。

令和2年度-5年度を比較してみると、「新聞・雑誌」、「インターネット」、「仕事・学校で関わりがある」が概ね年度毎に増加している。

年代別でみると、「テレビ」は 30 歳代、60 歳以上で高く、「新聞・雑誌」は 50 歳代以上で高く、「インターネット」は 30 歳代以下で高くなっている。

図32 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(年次比較)

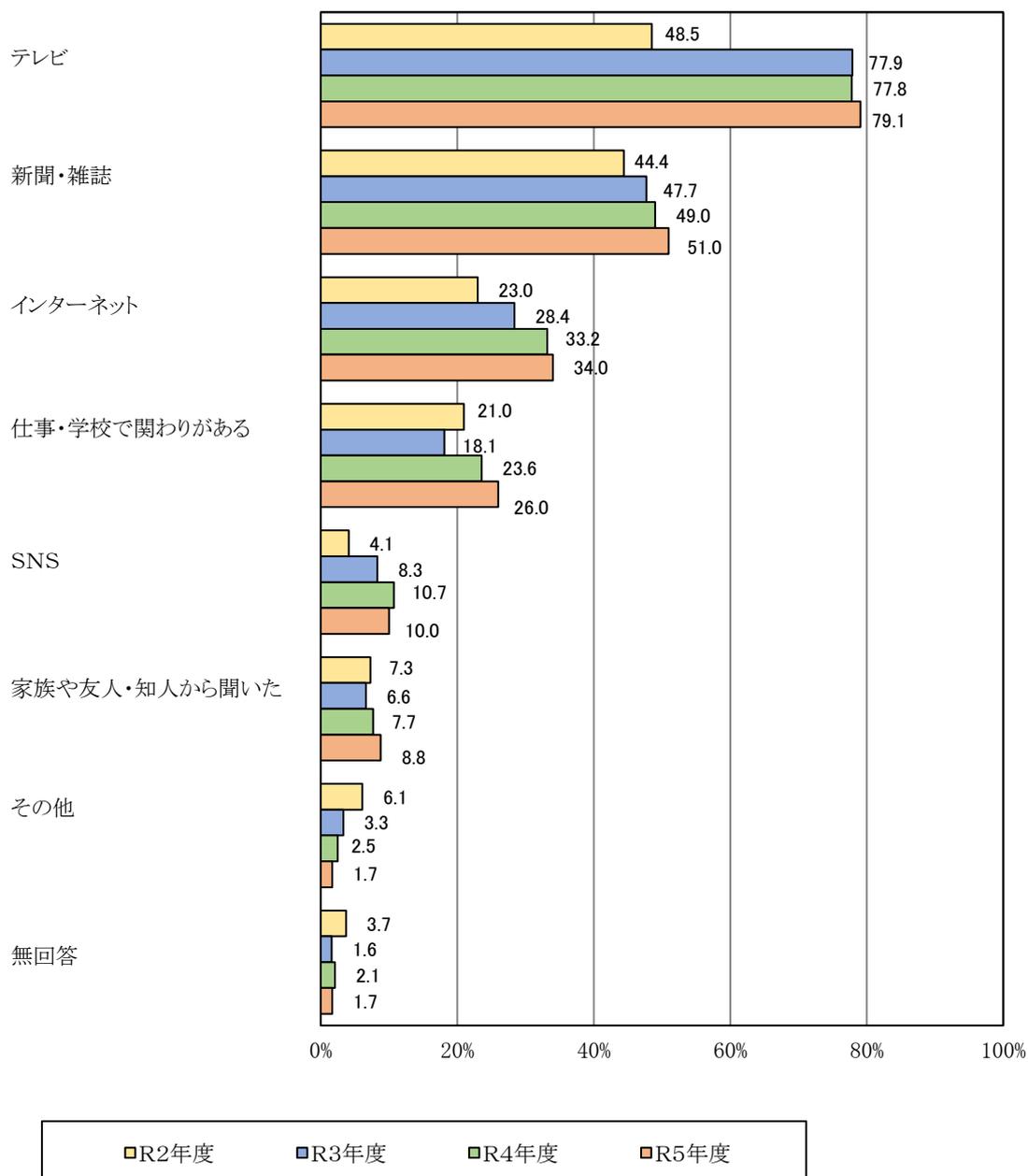
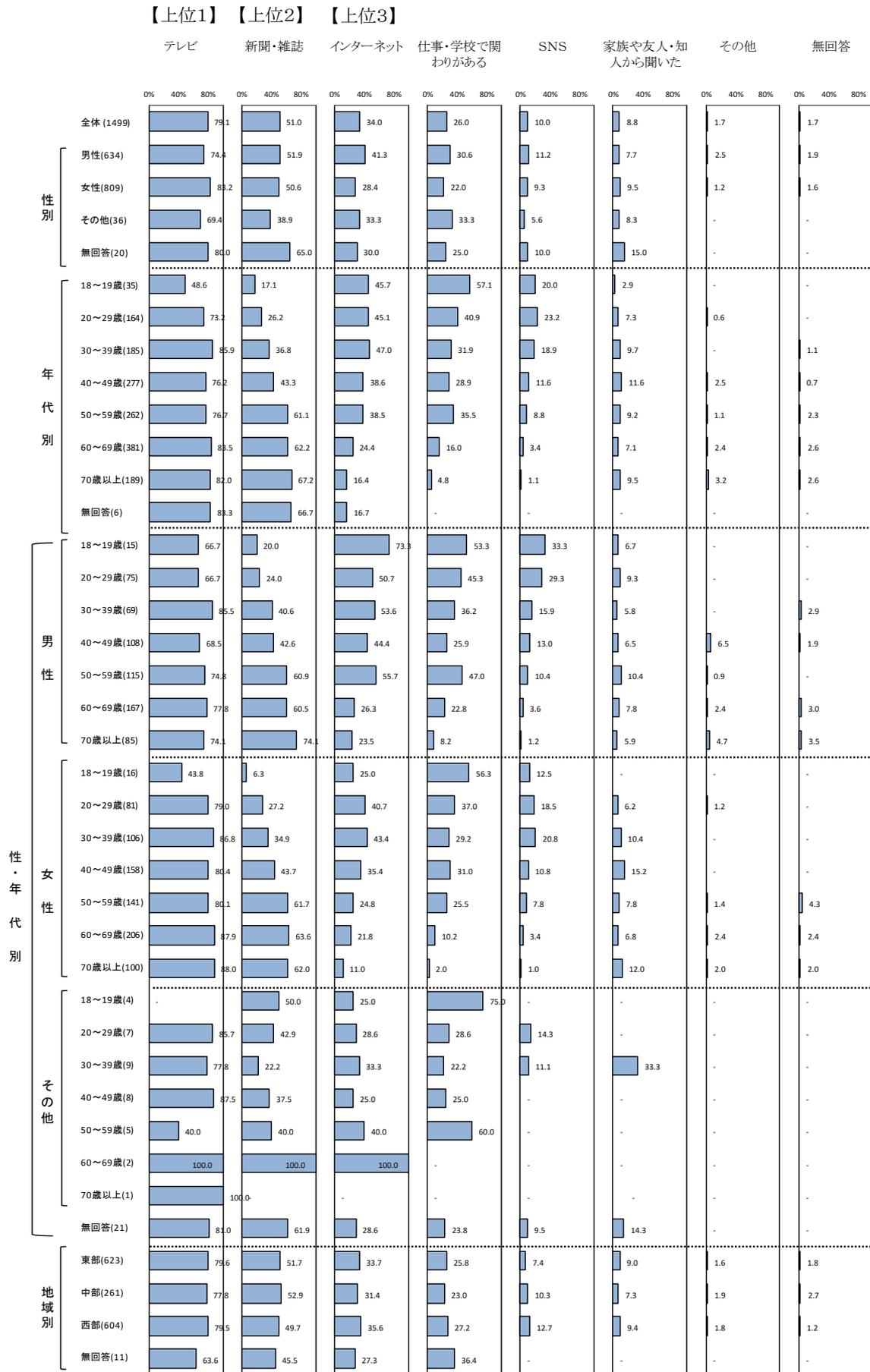


図 33 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(性別・年代別・地域別)



問 12 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか。(〇はいくつでも)

～「平和と安全・安心社会の実現」「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、関心がある課題について、「平和と安全・安心社会の実現」が51.1%と最も高く、次いで「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が49.0%、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が39.7%となっている。

令和2年度-5年度を比較してみると、上記3項目が常に上位を占めているが、5年度は前年度と比較すると下がっている。

年代別でみると、「平和と安全・安心社会の実現」は60歳以上で高く、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は50～60歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、ほぼ全ての年代において「平和と安全・安心社会の実現」、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」は男性より女性が高く、一方、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」は女性より男性が高くなっている。

図34 あなたはSDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか(年次比較)

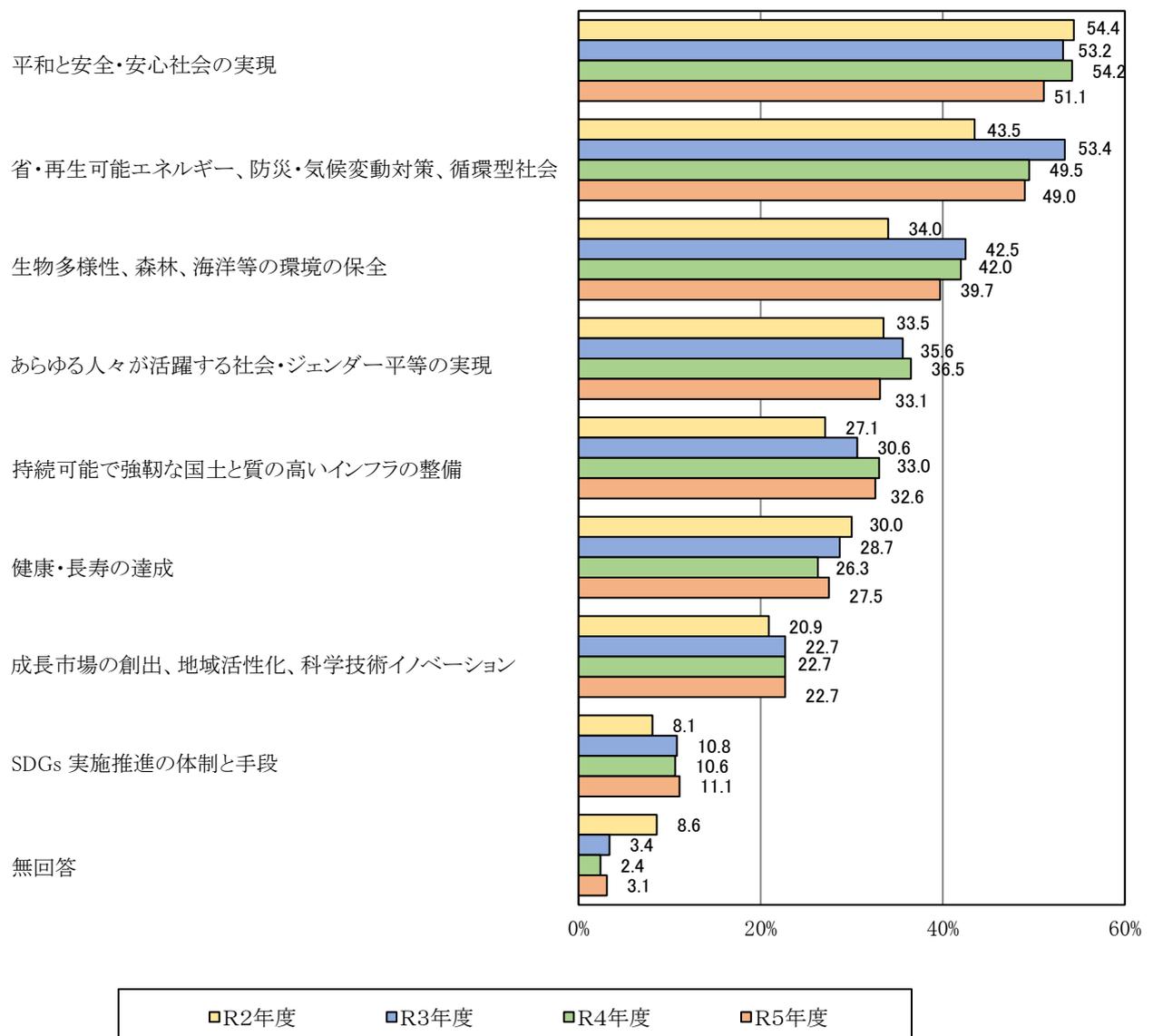
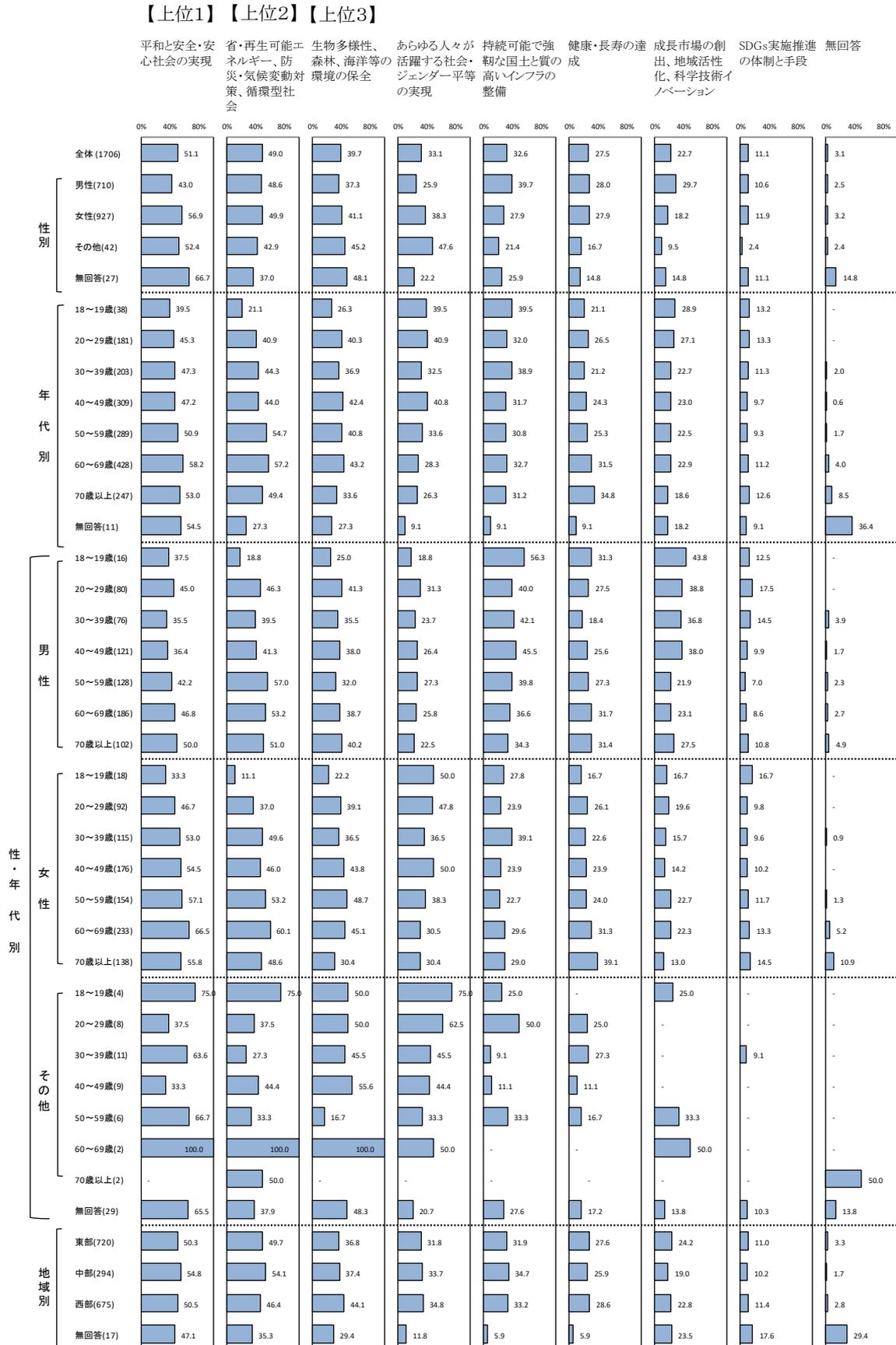


図 35 SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか(性別・年代別・地域別)



問 13 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

～「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」「平和と安全・安心社会の実現」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、行政が特に力を入れるべき課題について、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が42.1%と最も割合が高く、次いで「平和と安全・安心社会の実現」が39.3%、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」が35.8%となっている。

令和3年度-5年度を比較してみると、多くの項目が減少ないし横ばいとなっているが、「SDGs実施推進の体制と手段」は5年度は前年度より1.3ポイント増加している。

性・年代別でみると、「平和と安全・安心社会の実現」はほぼ全ての年代で男性より女性が高く、特に女性の50歳以上で高くなっている。また、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」についても全ての年代で男性より女性が高くなっている。

一方、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」は全ての年代で女性より男性が高くなっている。

図36 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題(年次比較)

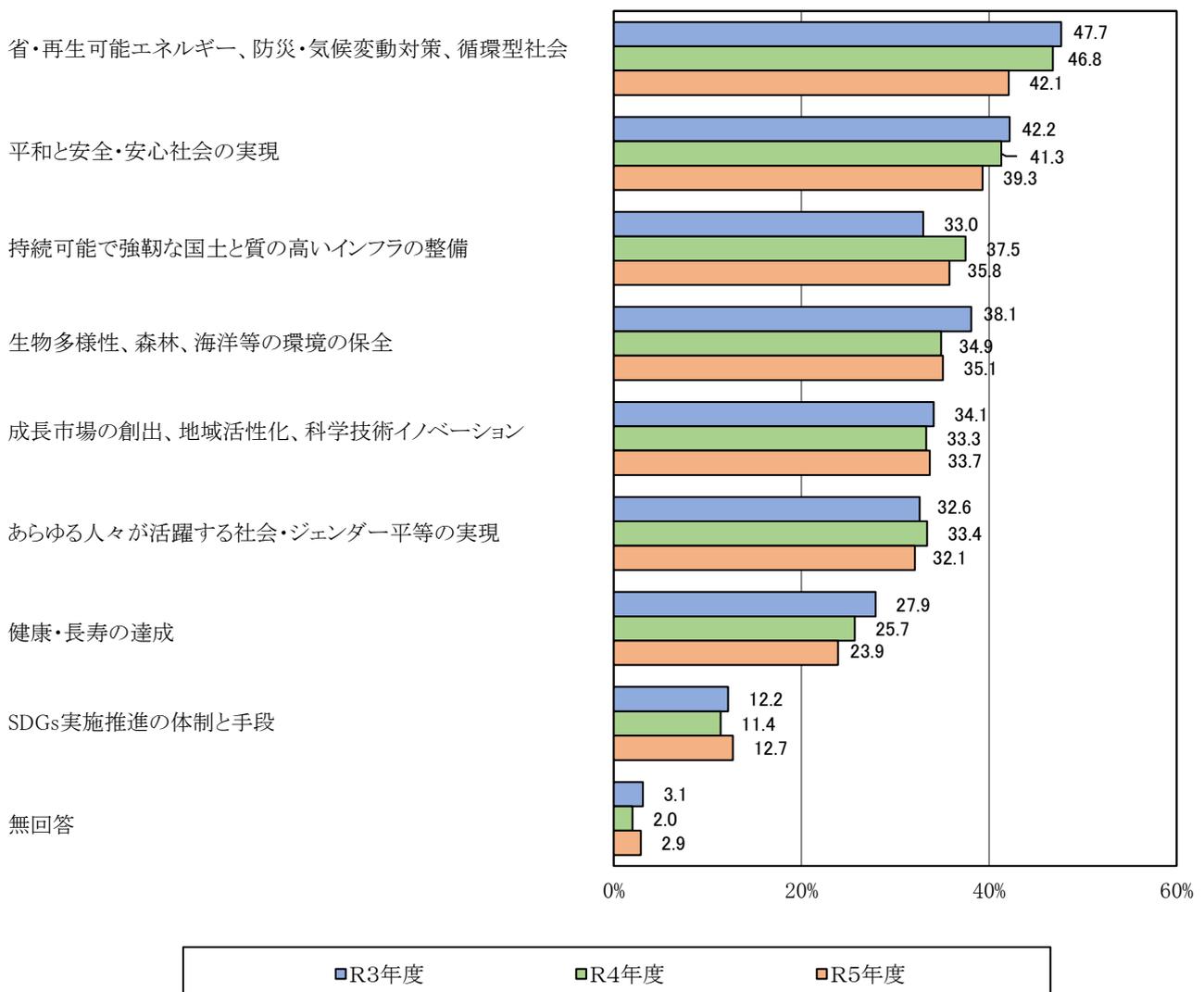
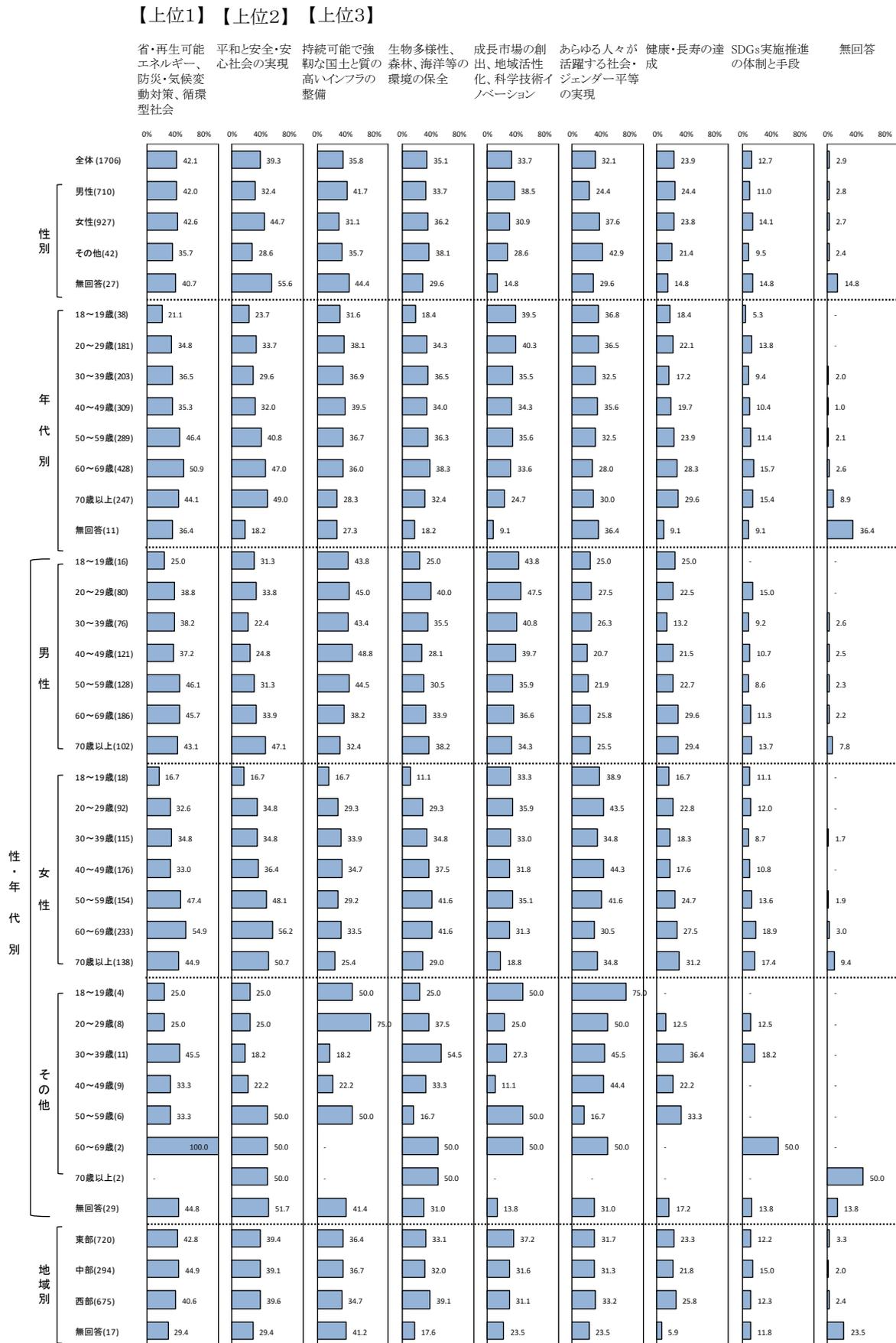


図 37 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題
(性別・年代別・地域別)



Ⅲ 重点施策への関心・認識

問 14 空き家の増加が社会問題となっていますが、あなたがお住まいの地域では空き家が増えていると感じますか。(〇は1つ)

～「増えていると感じる」が約7割～

空き家が増えていると感じるかについて、「増えていると感じる」は 67.2%、「増えているとは感じない」は 18.1%となっている。

年代別で見ると、「増えていると感じる」は 50 歳以上で高くなっている。

地域別で見ると、「増えているとは感じない」は他の地域と比べて東部で高くなっている

図38 住んでいる地域では空き家が増えていると感じるか(n=1,706)

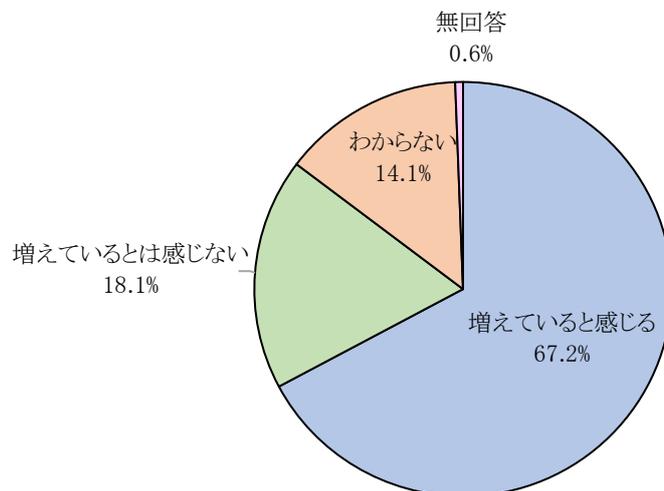
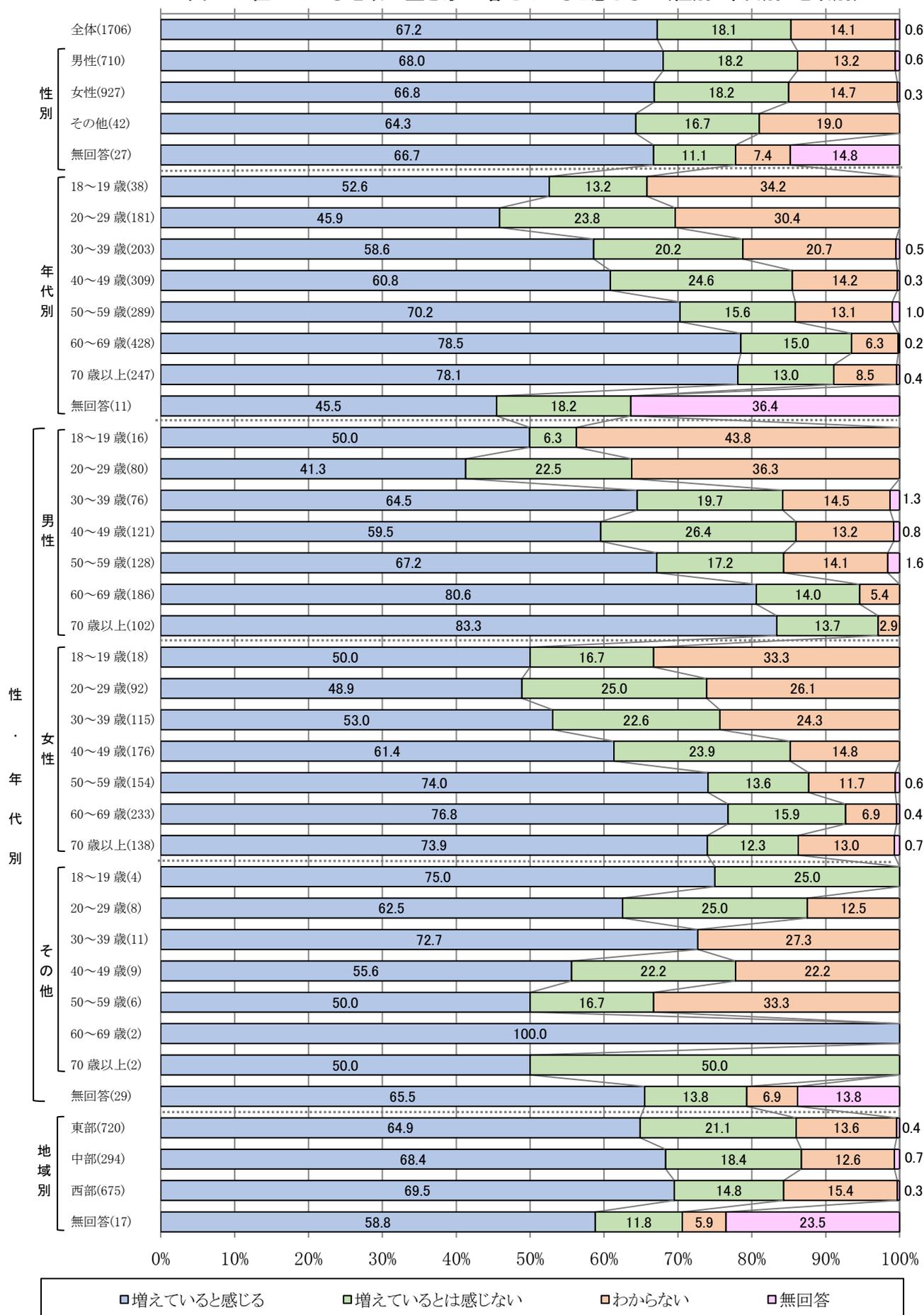


図39 「住んでいる地域の空き家が増えていると感じるか(性別・年代別・地域別)」



問 15 空き家が増加すると何が問題だと思われるか。(〇は3つまで)

～「放置され、周囲に危険を及ぼす老朽化した建物が増えること」が約9割～

空き家が増加すると何が問題だと思われるかについて、「放置され、周囲に危険を及ぼす老朽化した建物が増えること」が 86.7%と最も高く、次いで「衛生環境や治安の悪化など、住環境の不安につながる事」が 73.2%、「雰囲気が悪くなり、人気(ひとけ)のない地域になること」が 46.2%となっている。

年代別でみると、上記の3項目は 50 歳以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「放置され、周囲に危険を及ぼす老朽化した建物が増えること」は女性の 50 歳以上で高く、「衛生環境や治安の悪化など、住環境の不安につながる事」は男性の 70 歳以上、女性の 60 歳代で高く、「雰囲気が悪くなり、人気(ひとけ)のない地域になること」は男性・女性共に 70 歳以上が高くなっている。

図40 空き家が増加すると何が問題だと思うか(n=1,706)

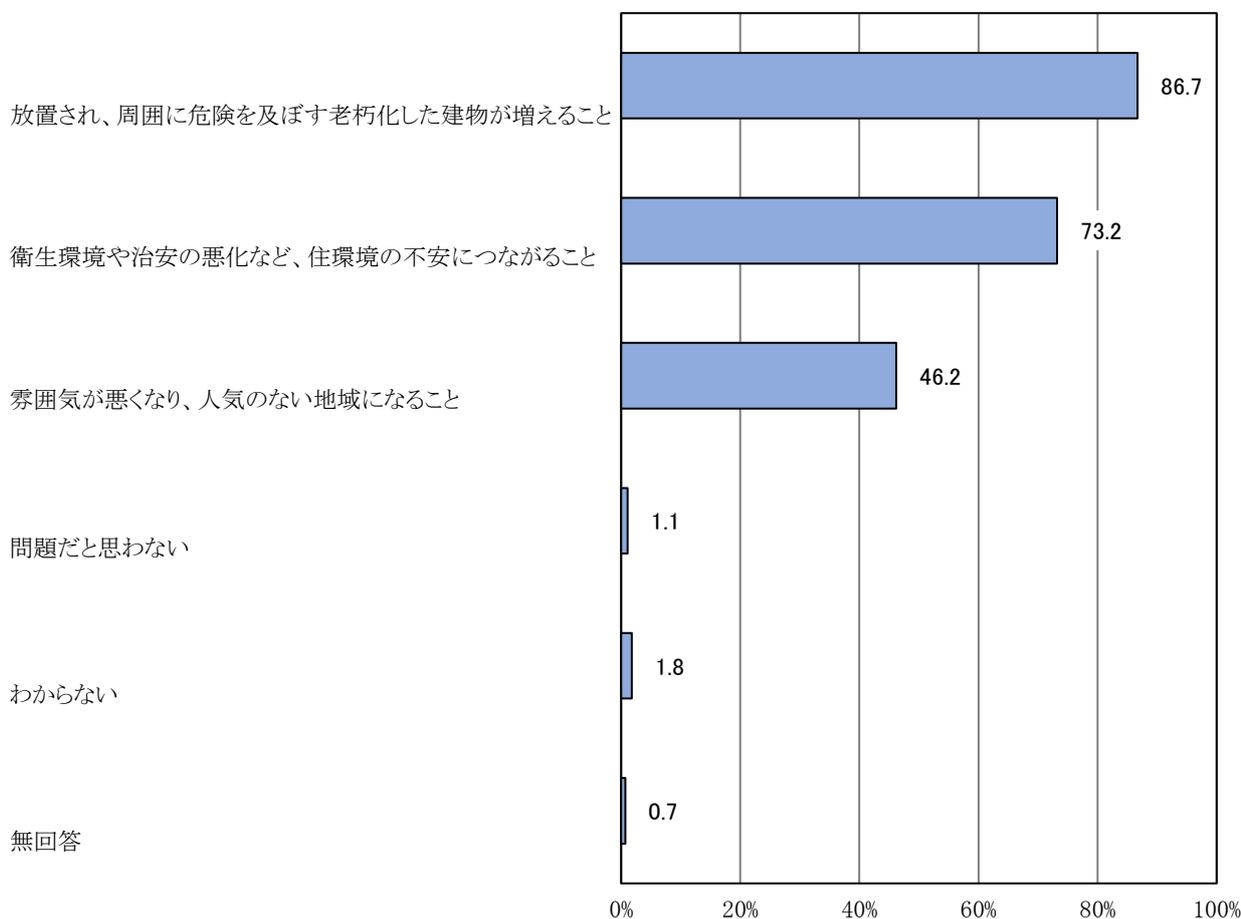
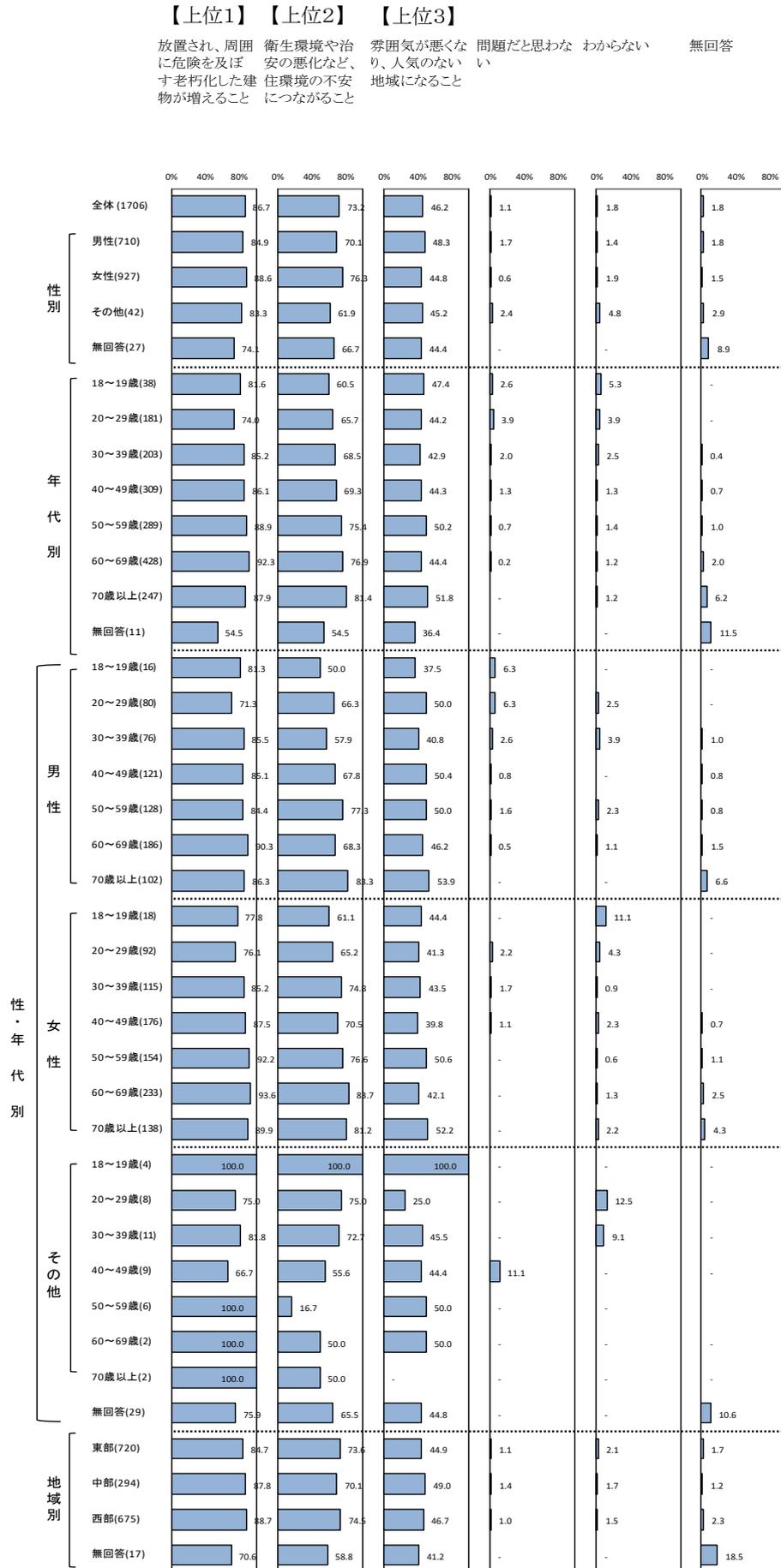


図 41 空き家が増加すると何が問題だと思われますか(性別・年代別・地域別)



問 16 あなたは、将来空き家を所有または管理する可能性がありますか。(〇は2つまで)

～「ある(ご実家や、現在、親や親族などが居住している住宅を相続する場合等)」が約4割～

将来空き家を所有または管理する可能性があるかは、「ない」が 36.5%と最も高く、次いで「ある(ご実家や、現在、親や親族などが居住している住宅を相続する場合等)」が 36.3%、「ある(住み替えによりご自分の住まいが不要になる場合等)」が 10.6%となっている。

年代別で見ると、「ない」は 60 歳以上で高く、「ある(ご実家や、現在、親や親族などが居住している住宅を相続する場合等)」は 30～50 歳代で高く、「ある(住み替えによりご自分の住まいが不要になる場合等)」は 50 歳以上で高くなっている。

地域別で見ると、ある(ご実家や、現在、親や親族などが居住している住宅を相続する場合等)は、東部地区と西部地区が中部地区より高くなっている。

図42 将来空き家を所有または管理する可能性(n=1,706)

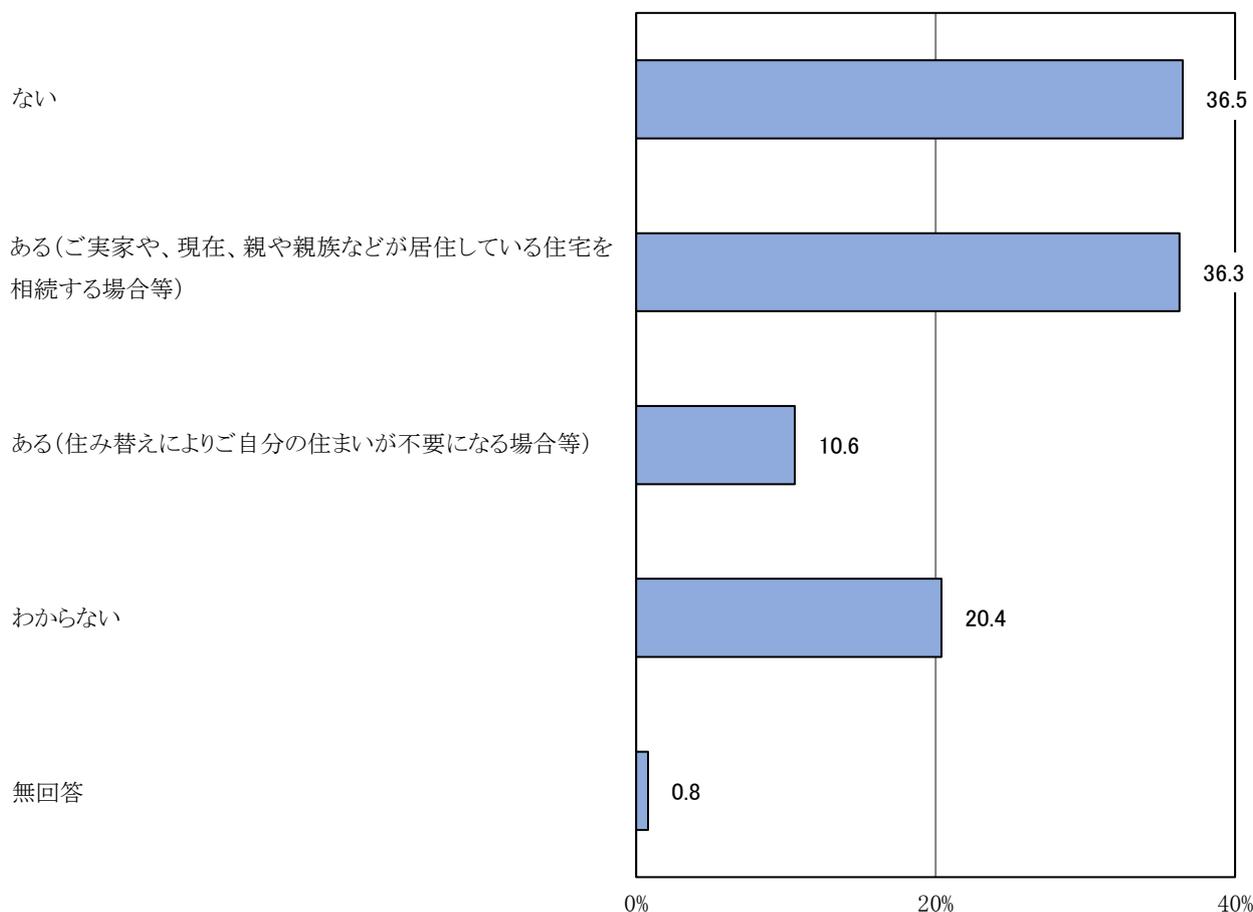
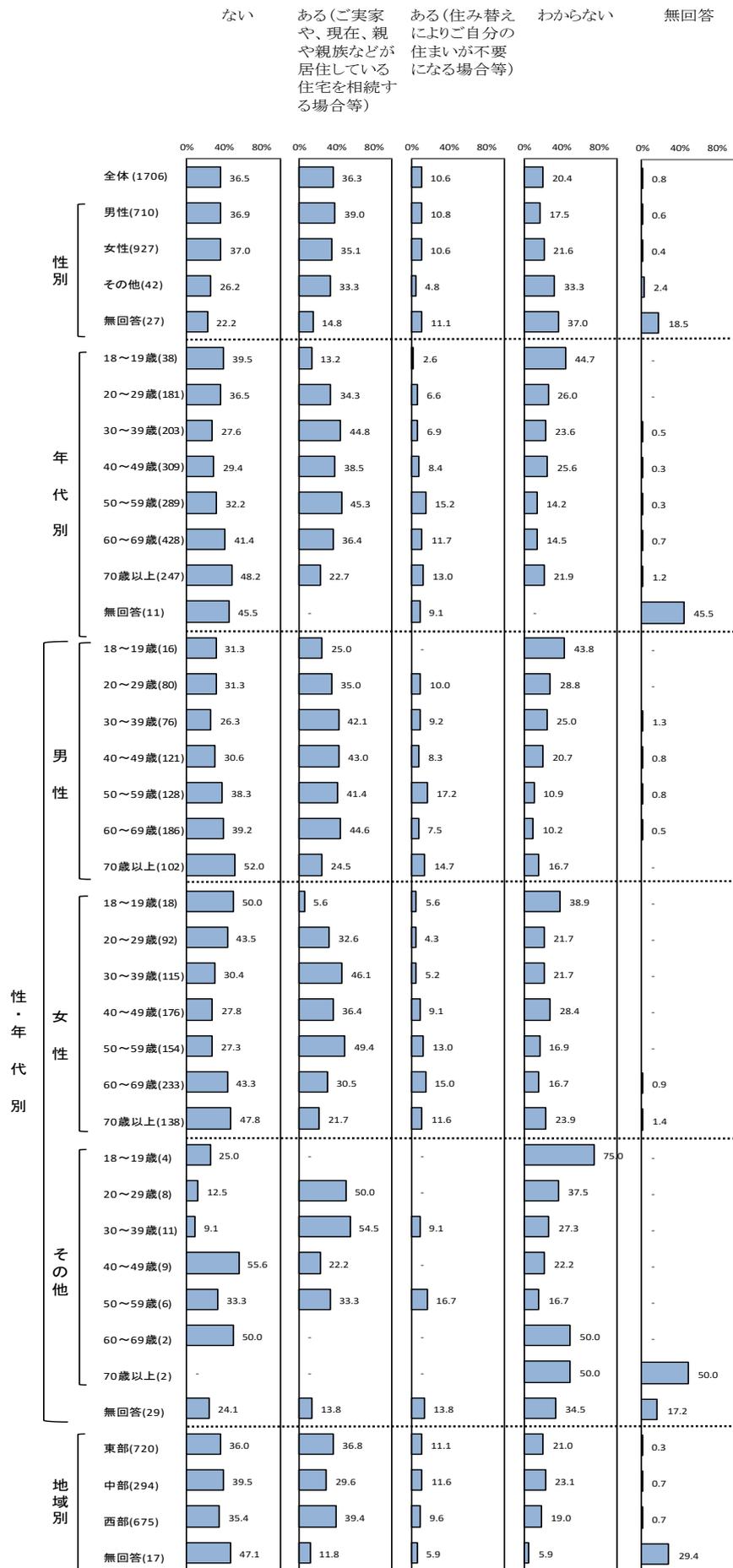


図 43 将来空き家を所有または管理する可能性(性別・年代別・地域別)



問 17 ご自分の住まいやご実家等の将来について、関係者(家族・親族等)で話し合う必要を感じていますか。(〇は1つ)

～「必要性を感じるが、具体的な話し合いの予定はない」が約4割～

ご自分の住まいやご実家等の将来について、関係者(家族・親族等)で話し合う必要を感じているかについて、「必要性を感じるが、具体的な話し合いの予定はない」が38.9%と最も高く、次いで「必要性を感じるため、今後話し合う予定」が22.0%、「必要性を感じ、既に話し合っている」が18.9%、「必要性を感じない」が10.7%となっており、話し合いの必要性を感じる回答が約8割、うち、話し合いについて前向きな回答と、具体的な話し合いの予定はないとの回答が約半数ずつとなっている。

年代別で見ると、「必要性を感じるが、具体的な話し合いの予定はない」は40歳代以下で高く「必要性を感じるため、今後話し合う予定」は50歳代で高くなっている。

性・年代別で見ると、「必要性を感じるため、今後話し合う予定」は男性の40～50歳代で高く、「必要性を感じ、既に話し合っている」は男性は60歳代、女性は30歳代と70歳以上が最も高く、「必要性を感じない」は女性の70歳以上で高くなっている。

図44 自分の住まいや実家等の将来について、関係者(家族・親族等)で話し合う必要を感じているか(n=1,706)

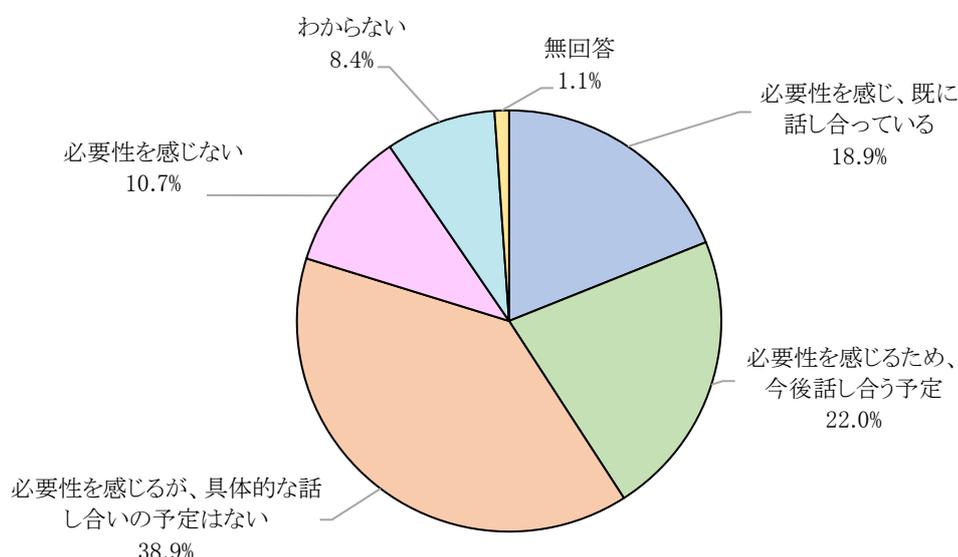
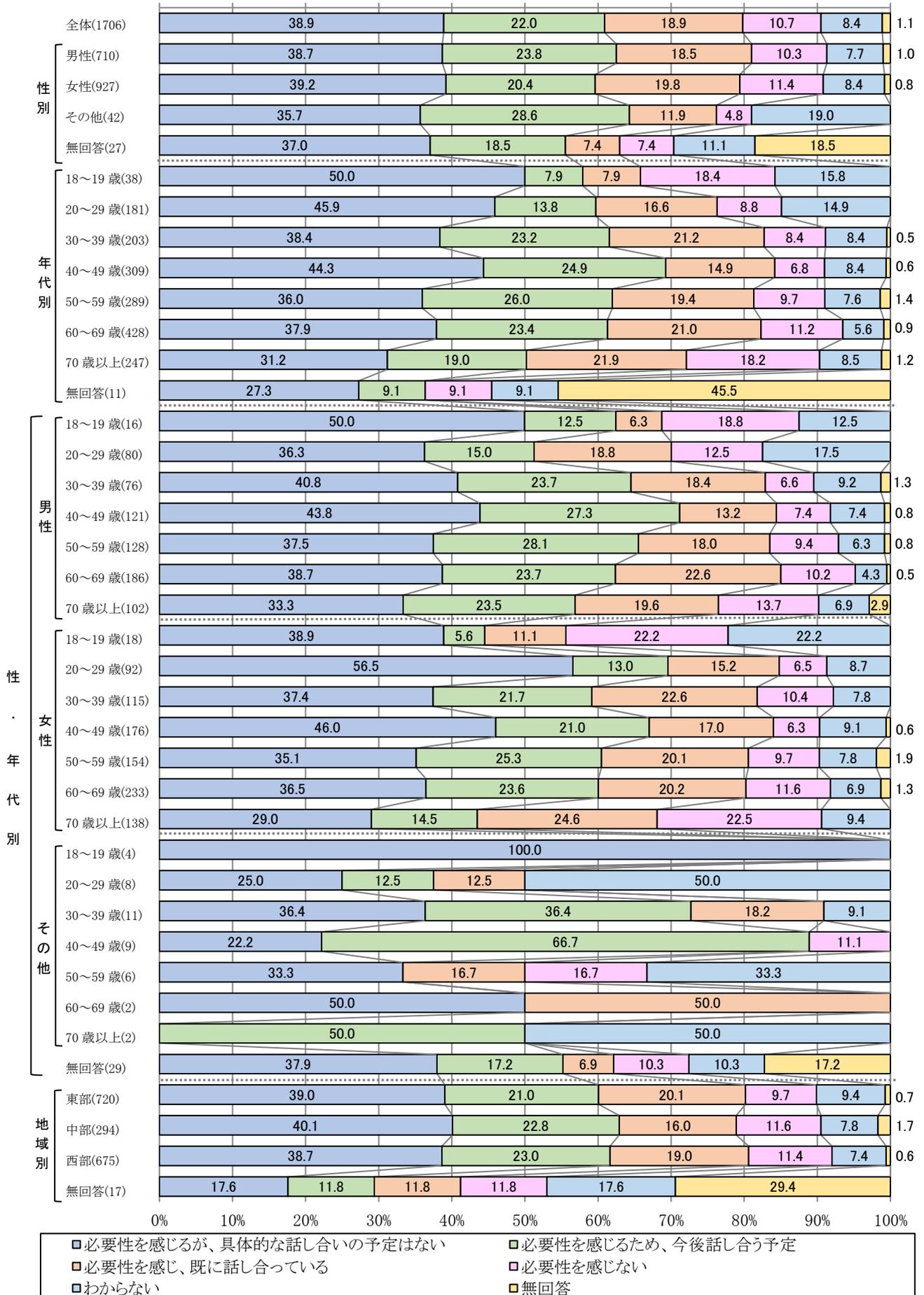


図45 住まいや実家等の将来について関係者で話し合う必要を感じているか



問 18 今後、空き家問題の解決に向けて特に必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

～「行政による支援の充実」が5割以上～

今後、空き家問題の解決に向けて特に必要だと思うことは何かについて、「行政による支援の充実」が 54.9%と最も高く、次いで「空き家所有者・管理者の意識改革」が 43.1%、「専門家等による相談しやすい体制づくり」が 38.6%となっている。

年代別でみると、「行政による支援の充実」は 30～60 歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「行政による支援の充実」は男性は 20～30 歳代、60 歳以上で高く、女性は 30 歳代、60 歳代で高くなっている。「専門家等による相談しやすい体制づくり」は女性の 50 歳以上で高くなっている。

地域別でみると、「解決に役立つ情報の充実」は東部地区と西部地区が中部地区より高くなっている。

図46 今後、空き家問題の解決に向けて特に必要だと思うこと(n=1,706)

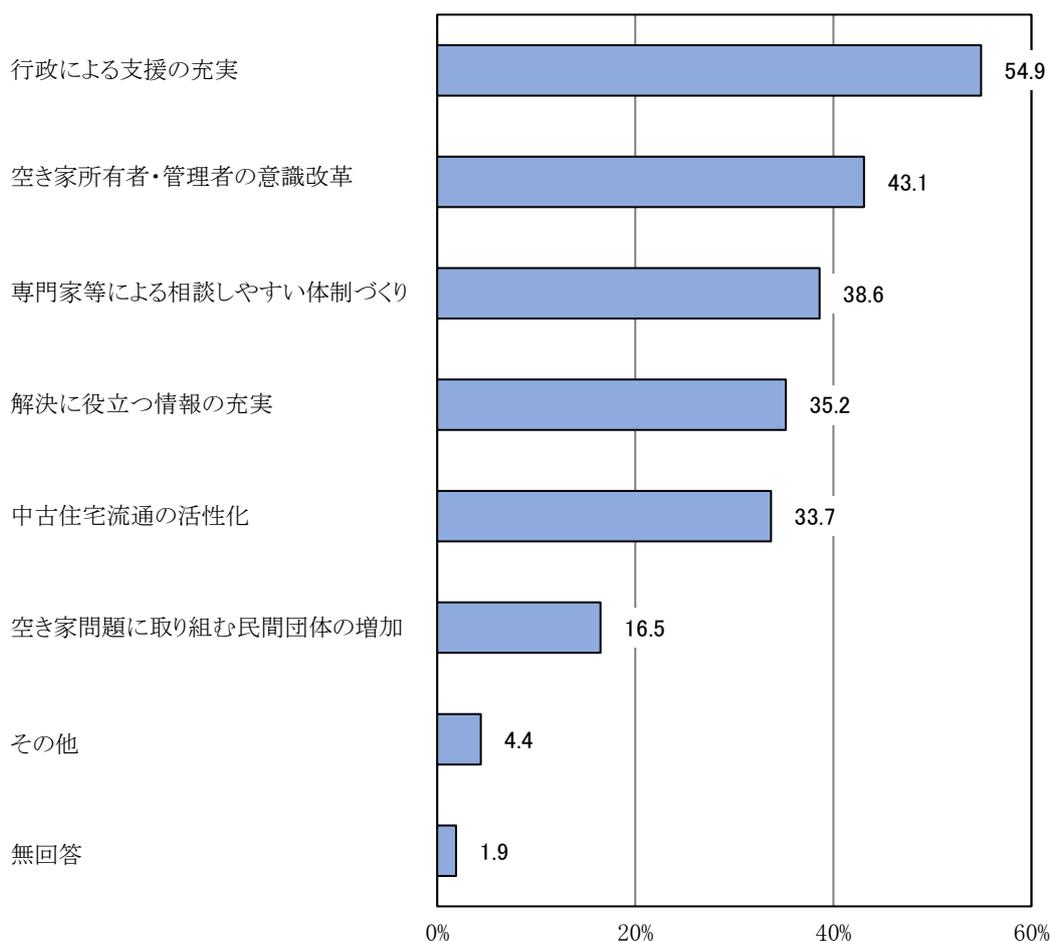
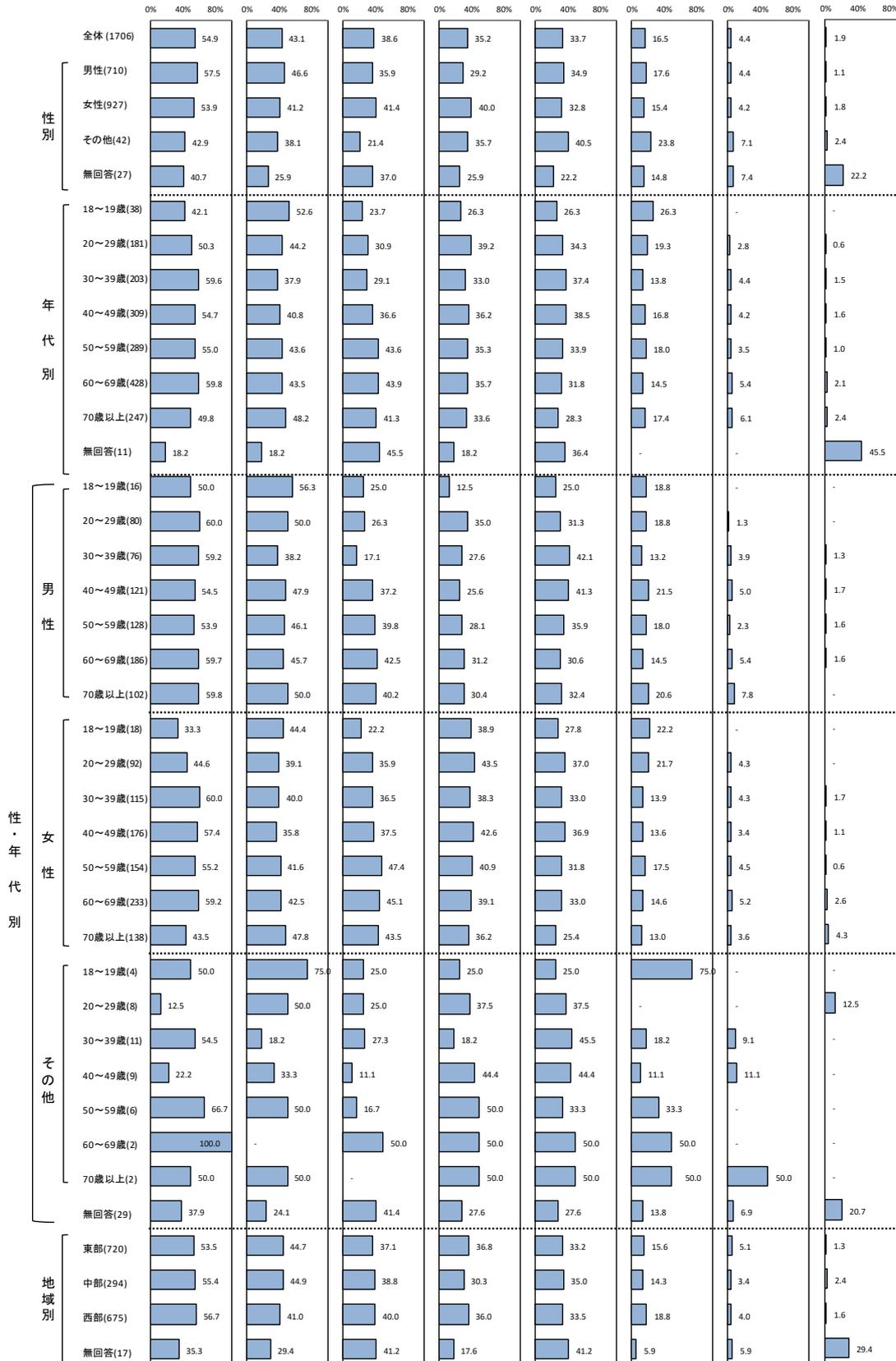


図 47 今後、空き家問題の解決に向けて特に必要だと思うこと(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】

行政による支援の充実 空き家所有者・管理者の意識改革 専門家等による相談しやすい体制づくり 解決に役立つ情報の充実 中古住宅流通の活性化 空き家問題に取り組む民間団体の増加 その他(下記に具体的に書きください) 無回答



【自由記載】

多くの方々からたくさんのご意見をいただきましたので、一部を紹介いたします。

問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(選択肢 13「その他」への記載)

利便施設が整っていること。買物、病院、教育機関、子育て支援。 ◆(60～69 歳 女性 東部)
家族や身内の健康。 ◆(50～59 歳 女性 西部)
公的支援のわかりやすさ、使いやすさ。 ◆(40～49 歳 女性 西部)
災害への安全性、高齢化社会の活用度。 ◆(70 歳以上 男性 西部)
食物の美味しさ。 ◆(50～59 歳 その他・回答したくない 東部)
交通機関の充実。 ◆(20～29 歳 女性 中部)
遊興施設、イベントの充実。 ◆(40～49 歳 女性 中部)

問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いませんか。
(選択肢 8「その他」への記載)

若い人は進んでいると思うが、50 代以上の熟年、老人層への啓発が特に重要。 ◆(60～69 歳 男性 東部)
役割分担に行政は介入すべきではない。 ◆(60～69 歳 - 東部)
「家事・育児・介護は家族みんなで向き合う事」と思える・考えられる教育。 ◆(40～49 歳 女性 西部)
賃金等育児に関する公的な保障による負担軽減。 ◆(50～59 歳 男性 西部)
容易に相談ができるコミュニケーションの場を設ける。個別相談による具体化された対策案の提示。 ◆(50～59 歳 男性 西部)

問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いませんか。
(選択肢 10「その他」への記載)

同一労働、同一賃金。同じ仕事なのに、男は 20 万円、女は 15 万円の給料。おかしい。鳥取県民は年収が少ない。子どもを産むことは、贅沢な事だと思う。自分たちの生活だけで大変だから。 ◆(30～39 歳 女性 東部)
民間企業等の経営者への意識改革を推進。 ◆(60～69 歳 男性 中部)
男性・女性・・・ということではなく、人としての存在に対する人権感覚を養う取組。 ◆(60～69 歳 女性 中部)
男女の理解に世代差がある。若い世代より年齢が上の世代の理解に問題がある。 ◆(40～49 歳 女性 西部)

固定的な役割分担意識は良くはないが、全て同じにするという考えではなく、お互いの長所が活かされればいいのでは良いのではないかと。

◆(40～49 歳 男性 西部)

問 11 SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。(選択肢7「その他」への記載)

ラジオ。ラジオ番組内での特集が目立つようになっています。

◆(60～69 歳 女性 西部)

子供の学校で貼られていたポスター

◆(50～59 歳 女性 西部)

お笑いライブ。

◆(40～49 歳 女性 東部)

孫から。

◆(70 歳以上 女性 東部)

職場の研修。

◆(20～29 歳 女性 西部)

問 18 今後、空き家問題の解決に向けて特に必要だと思うことは何ですか。(選択肢7「その他」への記載)

空き家所有者に働きかけて、なるべく短い期間に更地に整備又は、売りに出すように促し、住宅を必要としている若い人に情報を提供して買ってもらうことで、町の活性化に繋げる。

◆(60～69 歳 女性 東部)

思い入れのある家を手離すことは、精神的にもつらいものがある。思いに寄り添ってアドバイスしていく体制が必要。

◆(70 歳以上 女性 西部)

放置できない法律を作る

◆(70 歳以上 女性 西部)

固定資産税について、空き家を撤去する場合固定資産税が6倍になるため、撤去したくても出来ない。

◆(70 歳以上 男性 中部)

お金の問題が大きいので、そのあたりの支援、所有者が高齢、条例で空き家の定義を定め(どのくらいの期間使用されていないもの、苦情が来ても対処されないもの、とか)空き家を撤去・取り壊し、売却、誘致を積極的におこなう。

◆(20～29 歳 女性 中部)

空き家を壊すにも維持にもお金がいるが、低額年金生活者はどうすることも出来ない。

◆(70 歳以上 女性 東部)

カフェ・ショップ・宿泊施設など中古の良さ”古い”良さを活かせるような支援や発信、地域をあげて移住を誘致するなど。

◆(30～39 歳 女性 -)

空き家を探していたがなかなか見つからなかった。空き家はたくさんあるはずなのに空き家バンクや売りに出ている物件が少なかったです。若い世代は空き家に魅力を感じ住みたいと思っている家庭も少なくは無いと思う。空き家を放置するのはもったいない。

◆(20～29 歳 女性 西部)

空き家をそのままの方が税金が安いから皆残すのであって、整地、更地にした方を安くすれば次の使用もしやすいと思う。

◆(70 歳以上 その他・回答したくない 西部)

所有者が県外にいるところへの働きかけ。

◆(40～49 歳 女性 西部)

空き家となって数年以内に手放さないと県や市が解体・売却できるなどの条例又は法改正をすべし。または空き家となって何年後かには、空き家税など固定資産税を増やすなど策が必要。

◆(70歳以上 男性 東部)

自由記載欄（「ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください」への記載）

子育て、環境の充実、教育環境の充実、県内市町村のバランスのとれた公共投資を行ってほしい。災害をなくすための二級河川の整備(河川内にある樹木の整理)。

◆(70歳以上 男性 西部)

「カネがないのなら知恵をしぼれ、頭を使え」というポジティブ姿勢で頑張ってもらいたいです。改革は道半ばですがやるべきことは山積強いる。県民の声を聞いてください。

◆(70歳以上 男性 中部)

県議、市議等にもっと若い世代を。新しい発想が必要。

◆(40～49歳 男性 東部)

もっと子育てがしやすいサービス、助成があればいいのに、そしてその周知を徹底すればいいなと思います。若い人ほど、子供がほしくても昨今の情勢だと不安や心配で踏み切れない人が多いように思います。

◆(20～29歳 男性 東部)

子育てを通じて、日本の行政が未来についてどの程度関心があるのかが少しずつ見えてきている気がします。このままでは日本の未来、子どもたちの未来が不安です。どんどん住みにくくなるのでは、流出が激しいのではと思います。目先のことにとらわれず、この問題にしっかり向き合って具体的な解決法、改善策が上がることを祈ります。

◆(20～29歳 女性 西部)

今住んでいる所は住みやすく問題はないが、一人になった時のことを考えると少し不安を感じる。家族と話し合いをしなければと思っています。動けなくなった時買物とか不安はあります。

◆(70歳以上 女性 西部)

車の運転が出来ないと活動範囲が小さくなってしまい交流の機会がなくなることが心配。(そんな時都会との差を感じる)

◆(60～69歳 女性 西部)

賃金や環境を考えると将来子どもを県外に出す方がいいと思う家庭は多いと思います。Iターン、Uターンも大切ですが地元で価値を感じられるようになるといいなと思います。

◆(40～49歳 女性 東部)

鳥取県の中身を充実させていっても、結局都会へのアクセスの悪さがどうしてもネックになっている若者の声をききます。町づくりだけが若者の定住させるわけではありません。何においても不便です。

◆(40～49歳 女性 西部)

子育てが充実していて、食べ物も美味しく暮らしやすい鳥取県の魅力を発信してもらい、移住者が増えて活性化してほしいと思います。

◆(40～49歳 女性 中部)

鳥取県は住むのにとってもいいところです。今の時代いろんな働き方があり、パソコン・スマホ1つでも在宅で働くことができるので、移り住む人が多くなるように(Uターン、Iターン)鳥取の魅力を全国にもっと発信してほしい。

◆(50～59歳 女性 西部)

ひきこもりの人達の社会参加。一人にしない事を望みます。

◆(60～69歳 男性 東部)

<p>子どもは社会の宝。教育こそ、社会を豊かにする最も重要なものだと思います。今、教育を担う教員を志望する若者が減ってきていると思います。鳥大教育学部がなくなり、他県の若い教員が増えてきていますが、皆地元へ帰ってしまいます。何年か後、鳥取県の教育現場はどうなっているのでしょうか？先を見据えて、鳥取の教育レベルが保たれるよう、考えていただきたいと思います。良い地元の人材が、未来を担う子どもたちの教育を行ってこそ、鳥取県の未来は明るいものになると考えます。どのようにしたら、若い良い人材が集まるか、是非考えていただきたいです。</p> <p>◆(50～59歳 女性 東部)</p>
<p>子どもたちが遊べる公園が地区にない。公園ではボール遊びはダメと言われる。子ども達が学校以外の外でも遊べる環境を充実させて欲しい。よろしくをお願いします。</p> <p>◆(40～49歳 女性 東部)</p>
<p>倉吉市は子育て世代にとってはまだまだもの足りない分が多い。空き家なども増え、ビジネスとして活用できる資源があるのでそういった空き家を活用しての起業をしたい人へチャンス을あげてほしい。</p> <p>◆(30～39歳 男性 中部)</p>
<p>農業後継者や農地の活用など食料自給率を上げる取り組みを鳥取から発信してはどうか？</p> <p>◆(40～49歳 その他・回答したくない 中部)</p>
<p>最低賃金を上げる政策。大手企業の誘致をするべき。(人口増加につながる)</p> <p>◆(30～39歳 男性 東部)</p>

鳥取県の政策に関する「県民意識調査」に ご協力をお願いします

県では、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆さんが住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう、現在の状況などについて、あなたの率直なご意見をお伺いし、今後の県政に活かしていきたいと思えます。

ついでには、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

令和5年6月30日

- この調査は鳥取県が行う「鳥取県の政策に関する県民意識調査」（今年で8回目）です。
- この調査は、本調査票にご記入のうえ郵送いただくか、パソコンやスマートフォンでインターネットを通じて回答いただくことも可能です。

インターネットによる回答方法については、調査票の裏面をご覧ください。

- 調査をお願いする方の選定にあたりましては、県内在住の18歳以上の方から3,000人を各市町村の住民基本台帳より無作為に抽出させていただきました。
- 調査票は無記名になっていますので、お名前を記入していただく必要はありません。
- ご回答いただいた内容は、無記名のまま統計的に集計・分析するため、個人が特定されたり、個々の回答内容が公表されることはありません。
- 調査票は、封筒のあて名の方ご本人がお答えください。ただし、ご本人の回答が難しい場合は、ご家族の方など代わりの方（18歳以上）がお答えいただいて差し支えありません。
- ご記入いただいた調査票は、**同封の返信封筒に入れて 令和5年7月18日（火）までに**

郵便ポストに投函（切手不要）してください。

【問合せ先】

鳥取県地域づくり推進部県民参画協働課
〒680-8570 鳥取市東町一丁目 220
電話：0857-26-7025
ファクシミリ：0857-26-8112
電子メール：kenminsankaku@pref.tottori.lg.jp



Ⅱ 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【問6】鳥取県が実施している施策等について、あなたの満足度をお聞きしますので、【評価の基準】を参考にそれぞれ5段階で回答をお願いします（各項目の1～5のいずれかの数字に○をしてください。）
また、テーマごとに今後の優先度（重要度）が高いと思われる施策等について3つずつお選びください。

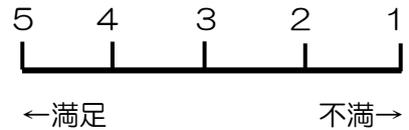
【評価の基準】



1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

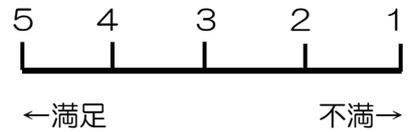
① **豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組**

（地域資源を活かした周遊観光、自転車、エコツアー、キャンプなどのアウトドアツーリズムの推進、農山漁村生活体験等の体験型観光・旅行の推進など）



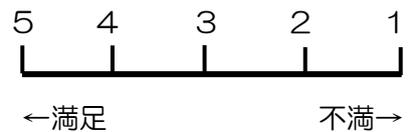
② **外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり**

（多言語化やキャッシュレス決済等の受入体制整備、国際観光交流人口の増加、SNSなどオンラインツールによる誘客など）



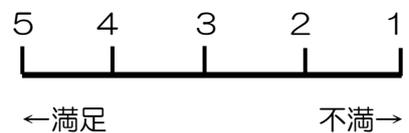
③ **スポーツによる交流促進を進める取組**

（大規模スポーツ大会・国際大会のキャンプ誘致やホストタウン交流の推進、障がい者スポーツや生涯スポーツ推進など）



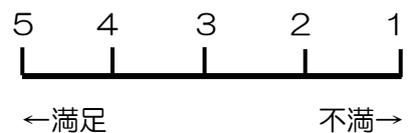
④ **農業の活力増進に関する取組**

（鳥取和牛や星空舞(注1)などの県開発種の導入促進、6次産業化(注2)など農業ビジネス創出、ICT(注3)を活用した機械化・省力化など）



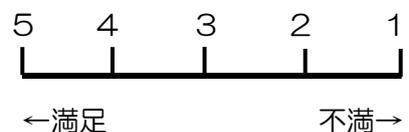
⑤ **農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組**

（産地自らが行う後継者育成等への支援、高校でのより実践的な職業教育の推進など）



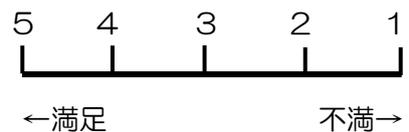
⑥ **地球規模での環境課題への対応**

（脱プラスチック（マイカップ・マイボトル運動等）、食品ロス削減、省エネ住宅の普及啓発促進、脱炭素社会の実現に向けた省エネ・再エネ推進など）



⑦ **海洋・森林等の環境保全と利活用の推進**

（森林体験・保全活動、野外保育・自然体験活動の取組推進、環境保全に関する条例制定など）



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

注1：星空舞（ほしぞらまい）は鳥取県が開発した米の新品種。

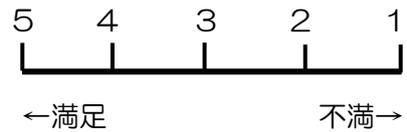
注2：農林漁業者自らが、生産から加工・製造、流通・販売までを主体的に取り組むことにより、新たな付加価値を生み出す取組のこと。

注3：ICT：「Information and Communication Technology」の略語で、「情報通信技術」のこと。

2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

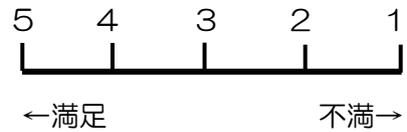
① 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組

出会いの機会の充実、不妊治療や子育て世帯の経済的負担の軽減、保育所等の体制整備や放課後児童クラブ等の充実など



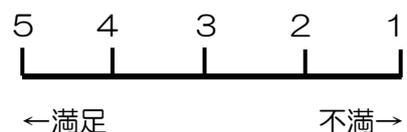
② 地域で子育て世代を支える取組

医療ケア児の受け入れ支援の充実、子どもの貧困対策の推進、不登校等の相談支援、男性の家事・育児参加の促進など



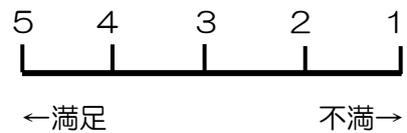
③ 未来を拓く人づくりの取組

グローバル化に対応した英語教育の推進、主体的に学習する児童生徒の育成、プログラミング的思考(注4)や情報活用能力の育成など



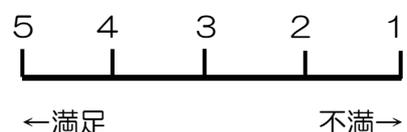
④ 地域を支える人財育成の取組

郷土愛を育むふるさとキャリア教育、地域の自然、歴史、文化等から学ぶ体験活動など



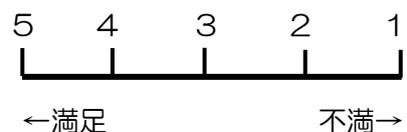
⑤ 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組

人権教育の推進、NPOや地域活動の推進、あいサポート運動(注5)の普及、障がい者の職場定着支援、外国人材の就労支援など



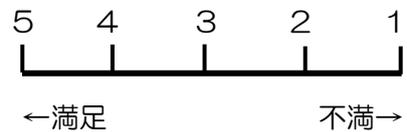
⑥ 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組

地域運営組織づくりの支援、買い物支援や見守り活動等生活サービスの確保、共助交通(注6)など生活交通の再構築など



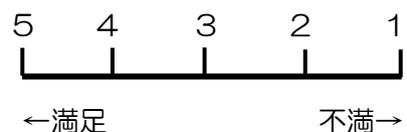
⑦ 健康寿命の延伸

健康マイレージ事業(注8)、がん検診受診率の向上、とっとり方式認知症予防プログラムの普及など



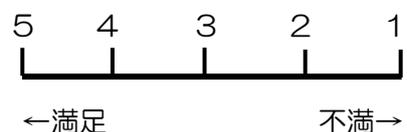
⑧ 感染症に強い地域づくり

新型コロナウイルス等の新たな感染症に対応できる医療提供体制の充実、医療機関や社会福祉施設等による感染症拡大防止・予防対策支援、県民への予防・啓発の推進など



⑨ 鳥取ならではの防災文化づくり

住民や地域が主体的に避難行動を起こす防災文化の定着、市町村と連携した避難体制の整備、鳥取らしい支え愛活動推進など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

注4：自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく。

注5：県民が、多様な障がいの特性の理解に努め、障がいのある者に温かく接するとともに、障がいのある者が困っているときに「ちょっとした手助け」を行うことにより共生社会を目指す運動をいう。

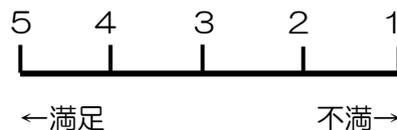
注6：路線バスがなくなるなどした地域で、住民の助け合いにより高齢者等の交通手段を確保する取組。

注7：指定の健康づくり関連事業（健康診断、健康づくり講演会、スポーツ教室など）に参加した場合にポイントを付与し、一定のポイントがたまったら、景品等のインセンティブを付与する制度。

3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

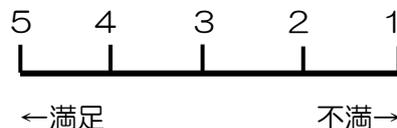
① **移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組**

地元企業と若者の交流促進、県内就職への支援、移住希望者等の都市部人材同士のネットワーク形成、各種メディアによる継続的な情報発信など



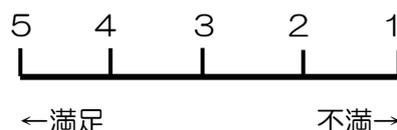
② **関係人口の拡大を進める取組**

企業等と連携した情報発信、ワーケーション(注8)等の推進による都市部在住者の受入促進、農村体験・農泊促進など



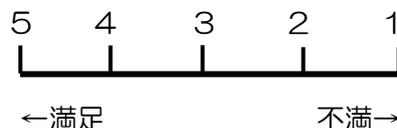
③ **次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大をめざす取組**

先端技術の開発・導入支援、新ビジネスの創出支援、オンラインによる販路拡大の推進、海外需要獲得推進など



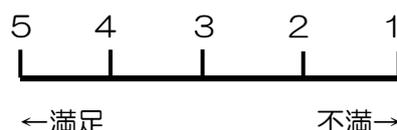
④ **戦略的な産業人材の育成・確保**

学術機関と連携した課題解決型教育推進、職業訓練の充実、様々な媒体を活用した県内企業情報発信、デジタル化など企業課題に応じた人材育成支援など



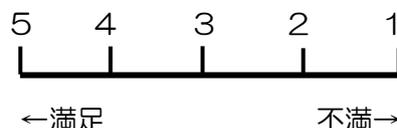
⑤ **自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組**

女性の就業・起業支援、イクボス・ファミボス(注9)の普及、副業・兼業・テレワーク(注10)促進支援、高齢者の就業支援など



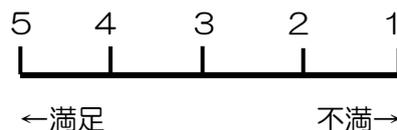
⑥ **暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組**

空き家の利活用、ひきこもり・DV(家庭内暴力)問題に関する啓発、市町村における犯罪被害者支援条例の制定促進、防犯・交通安全対策の推進など



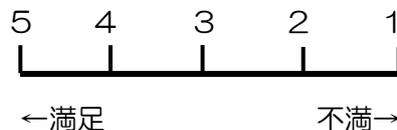
⑦ **アート・文化による地域づくりへの取組**

ICTを活用した文化芸術の場の提供、県立美術館による拠点づくり、まんが・伝統芸能等の文化資源や歴史・文化遺産の活用など



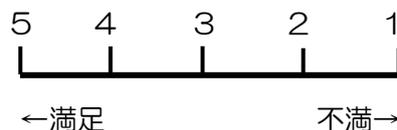
⑧ **強靱な防災基盤の構築に向けた取組**

ハザードマップ(注11)作成等による防災減災対策、原子力防災体制整備、新技術によるインフラ維持・人材の育成など



⑨ **持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組**

超高速情報通信基盤整備の推進、空港・駅の利便性向上・賑わい創出、ICTを活用した自治体業務の効率化など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

注8 : 「ワーク(仕事)」と「バケーション(休暇)」から作られた造語。普段働いている職場を離れて、リゾート地などで休暇を取りながら遠隔勤務を行うこと。

注9 : 育児はもちろん、介護しながら働き続けられる職場環境づくりを実践する家族志向のリーダーのこと。

注10 : 情報通信技術を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のこと(在宅勤務、サテライトオフィス勤務等)。

注11 : 防災を目的に、災害に遭う地域を予測し表示した地図。災害危険予測地図。

4 男女共同参画社会づくり

【問7】男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目（設問）についてどう思われますか。
1～8の設問ごとに表中の「選択」の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択				
	そう 思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思 わない	わから ない
1 現実として家事が女性の役割となっていると思う					
2 現実として子育てが女性の役割となっていると思う					
3 現実として介護が女性の役割となっていると思う					
4 学校教育の場において男女差は無いと思う					
5 就職の機会に男女差は無いと思う					
6 就労環境、待遇に男女差は無いと思う					
7 社会的立場や地位は男女とも平等だと思う					
8 性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う					

【問8】男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。該当する数字に○をしてください。（○は3つまで）

- 1 男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成
- 2 男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発
- 3 ワーク・ライフ・バランス(注1 2)を実現できる労働環境整備への支援
- 4 家族間での家事・育児の分担を見直すような普及啓発（研修会の開催、家事分担手帳の配布等）
- 5 男性が参加しやすい家事・育児・介護の手法研修（講習）会の開催
- 6 家事・育児・介護に積極的に参画している男性の事例、男性の家庭参画によるメリット等の発信
- 7 性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発
- 8 その他（下記に具体的にお書きください）

【問9】男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。該当する数字に○をしてください。（○は3つまで）

- 1 固定的性別役割分担意識(注1 3)の解消など男女共同参画の視点に立った教育や学習機会等の充実
- 2 男女共同参画に関する相談の場の拡充及び周知
- 3 性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援
- 4 保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備
- 5 長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、働き方の見直しの啓発
- 6 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
- 7 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 8 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援、登用の事例やメリットの発信
- 9 女性に対する暴力を根絶するための取組推進
- 10 その他（下記に具体的にお書きください）

注1 2：ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは、だれもが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のこと。

注1 3：「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」というような性別に基づく固定的な役割分担意識のこと。

5 エスディージーズ SDGs (持続可能な開発目標) の推進

エスディージーズ エスディージーズ サステイナブル デベロップメント ゴールズ SDGsとは・・・「SDGs (Sustainable Development Goals) (持続可能な開発目標)」

2015年9月に国連で採択された、2030年に向けた世界共通の目標です。

SDGsは、「誰ひとり取り残さない」ことを理念に掲げており、貧困・飢餓・教育などの社会目標、気候変動・エネルギー・生物多様性などの環境目標、雇用・インフラ・生産消費など経済目標に加え、不平等・平和など全17のゴール(目標)と169のターゲットで構成されています。

日本政府では、SDGsのゴール及びターゲットを踏まえ、日本として特に注力すべきものを以下の問12及び問13に掲載している「8つの優先課題」として取組の柱に掲げています。

【問10】あなたは国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがありますか。該当する数字に○をしてください。

- 1 聞いたことがある 2 聞いたことがない (→問12へ)

【問11】(※問10で「聞いたことがある」と回答した方へ) SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。該当する数字に○をしてください。 (○はいくつでも)

- 1 新聞・雑誌 2 テレビ 3 インターネット 4 仕事・学校で関わりがある
5 SNS 6 家族や友人・知人から聞いた
7 その他 ()

【問12】あなたはSDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか。該当する数字に○をしてください。 (○はいくつでも)

- 1 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現(注14)
2 健康・長寿の達成
3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション(注15)
4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
5 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
7 平和と安全・安心社会の実現
8 SDGs実施推進の体制と手段

【問13】あなたはSDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題は何だと思えますか。該当する数字に○をしてください。 (○はいくつでも)

- 1 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現
2 健康・長寿の達成
3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
5 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
7 平和と安全・安心社会の実現
8 SDGs実施推進の体制と手段

注14：ジェンダーとは、生まれつきの生物学的性別に対して、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」(男らしさ・女らしさ)のこと。

注15：既存の商品や仕組みなどに対して、新しい考え方や方法、技術を取り入れ、社会に大きな変革をもたらすこと。

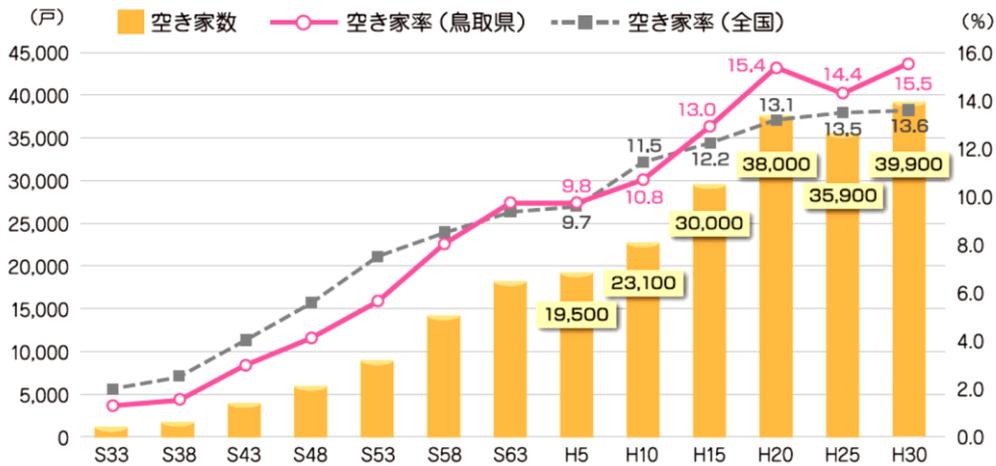
Ⅲ 重点施策への関心・認識

<空き家増加問題への対応>

総務省「平成30年住宅・土地統計調査」では、鳥取県内の空き家数は39,900戸、住宅総数に占める割合は15.5%（全国平均13.6%）。ともに過去最高を更新し、今後も少子化や団塊世代の高齢化、核家族化等によって空き家のさらなる増加が予測されています。

鳥取県は、増加する空き家に対する取組として、従来から推進する「空き家の除却」「空き家利活用」の2本柱の強化に加え、令和2年度から「空き家の発生抑制」に着眼した取組を進めています。

空き家数・空き家率推移 (S33~H30)



【問14】 空き家の増加が社会問題となっていますが、あなたがお住まいの地域では空き家が増えていると感じますか。該当する数字に○をしてください。（○は1つだけ）

- 1 増えていると感じる
- 2 増えているとは感じない
- 3 わからない

【問15】 空き家が増加すると何が問題だと思われますか。該当する数字に○をしてください。

（○は3つまで）

- 1 放置され、周囲に危険を及ぼす老朽化した空き家が増えること
- 2 衛生環境や治安の悪化など、住環境の不安につながる事
- 3 雰囲気が悪くなり、人気のない地域になること
- 4 問題だと思わない
- 5 わからない



【問16】あなたは、将来空き家を所有または管理する可能性がありますか。該当する数字に○をしてください。
(○は2つまで)

- 1 ある（ご実家や、現在親や親族などが居住している住宅を相続する場合等）
- 2 ある（住み替えによりご自分の住まいが不要になる場合等）
- 3 ない
- 4 わからない

【問17】ご自分の住まいやご実家等の将来について、関係者（家族・親族等）で話し合う必要を感じていますか。該当する数字に○をしてください。
(○は1つだけ)

- 1 必要性を感じ、既に話し合っている
- 2 必要性を感じるため、今後話し合う予定
- 3 必要性を感じるが、具体的な話し合いの予定はない
- 4 必要性を感じない
- 5 わからない



【問18】今後、空き家問題の解決に向けて特に必要だと思うことは何ですか。
該当する数字に○をしてください。
(○は3つまで)

- 1 空き家所有者・管理者の意識改革
- 2 解決に役立つ情報の充実
- 3 専門家等による相談しやすい体制づくり
- 4 空き家問題に取り組む民間団体の増加
- 5 行政による支援の充実
- 6 中古住宅流通の活性化
- 7 その他（下記に具体的にお書きください）

{ }

Ⅳ 回答者の情報

あなたの年代や性別などをお答えください。該当する項目に○印をお願いします。
なお、この情報はアンケート集計以外には利用いたしません。

【問19】年代

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 18～19歳 | 2 | 20～29歳 | 3 | 30～39歳 | 4 | 40～49歳 |
| 5 | 50～59歳 | 6 | 60～69歳 | 7 | 70歳以上 | | |

【問20】性別

- 1 男性 2 女性 3 その他・回答したくない

【問21】お住まいの住所

- | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|-----|----|------|----|------|
| 1 | 鳥取市 | 2 | 米子市 | 3 | 倉吉市 | 4 | 境港市 | 5 | 岩美町 |
| 6 | 八頭町 | 7 | 若桜町 | 8 | 智頭町 | 9 | 湯梨浜町 | 10 | 三朝町 |
| 11 | 北栄町 | 12 | 琴浦町 | 13 | 南部町 | 14 | 伯耆町 | 15 | 日吉津村 |
| 16 | 大山町 | 17 | 日南町 | 18 | 日野町 | 19 | 江府町 | | |

【問22】職業

- | | | | | | |
|---|------------|---|--------------|---|-----------|
| 1 | 会社員（含 公務員） | 2 | 自営業（含 家族従業者） | 3 | パート・アルバイト |
| 4 | 学生 | 5 | 専業主婦・主夫 | 6 | 無職 |

Ⅴ 自由記載欄

ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください。

以上で質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました

◆記入もれがないか再度ご確認ください、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函（切手不要）してください。なお、本調査の結果は10月中旬頃に「とりネットホームページ」に掲載予定です。

◆既にパソコン・スマートフォンによりインターネット回答をされた方は、この調査票へのご記入や郵便ポストへの投函は不要です。

この調査票を使用されず、インターネット回答をされる方は、裏面の案内をご覧ください。

インターネット回答のご案内

このページは、パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へのご案内を掲載しています。

調査票にご記入いただき郵便ポストに投函される方は、
インターネット回答は不要です。

<インターネット回答の手順>

インターネット回答ページは、鳥取県版電子申請システム(とっとり電子申請サービス)に設けています。
7月18日(火)までに回答していただきますようお願いします。

(1) インターネットで回答される方は、次のいずれかの方法でインターネット回答ページにアクセスしてください。

①直接、次のURL を入力してアクセスする。

https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=8635

②右のQRコードを読み込んでアクセスする。



(2) 回答ページ(はじめに)の「調査票番号」入力欄に、以下の**6けたの数字**を入力してください。
※ご回答いただいた方に再度回答依頼を送付しないための入力欄で、個人の回答内容と結びつけることはありません。

(3) 設問に沿って回答してください。

(4) 回答を途中で保存したい場合は、画面の一番下の「申込データの一時保存」ボタンをクリックして、データを一時保存してください。

(5) 回答が完了したら、「確認へ進む」ボタンをクリックし、内容を確認後に、「申込む」ボタンをクリックしてください。以上で回答の手続きは終了です。

～ご協力いただき誠にありがとうございました～

性別	1-問1 高齢者に対して愛着や通りを感ずっているか				1-問2 今暮らしている地域の住みやすさ						
	感じている	少し感ずている	あまり感ずていない	感ずていない	とても住みやすい	どちらかといふと住みやすい	普通(どちらともいえない)	どちらかといふと住みにくい	閉回答		
全体(706)	44.4	24.9	25.0	3.1	1.9	0.6	42.6	26.6	8.1	2.2	0.7
男性(706)	45.6	23.9	24.1	3.5	2.1	0.6	41.5	24.8	9.3	2.1	0.6
女性(707)	43.2	25.9	25.3	2.9	1.3	0.6	43.7	28.7	7.0	2.9	0.7
年齢別											
18～19歳(8)	29.6	25.9	33.3	11.9	11.1	2.1	30.3	37.7	14.6	3.7	14.6
20～29歳(83)	28.9	34.2	26.3	-	7.9	2.6	21.1	36.8	10.5	5.3	2.6
30～39歳(181)	37.6	28.7	26.0	5.0	2.7	0.6	34.8	34.8	7.7	1.7	0.6
40～49歳(203)	34.0	24.6	32.5	3.9	4.9	-	44.3	40.9	31.5	8.4	4.4
50～59歳(128)	42.1	25.2	25.2	4.2	2.6	0.6	41.7	27.8	8.4	3.2	0.3
60～69歳(166)	50.2	23.2	22.5	3.1	1.0	-	24.2	47.1	19.0	8.3	1.4
70歳以上(247)	48.6	25.7	22.7	2.1	0.7	0.2	18.7	44.4	26.4	7.9	2.1
地域別											
70歳以上(247)	49.8	22.3	24.3	2.0	0.4	1.2	22.7	43.7	25.9	6.5	1.2
10	36.4	24.4	24.4	6.4	3.4	-	35.6	31.1	18.8	9.1	27.3
11	43.8	24.4	24.4	6.3	3.2	-	35.6	31.1	18.8	9.1	27.3
12	31.3	27.5	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
13	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
14	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
15	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
16	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
17	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
18	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
19	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
20	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
21	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
22	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
23	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
24	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
25	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
26	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
27	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
28	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
29	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
30	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
31	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
32	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
33	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
34	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
35	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
36	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
37	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
38	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
39	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
40	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
41	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
42	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
43	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
44	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
45	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
46	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
47	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
48	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
49	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
50	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
51	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
52	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
53	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
54	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
55	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
56	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
57	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
58	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
59	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
60	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
61	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
62	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
63	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
64	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
65	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
66	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
67	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
68	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
69	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
70	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
71	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
72	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
73	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
74	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
75	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
76	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
77	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
78	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
79	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
80	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
81	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
82	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
83	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
84	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
85	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
86	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
87	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
88	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
89	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
90	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
91	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
92	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
93	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
94	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
95	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
96	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
97	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
98	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
99	32.5	30.0	30.0	7.5	3.9	-	25.0	31.3	32.5	10.0	1.3
100	32.5	30.0									

性別	Ⅱ-1問-1. 豊かな自然でのびのび取らしく生きる項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）										Ⅱ-1問-2. 人々の心が癒された自然のまちに住む項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）										Ⅱ-1問-3. 幸せを感じながら暮らす項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）									
	豊かな自然でのびのび取らしく生きる項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	人々の心が癒された自然のまちに住む項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	幸せを感じながら暮らす項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	豊かな自然でのびのび取らしく生きる項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	人々の心が癒された自然のまちに住む項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	幸せを感じながら暮らす項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	豊かな自然でのびのび取らしく生きる項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	人々の心が癒された自然のまちに住む項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	幸せを感じながら暮らす項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	豊かな自然でのびのび取らしく生きる項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	人々の心が癒された自然のまちに住む項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	幸せを感じながら暮らす項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	豊かな自然でのびのび取らしく生きる項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	人々の心が癒された自然のまちに住む項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	幸せを感じながら暮らす項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	豊かな自然でのびのび取らしく生きる項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	人々の心が癒された自然のまちに住む項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	幸せを感じながら暮らす項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	豊かな自然でのびのび取らしく生きる項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	人々の心が癒された自然のまちに住む項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	幸せを感じながら暮らす項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	豊かな自然でのびのび取らしく生きる項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	人々の心が癒された自然のまちに住む項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）	幸せを感じながら暮らす項目のうち今後優先すべき（重要度が高い）項目（3つまで）						
全体(1700)	54.2	23.1	19.6	50.8	58.4	38.8	42.3	50.9	50.5	33.8	32.5	17.7	23.3	31.6	62.9	24.2	29.1	22.7	31.8	44.4	9.7	18.3	40.4	4.8						
男性(710)	55.2	24.1	22.1	50.8	58.4	38.8	42.3	50.9	50.5	33.8	32.5	17.7	23.3	31.6	62.9	24.2	29.1	22.7	31.8	44.4	9.7	18.3	40.4	4.8						
女性(990)	53.2	22.1	17.5	50.8	58.4	38.8	42.3	50.9	50.5	33.8	32.5	17.7	23.3	31.6	62.9	24.2	29.1	22.7	31.8	44.4	9.7	18.3	40.4	4.8						
年齢別	1.5~1.9歳(38)	65.8	42.1	26.3	40.2	42.1	26.3	40.2	42.1	26.3	40.2	42.1	26.3	40.2	42.1	26.3	40.2	42.1	26.3	40.2	42.1	26.3	40.2	42.1						
その他	20~24歳(181)	61.9	36.1	21.0	44.5	37.0	21.0	44.5	37.0	21.0	44.5	37.0	21.0	44.5	37.0	21.0	44.5	37.0	21.0	44.5	37.0	21.0	44.5	37.0						
地域別	7.0歳以上(747)	45.3	13.4	21.9	50.8	58.4	38.8	42.3	50.9	50.5	33.8	32.5	17.7	23.3	31.6	62.9	24.2	29.1	22.7	31.8	44.4	9.7	18.3	40.4						
その他	1.5~1.9歳(16)	75.0	50.0	43.8	31.3	62.5	31.3	62.5	31.3	62.5	31.3	62.5	31.3	62.5	31.3	62.5	31.3	62.5	31.3	62.5	31.3	62.5	31.3	62.5						
男性	2.0~2.9歳(80)	60.0	32.5	22.5	48.8	60.0	32.5	22.5	48.8	60.0	32.5	22.5	48.8	60.0	32.5	22.5	48.8	60.0	32.5	22.5	48.8	60.0	32.5	22.5						
女性	3.0~3.9歳(75)	57.9	27.6	23.7	50.0	59.2	31.6	44.1	32.1	35.7	33.1	36.4	43.7	51.2	52.1	48.8	40.5	39.0	30.1	31.4	35.5	22.3	27.3	33.1						
その他	4.0~4.9歳(121)	52.7	32.2	27.3	45.1	53.7	33.1	36.4	43.7	51.2	52.1	48.8	40.5	39.0	30.1	31.4	35.5	22.3	27.3	33.1	34.9	14.0	15.5	17.7						
男性	5.0~5.9歳(154)	55.2	21.4	13.0	51.3	64.3	44.8	34.9	31.8	38.3	39.0	31.8	24.7	14.9	26.8	19.6	24.5	27.0	52.2	59.8	24.0	27.5	18.9	34.3						
女性	6.0~6.9歳(186)	46.4	14.2	16.3	55.8	60.5	43.8	48.9	34.4	40.8	40.8	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0						
その他	7.0歳以上(41)	45.0	25.0	25.0	50.0	75.0	25.0	25.0	50.0	75.0	25.0	25.0	50.0	75.0	25.0	25.0	50.0	75.0	25.0	25.0	50.0	75.0	25.0	25.0						
男性	8.0~8.9歳(11)	37.5	9.1	9.1	72.7	63.6	54.5	45.5	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0						
女性	9.0~9.9歳(11)	45.5	11.1	11.1	55.6	66.7	33.3	55.6	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3						
その他	10.0歳以上(2)	50.0	16.7	16.7	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0						
男性	無回答(2)	31.0	6.9	27.6	37.9	55.2	44.8	31.0	17.2	17.2	31.0	17.2	17.2	31.0	17.2	17.2	31.0	17.2	17.2	31.0	17.2	17.2	31.0	17.2						
女性	無回答(2)	54.9	22.5	20.0	50.4	59.0	36.9	43.2	3.9	49.7	51.4	36.0	34.2	31.7	29.7	19.8	17.1	22.6	31.3	61.3	25.8	29.6	22.1	30.8						
その他	無回答(7)	53.5	24.1	20.0	49.3	57.6	39.4	2.6	51.9	49.8	34.1	33.0	33.3	24.6	21.0	18.2	23.9	23.3	28.7	22.5	32.9	45.8	9.6	18.4						
男性	無回答(17)	29.4	5.9	17.6	35.3	52.9	41.2	17.8	29.4	35.3	17.6	23.5	17.6	23.5	17.6	23.5	17.6	23.5	17.6	23.5	17.6	23.5	17.6	23.5						

性別	Ⅱ-4. 男性に関する役割 ① 職業として家事が女性の役割となっていると思う					Ⅱ-4. 男性に関する役割 ② 職業として子育てが女性の役割となっていると思う					Ⅱ-4. 男性に関する役割 ③ 職業として介護が女性の役割となっていると思う					Ⅱ-4. 男女に関する役割 ④ 学校教育の場において男女差はないと思う									
	そう思う	どちらかと思う	どちらか思いやらない	そう思わない	分からない	そう思う	どちらかと思う	どちらか思いやらない	そう思わない	分からない	そう思う	どちらかと思う	どちらか思いやらない	そう思わない	分からない	そう思う	どちらかと思う	どちらか思いやらない	そう思わない	分からない	そう思う	どちらかと思う	どちらか思いやらない	そう思わない	分からない
全体(1700)	39.6	44.8	8.2	4.9	1.8	0.8	35.0	46.5	10.0	5.2	2.2	1.2	29.0	43.0	15.4	7.0	4.7	11.1	18.2	33.5	22.0	14.4	10.5	1.5	
男性(710)	28.5	46.3	13.2	8.2	3.0	0.8	25.5	47.7	15.1	7.0	3.7	1.0	16.3	41.9	14.4	23.0	11.7	6.6	10.0	21.3	33.7	20.4	15.2	8.3	
女性(990)	48.5	44.1	4.1	2.2	0.6	0.4	42.4	46.3	6.1	3.5	0.8	1.0	39.1	44.9	9.3	3.2	2.9	16.3	34.5	23.1	13.4	11.5	1.2	1.2	
年齢別	1.5~1.9歳(38)	35.7	40.5	14.3	7.1	2.4	40.5	35.7	9.5	4.8	2.6	14.5	28.6	33.3	19.0	9.5	11.9	15.3	25.2	28.6	19.0	15.2	1.0	22.2	
その他	2.0~2.9歳(80)	39.5	47.4	10.5	7.4	2.6	42.1	31.6	15.8	7.9	2.6	14.5	18.4	28.3	21.1	15.6	15.8	12.7	20.3	23.7	13.2	26.9	7.9	22.2	
男性	3.0~3.9歳(75)	30.4	48.1	9.4	6.6	5.5	35.4	44.8	7.7	5.5	6.1	0.6	21.0	34.3	19.7	12.7	12.7	12.7	16.0	31.5	18.8	19.3	14.4	-	
女性	4.0~4.9歳(121)	37.9	40.4	10.3	8.4	2.5	38.4	37.9	9.9	10.3	0.5	29.1	36.9	15.3	9.9	8.4	0.5	15.7	24.1	24.6	19.2	14.8	0.5	0.5	
その他	5.0~5.9歳(154)	35.9	48.2	7.8	5.5	2.3	0.3	35.0	48.2	9.7	4.5	2.3	0.3	28.5	45.3	16.5	6.1	3.2	0.3	15.9	34.6	23.9	14.9	10.4	
男性	6.0~6.9歳(186)	41.9	43.6	9.3	4.2	0.7	37.0	45.7	11.1	4.0	0.7	32.2	40.8	16.6	5.9	3.1	1.4	1.3	37.0	19.4	15.9	7.6	1.7	1.7	
女性	7.0歳以上(41)	43.1	44.3	10.4	2.4	0.2	31.9	51.6	10.3	3.0	1.6	0.4	31.3	49.5	16.6	5.6	1.8	0.9	30.2	19.0	17.0	10.9	3.5	3.5	
その他	8.0~8.9歳(11)	27.3	27.3	9.1	9.1	0.1	36.4	36.4	9.1	9.1	0.1	27.3	36.4	45.5	18.2	9.1	2.9	2.9	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	36.4	
男性	9.0~9.9歳(11)	31.3	56.3	12.5	-	-	31.3	25.0	12.5	-	-	6.3	18.8	18.8	31.3	25.0	12.5	-	43.8	18.8	6.3	18.8	12.5	-	
女性	10.0歳以上(2)	43.8	43.8	12.5	11.3	-	23.8	43.8	15.0	7.5	10.0	-	8.8	26.3	22.5	22.5	20.0	-	18.8	31.3	16.3	18.8	15.0	-	
その他	1.5~1.9歳(16)	15.0	45.1	21.1	15.8	3.9	1.3	15.8	43.4	18.4	15.8	5.3	1.3	13.2	27.6	28.9	18.4	10.5	1.3	21.1	23.7	23.7	21.1	9.2	
男性	2.0~2.9歳(80)	19.0	54.5	11.8	9.9	4.1	0.8	17.6	48.8	14.9	9.9	4.1	0.8	11.6	43.0	28.9	16.4	10.5	1.3	12.4	28.9	33.1	12.4	12.4	
女性	3.0~3.9歳(75)	34.3	44.3	7.5	7.0	1.4	20.5	53.9	12.9	3.2	2.3	1.1	21.6	52.7	16.7	7.5	1.8	0.5	21.0	30.4	18.3	15.1	5.4		
その他	4.0~4.9歳(121)	39.3	44.1	16.7	2.0	1.0	20.0	25.5	53.9	12.7	3.9	2.0	19.8	46.1	24.5	4.9	2.9	2.0	29.4	36.3	14.7	11.8	4.9	2.9	
男性	5.0~5.9歳(154)	38.9	44.4	11.1	6.6	-	5.6	38.9	38.9	11.1	2.2	1.1	31.5	43.5	15.2	2.2	7.6	-	11.1	37.7	19.6	21.7	10.9	-	
女性	6.0~6.9歳(186)	45.5	52.2	2.2	1.1	1.1	45.7	43.2	4.3	6.1	0.8	40.0	43.3	7.0	4.3	5.2	4.3	5.2	14.8	26.1	24.3	19.3	16.5	-	
その他	7.0歳以上(41)	53.9	39.1	3.5	2.6	0.6	54.8	33.9	4.3	6.1	0.8	40.9	46.0	4.0	1.8	1.3	1.3	3.8	18.2	38.6	15.2	16.3	6.5	-	
男性	8.0~8.9歳(11)	48.3	43.8	0.6	0.6	0.6	44.9	47.2	6.3	7.1	0.6	40.9	46.0	4.0	1.8	1.3	1.3	3.8	18.2	38.6	15.2	16.3	6.5	-	
女性	9.0~9.9歳(11)	47.6	45.1	0.1	0.9	1.3	38.6	48.5	6.4	4.3	0.9	31.3	40.8	47.2	6.0	3.9	1.3	0.9	15.0	33.5	31.3	7.7	10.7	1.9	
その他	10.0歳以上(2)	44.2	43.3	2.2	2.2	-	34.1	50.0	9.4	3.6	-	2.9	37.0	45.7	9.4	2.9	2.2	15.6	34.8	21.0	5.8	15.9	2.9	-	
男性	1.5~1.9歳(16)	75.0	25.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-
女性	2.0~2.9歳(80)	12.5	50.0	25.0	12.5	-	25.0	12.5	25.0	12.5	-	12.5	12.5	12.5	37.5	-	-	-	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-
その他	3.0~3.9歳(75)	18.2	45.5	9.1	18.2	9.1	18.2	45.5	9.1	18.2	9.1	18.2	45.5	9.1	18.2	9.1	18.2	45.5	9.1	18.2	9.1	18.2	45.5	9.1	18.2
男性	4.0~4.9歳(121)	39.7	16.7	16.7	16.7	-	100.0	16.7	16.7	16.7	-	50.0	16.7	16.7	16.7	-	-	-	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-
女性	5.0~5.9歳(154)	66.7	16.7	16.7	16.7	-	100.0	16.7	16.7	16.7	-	50.0	16.7	16.7	16.7	-	-	-	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-
その他	6.0~6.9歳(186)	100.0																							

性別	Ⅱ-4-1 男女に関する役割：⑤ 職業の機会に男女差は無いと思う		Ⅱ-4-2 男女に関する役割：⑥ 政治的、経済的に男女差は無いと思う		Ⅱ-4-3 男女に関する役割：⑦ 社会的立場や地位は男女とも平等だと思う		Ⅱ-4-4 男女に関する役割：⑧ 性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う																		
	そう思う	どちらか一方を好む	そう思う	どちらか一方を好む	そう思う	どちらか一方を好む	そう思う	どちらか一方を好む																	
全体(706)	93	20.6	34.8	27.3	6.6	1.5	7.0	18.1	10.5	18.2	32.7	32.4	5.0	1.2	4.2	21.7	21.7	35.5	29.1	8.4	1.1				
男性(706)	120	21.6	34.5	26.1	5.2	1.3	10.0	18.1	10.5	18.2	32.7	32.4	5.0	1.2	4.2	21.7	21.7	35.5	29.1	8.4	1.1				
女性(92)	77	20.7	28.6	28.3	7.1	1.4	5.2	16.7	17.2	17.2	33.7	35.7	4.9	1.1	3.1	20.2	37.3	30.0	8.5	0.9	0.9				
その他(92)	48	16.7	28.6	35.7	14.3	11.1	14.8	14.8	14.8	14.8	29.6	11.1	11.1	18.5	7.4	14.8	22.2	22.2	22.2	14.8	18.5				
18～19歳(33)	194	18.4	21.1	31.6	18.8	6.8	1.9	14.8	14.8	14.8	29.6	11.1	11.1	18.5	7.4	14.8	22.2	22.2	22.2	14.8	18.5				
20～29歳(92)	113	17.7	27.6	30.3	16.8	6.8	1.5	9.4	20.7	20.7	36.0	10.0	10.0	1.6	0.0	7.7	22.5	32.0	29.2	12.2	0.7				
30～39歳(92)	58	20.7	32.0	32.4	6.5	1.6	5.5	19.7	37.4	37.4	38.2	3.9	3.2	1.0	7.7	22.5	32.0	29.2	12.2	0.7					
40～49歳(92)	121	23.2	31.6	27.7	4.7	1.9	7.3	18.7	34.6	34.6	5.2	0.7	11.4	19.4	31.5	34.9	2.1	0.7	4.8	21.1	38.1	30.1	5.5	0.5	
50～59歳(48)	72	19.2	41.6	25.5	4.7	1.9	5.8	14.7	40.7	40.7	32.0	4.2	2.6	8.6	18.5	36.0	31.8	3.7	1.4	2.3	17.1	38.8	32.5	7.9	1.4
60歳以上(27)	7.3	22.3	38.1	20.6	6.5	3.2	6.9	19.0	36.4	36.4	26.7	7.3	3.6	15.0	21.5	30.4	24.7	2.4	4.5	18.2	36.8	30.4	8.1	2.0	
18～19歳(6)	31.3	12.5	25.0	12.5	18.8	25.0	43.8	18.8	25.0	43.8	12.5	12.5	18.8	25.0	43.8	12.5	12.5	18.8	25.0	43.8	12.5	12.5			
20～29歳(6)	11.3	26.3	27.5	21.3	36.8	30	10.0	15.0	41.3	23.8	6.8	1.3	12.5	16.3	37.5	21.3	31.3	21.3	13.8	12.5	12.5				
30～39歳(6)	12.2	17.4	25.2	11.0	30.3	30	7.8	18.3	29.6	42.6	1.7	10.4	11.3	29.6	40.0	7.8	0.9	6.1	21.7	35.7	27.8	8.7			
40～49歳(6)	50	15.7	42.1	26.1	6.3	0.8	9.1	18.3	34.7	37.2	3.3	0.8	9.1	18.3	34.7	37.2	3.3	0.8	9.1	18.3	34.7	37.2	3.3		
50～59歳(6)	18.8	24.2	28.1	28.1	33.6	29.7	3.1	0.8	19.5	26.6	27.3	2.3	0.8	7.8	24.2	35.9	25.8	5.5	0.8	7.8	24.2	35.9	25.8	5.5	
60歳以上(18)	9.7	18.8	35.2	23.5	2.9	2.0	8.8	17.6	37.3	29.4	2.9	2.2	10.8	21.5	31.2	33.9	2.2	0.5	1.6	22.6	34.9	34.4	5.9		
18～19歳(9)	14.1	16.3	28.3	29.3	12.0	7.7	9.8	18.5	23.9	37.0	10.9	6.5	17.4	33.7	33.7	6.7	5.4	30.4	30.4	23.9	9.8				
20～29歳(9)	12.2	17.4	25.2	36.5	8.7	0.8	7.8	18.3	29.6	42.6	1.7	10.4	11.3	29.6	40.0	7.8	0.9	6.1	21.7	35.7	27.8	8.7			
30～39歳(16)	7.3	22.7	38.4	27.8	3.5	0.1	1.3	19.3	35.7	35.7	7.4	0.6	5.9	16.6	35.7	36.0	2.6	0.6	1.9	35.7	36.0	2.6			
40～49歳(16)	5.6	19.7	43.8	23.2	5.6	2.1	3.4	14.2	44.6	30.5	5.2	2.1	6.9	18.3	39.9	30.9	4.3	1.7	2.1	12.9	43.3	31.3	8.6		
50～59歳(13)	5.1	21.0	38.4	18.8	12.3	4.3	5.8	21.0	34.8	24.6	10.1	3.6	10.9	23.2	27.5	30.4	5.8	2.2	5.1	17.4	37.0	28.3	10.1		
60歳以上(27)	25.0	50.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0				
20～29歳(6)	9.1	6.1	36.4	18.2	9.1	27.3	36.4	18.2	9.1	27.3	36.4	18.2	9.1	27.3	36.4	18.2	9.1	27.3	36.4	18.2	9.1				
30～39歳(11)	11.1	22.2	33.3	33.3	11.1	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	11.1	22.2	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3					
40～49歳(6)	16.7	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0						
50～59歳(6)	10.3	44.8	13.8	17.2	13.8	34.5	20.0	33.3	33.2	5.1	1.3	12.5	18.8	30.8	32.9	4.0	1.0	4.2	21.4	35.8	27.6	13.8			
60歳以上(7)	9.2	31.0	32.7	28.9	6.2	1.3	6.5	16.1	37.3	33.3	3.3	3.3	17.8	34.2	32.6	5.8	1.3	3.7	22.5	36.6	27.1	9.2			
その他(92)	93	18.1	36.4	28.6	6.2	1.3	6.5	16.1	37.3	33.3	3.3	3.3	17.8	34.2	32.6	5.8	1.3	3.7	22.5	36.6	27.1	9.2			
18～19歳(17)	17.6	35.3	17.6	5.9	23.5	11.8	29.4	4.1	2.8	19.3	10.5	60.4	36.4	39.6	9.6	12.4	8.9	2.4	2.4	2.4					
20～29歳(17)	47.1	29.4	23.3	17.8	23.5	17.8	29.4	4.1	2.8	19.3	10.5	60.4	36.4	39.6	9.6	12.4	8.9	2.4	2.4	2.4					
30～39歳(17)	47.1	29.4	23.3	17.8	23.5	17.8	29.4	4.1	2.8	19.3	10.5	60.4	36.4	39.6	9.6	12.4	8.9	2.4	2.4	2.4					
40～49歳(17)	47.1	29.4	23.3	17.8	23.5	17.8	29.4	4.1	2.8	19.3	10.5	60.4	36.4	39.6	9.6	12.4	8.9	2.4	2.4	2.4					
50～59歳(17)	47.1	29.4	23.3	17.8	23.5	17.8	29.4	4.1	2.8	19.3	10.5	60.4	36.4	39.6	9.6	12.4	8.9	2.4	2.4	2.4					
60歳以上(17)	47.1	29.4	23.3	17.8	23.5	17.8	29.4	4.1	2.8	19.3	10.5	60.4	36.4	39.6	9.6	12.4	8.9	2.4	2.4	2.4					

性別	Ⅱ-4-1 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を推進する点に、行政が行うべき施策(3つまで)		Ⅱ-4-2 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を推進する点に、行政が行うべき施策(3つまで)		Ⅱ-4-3 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を推進する点に、行政が行うべき施策(3つまで)		Ⅱ-4-4 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を推進する点に、行政が行うべき施策(3つまで)													
	そう思う	どちらか一方を好む	そう思う	どちらか一方を好む	そう思う	どちらか一方を好む	そう思う	どちらか一方を好む												
全体(706)	59.5	39.4	44.1	17.0	19.1	17.8	44.0	4.0	3.2	19.8	10.7	56.5	57.6	35.2	38.2	10.5	13.1	9.3	2.1	2.9
男性(706)	60.6	38.0	41.3	19.1	19.4	16.0	46.4	2.8	2.7	20.6	8.4	54.8	60.1	35.4	39.1	9.8	11.7	10.1	1.8	2.7
女性(92)	29.8	40.7	25.9	7.4	18.5	7.4	29.6	7.4	29.6	14.8	3.7	28.6	48.1	40.7	51.9	7.4	11.1	2.4	4.8	18.5
18～19歳(33)	60.5	44.7	44.7	18.4	29.9	21.1	31.9	5.3	13.2	13.2	68.4	47.4	47.4	7.9	5.3	13.2	2.5	6.1	1.1	1.1
20～29歳(92)	57.1	43.8	52.2	13.8	18.2	37.4	3.9	0.6	14.3	9.9	40.8	58.1	52.2	38.9	9.9	7.4	12.3	2.5	1.0	1.0
30～39歳(92)	59.3	45.6	48.2	16.5	11.0	15.9	42.1	5.2	2.3	17.8	11.3	57.0	57.0	37.5	9.1	13.9	7.1	2.6	2.6	
40～49歳(92)	58.1	35.3	44.6	15.2	19.7	20.4	42.2	4.2	2.8	23.2	13.1	54.0	58.4	33.2	38.8	9.3	14.5	7.6	1.7	1.7
50～59歳(48)	54.3	35.6	29.1	14.9	24.7	17.8	55.9	2.4	6.6	26.5	17.3	59.3	25.3	30.7	13.4	17.0	3.0	1.6	4.3	
60歳以上(27)	27.3	27.3	20.9	18.2	9.1	18.2	84.5	9.1	84.5	9.1	19.2	38.4	38.4	45.5	12.5	6.3	18.8	6.3	45.5	
18～19歳(16)	62.5	43.8	50.0	18.8	37.5	18.8	25.0	6.3	12.5	18.8	75.0	25.0	50.0	56.3	12.5	6.3	18.8	6.3	12.5	
20～29歳(16)	53.8	46.3	56.3	18.8	21.3	12.5	32.5	8.8	1.3	21.3	15.0	50.0	53.9	31.3	11.3	6.3	8.8	8.8	1.3	
30～39歳(12)	59.5	44.8	58.4	11.6	12.4	17.4	41.3	7.4	2.5	16.5	16.7	60.3	46.3	40.5	35.1	11.6	14.9	9.1	3.3	
40～49歳(12)	60.2	39.8	48.4	12.5	17.2	20.3	30.5	5.5	3.9	22.7	14.8	58.5	58.8	28.3	39.2	11.8	21.5	8.6	2.3	
50～59歳(12)	59.7	37.8	41.9	16.1	21.5	17.7	45.0	4.8	3.2	17.2	13.4	58.5	58.8	28.3	39.2	11.8	21.5	8.6	2.3	
60歳以上(18)	51.0	32.2	36.3	20.9	22.9	33.8	3.9	5.9	25.5	11.1	69.7	69.5	53.2	14.7	22.6	5.9	2.9	3.9		
18～19歳(9)	73.9	41.3	58.4	14.1	22.8	32.6	2.2	2.2	22.8	9.8	57.6	64.1	48.7	39.8	4.3	9.8	4.3	9.8		
20～29歳(9)	61.7	46.1	47.8	16.5	13.0	15.7	35.7	4.3	4.3	13.9	4.3	59.4	61.7	58.3	34.8	9.6	7.8	17.4	2.6	
30～39歳(9)	59.0	46.6	43.2	19.9	10.8	15.3	42.6	4.0	1.7	18.8	8.5	58.7	61.4	38.9	6.8	13.6	6.3	2.3	1.7	
40～49歳(9)	62.2	35.2	41.2	17.6	21.9	19.3	54.5	2.6	1.9	18.0	7.7	60.1	68.7	26.6	42.5	11.6	12.0	11.2	2.4	
50～59歳(23)	62.2	35.2	41.2	17.6</																

II-間10. SDGsをどうやって知ったか (〇いくつでも)		II-間11. SDGsをどうやって知ったか (〇いくつでも)	
聞いたことがあるか	聞いたことがない	聞いたことがある	聞いたことがない
全体(100)	87.9	82.9	10.8
男性(70)	89.3	84.4	1.3
女性(30)	87.3	11.8	2.0
その他(42)	85.7	11.9	2.4
無回答(27)	74.1	11.1	14.8
18～19歳(38)	92.1	7.9	-
20～29歳(18)	90.9	9.4	0.5
30～39歳(20)	90.4	10.4	0.5
40～49歳(23)	90.7	8.3	0.5
50～59歳(28)	90.7	8.3	1.0
60～69歳(28)	90.7	8.3	1.0
70歳以上(27)	75.5	19.0	4.5
無回答(11)	54.5	16.2	27.3
18～19歳(16)	93.8	6.3	-
20～29歳(15)	93.8	6.3	-
30～39歳(15)	92.2	7.8	-
40～49歳(16)	93.8	7.2	-
50～59歳(17)	93.8	7.2	-
60～69歳(18)	89.8	8.8	1.8
70歳以上(10)	83.3	12.7	3.9
18～19歳(18)	89.9	11.1	-
20～29歳(18)	89.0	12.0	-
30～39歳(11)	92.2	7.8	-
40～49歳(16)	93.8	7.2	-
50～59歳(17)	93.8	7.2	-
60～69歳(18)	89.8	8.8	1.8
70歳以上(10)	83.3	12.7	3.9
18～19歳(4)	100.0	-	-
20～29歳(6)	87.5	12.5	-
30～39歳(11)	81.8	18.2	-
40～49歳(6)	89.9	11.1	-
50～59歳(6)	83.3	16.7	-
60～69歳(7)	83.3	16.7	-
70歳以上(2)	50.0	-	-
無回答(2)	50.0	-	-
東郷(20)	82.4	13.8	1.8
中野(24)	85.5	11.7	1.8
森(24)	88.8	10.2	1.0
西條(64)	89.5	9.9	0.6
無回答(17)	64.7	17.6	17.6

II-間12. SDGsをどうやって知ったか (〇いくつでも)		II-間13. SDGsをどうやって知ったか (〇いくつでも)	
聞いたことがあるか	聞いたことがない	聞いたことがある	聞いたことがない
全体(100)	87.9	82.9	10.8
男性(70)	89.3	84.4	1.3
女性(30)	87.3	11.8	2.0
その他(42)	85.7	11.9	2.4
無回答(27)	74.1	11.1	14.8
18～19歳(38)	92.1	7.9	-
20～29歳(18)	90.9	9.4	0.5
30～39歳(20)	90.4	10.4	0.5
40～49歳(23)	90.7	8.3	0.5
50～59歳(28)	90.7	8.3	1.0
60～69歳(28)	90.7	8.3	1.0
70歳以上(27)	75.5	19.0	4.5
無回答(11)	54.5	16.2	27.3
18～19歳(16)	93.8	6.3	-
20～29歳(15)	93.8	6.3	-
30～39歳(15)	92.2	7.8	-
40～49歳(16)	93.8	7.2	-
50～59歳(17)	93.8	7.2	-
60～69歳(18)	89.8	8.8	1.8
70歳以上(10)	83.3	12.7	3.9
18～19歳(18)	89.9	11.1	-
20～29歳(18)	89.0	12.0	-
30～39歳(11)	92.2	7.8	-
40～49歳(16)	93.8	7.2	-
50～59歳(17)	93.8	7.2	-
60～69歳(18)	89.8	8.8	1.8
70歳以上(10)	83.3	12.7	3.9
18～19歳(4)	100.0	-	-
20～29歳(6)	87.5	12.5	-
30～39歳(11)	81.8	18.2	-
40～49歳(6)	89.9	11.1	-
50～59歳(6)	83.3	16.7	-
60～69歳(7)	83.3	16.7	-
70歳以上(2)	50.0	-	-
無回答(2)	50.0	-	-
東郷(20)	82.4	13.8	1.8
中野(24)	85.5	11.7	1.8
森(24)	88.8	10.2	1.0
西條(64)	89.5	9.9	0.6
無回答(17)	64.7	17.6	17.6

性別	年齢	職業	収入	住居	家族構成	教育	政治的関心	政治参加	投票率	投票先	投票理由	投票結果
男性	18～19歳	学生	100万円未満	一人暮らし	一人暮らし	大学	関心あり	参加あり	70%	自民党	経済成長	100%
女性	20～29歳	会社員	100万円未満	家族世帯	家族世帯	大学	関心あり	参加あり	65%	自民党	経済成長	100%
その他	30～39歳	会社員	100万円未満	家族世帯	家族世帯	大学	関心あり	参加あり	60%	自民党	経済成長	100%

性別	年齢	職業	収入	住居	家族構成	教育	政治的関心	政治参加	投票率	投票先	投票理由	投票結果
男性	18～19歳	学生	100万円未満	一人暮らし	一人暮らし	大学	関心あり	参加あり	70%	自民党	経済成長	100%
女性	20～29歳	会社員	100万円未満	家族世帯	家族世帯	大学	関心あり	参加あり	65%	自民党	経済成長	100%
その他	30～39歳	会社員	100万円未満	家族世帯	家族世帯	大学	関心あり	参加あり	60%	自民党	経済成長	100%

